

北本市
子ども・子育て支援ニーズ調査
結果報告書

令和 6 年 7 月

北 本 市

— 目 次 —

序 章 調査の概要	1
第 1 節 調査の概要	2
1 調査の目的	2
2 調査の種類と実施方法	2
3 回収結果	2
4 報告書を見る際の留意点	2
第 1 章 就学前児童保護者調査	3
第 1 節 回答者自身の状況	4
1-1-1 小学校区（問 1）	4
1-1-2 子どもの年齢（問 2）	4
1-1-3 子どもの人数と末子の年齢（問 3）	5
1-1-4 調査の回答者（問 4）	6
1-1-5 回答者の配偶関係（問 5）	6
1-1-6 子育てを主に行っている人（問 6）	7
1-1-7 子育て以外の介護の有無（問 7）	7
1-1-8 子育て以外の介護に携わっている人（問 7-1）	8
1-1-9 子育て以外の介護をしている相手（問 7-2）	8
第 2 節 子どもの育ちをめぐる環境について	9
1-2-1 子育てに日常的に関わっている人や施設（問 8）	9
1-2-2 子どもをみてもらえる親族・知人の状況（問 9）	9
1-2-3 子育てに関して悩んでいること（問 10）	10
1-2-4 子育てに関する相談相手の有無（問 11）	11
1-2-5 子育てに関する相談相手（問 11-1）	11
第 3 節 保護者の就労状況	12
1-3-1 母親の就労状況（問 12（1））	12
1-3-2 母親の就労日数及び就労時間（問 12（1）-1）	13
1-3-3 母親の出勤及び帰宅時刻（問 12（1）-2）	14
1-3-4 父親の就労状況（問 12（2））	15
1-3-5 父親の就労日数及び就労時間（問 12（2）-1）	16
1-3-6 父親の出勤及び帰宅時刻（問 12（2）-2）	17
1-3-7 フルタイムへの転換希望（問 13）	18
1-3-8 働いていない母親の就労希望（問 14（1））	19
1-3-9 働いていない父親の就労希望（問 14（2））	21
第 4 節 定期的な教育・保育やサービスの利用状況	22
1-4-1 定期的なサービスの利用状況（問 15）	22
1-4-2 利用しているサービスの種類（問 15-1）	22
1-4-3 現在の利用状況と希望の利用状況（問 15-2）	23
1-4-4 利用しているサービスの実施場所（問 15-3）	27
1-4-5 サービスを利用している理由（問 15-4）	27
1-4-6 サービスを利用していない理由（問 15-5）	28
1-4-7 定期的に利用したいサービス（問 16）	29

1-4-8 サービスを利用したい場所（問 16-1）	29
1-4-9 幼稚園をめぐる利用希望（問 16 を基に作成）	30
1-4-10 幼稚園・保育サービス併用希望者における幼稚園の利用希望（問 16-2）	30
第 5 節 地域の子育て支援事業の利用状況.....	31
1-5-1 地域の子育て支援事業の利用状況（問 17）	31
1-5-2 地域子育て支援拠点事業の利用希望（問 18）	33
1-5-3 市で実施している事業の認知度、利用経験及び利用希望（問 19）	35
第 6 節 土・日等の定期的な教育・保育や子育て支援 サービスの利用希望について ..	38
1-6-1 土曜日や日曜日・祝日の利用希望（問 20）	38
1-6-2 幼稚園の長期休業期間中の利用希望（問 21）	42
第 7 節 子どもが病気の際の対応について.....	44
1-7-1 子どもの病気やケガで事業を利用できなかった経験の有無（問 22）	44
1-7-2 事業を利用できなかった際の対応（問 22-1）	45
1-7-3 病児・病後児保育の利用希望（問 22-2）	46
1-7-4 病児・病後児保育の望ましい事業形態（問 22-3）	46
1-7-5 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（問 22-4）	47
第 8 節 不定期のサービスの利用について.....	48
1-8-1 不定期に利用しているサービス（問 23）	48
1-8-2 一時預かりを利用していない理由（問 23-2）	49
1-8-3 私用や不定期の就労等の目的によるサービスの利用希望（問 24）	50
1-8-4 短期入所生活援助事業の利用希望（問 25）	52
第 9 節 就学後の放課後の過ごし方について.....	54
1-9-1 希望する放課後の過ごし方（問 26）	54
1-9-2 土・日等の学童保育室の利用希望（問 27）	56
第 10 節 職場の両立支援制度について.....	59
1-10-1 育児休業の取得状況（問 28）	59
1-10-2 育児休業を取得しなかった理由（問 28-1）	60
1-10-3 育児休業給付等の認知度（問 28-2）	62
1-10-4 育児休業取得後の職場復帰の状況（問 28-3）	63
1-10-5 職場復帰のタイミング（問 28-4）	64
1-10-6 職場復帰が希望どおりであったか（問 28-5）	65
1-10-7 希望より早く復帰した理由（問 28-6）	67
1-10-8 希望より遅く復帰した理由（問 28-7）	68
1-10-9 1 歳になるまでの育児休業取得の意向（問 28-8）	69
第 11 節 子育てしやすいまちづくりをについて.....	70
1-11-1 子育て環境の満足度（問 29）	70
1-11-2 子育てに関する孤立感の有無（問 30）	70
1-11-3 子育ての楽しさの有無（問 31）	71
1-11-4 子育てに関する情報の入手先（問 32）	72
1-11-5 行事や組織への参加状況及び参加意向（問 33）	73
1-11-6 子どもの食生活で気をつけていること（問 34）	75
1-11-7 今後の重点施策（問 35）	76

第1節 回答者自身の状況.....	78
2-1-1 小学校区（問1）	78
2-1-2 学年（問2）	78
2-1-3 子どもの人数及び末子の年齢（問3）	79
2-1-4 調査の回答者（問4）	80
2-1-5 回答者の配偶関係（問5）	80
2-1-6 子育てを主に行っている人（問6）	81
2-1-7 子育て以外の介護の有無（問7）	81
2-1-8 介護に携わっている人（問7-1）	82
2-1-9 子育て以外の介護をしている相手（問7-2）	82
2-1-10 子育てに関する相談相手の有無（問8）	83
2-1-11 子育てに関する相談相手（問8-1）	83
第2節 保護者の就労状況について.....	84
2-2-1 保護者の就労状況（問9）	84
2-2-2 フルタイムへの転換希望（問10）	86
2-2-3 就労していない人の就労希望（問11）	87
第3節 放課後の過ごし方について.....	90
2-3-1 放課後の過ごし方（問12）	90
2-3-2 土日等の学童保育室の利用希望（問13）	91
第4節 子育てしやすいまちづくりについて.....	94
2-4-1 子育て環境の満足度（問14）	94
2-4-2 子育てに関する孤立感の有無（問15）	94
2-4-3 子育ての楽しさの有無（問16）	95
2-4-4 子育てに関する情報の入手先（問17）	96
2-4-5 子どもの食生活で気をつけていること（問18）	97
2-4-6 今後の重点施策（問19）	98
2-4-7 行事や組織への参加状況及び参加意向（問20）	99

序 章

調査の概要

第1節 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、「第三期北本市子ども・子育て支援事業計画」策定のための基礎資料を得るために実施しました。

2 調査の種類と実施方法

次の調査区分ごとに対象者を設定しました。

調査名	対象者	実施方法
①就学前児童保護者調査	市内在住の就学前児童（0～5歳）の保護者	◇無作為抽出 1,000人 ◇郵送による配布・回収
②小学生保護者調査	市内在住の小学生（1～6年生）の保護者	◇無作為抽出 1,000人 ◇郵送による配布・回収

【調査基準日】令和5年12月31日

【調査期間】令和6年3月 日～4月12日

3 回収結果

調査名	対象者数	有効回収数	有効回収率
①就学前児童保護者調査	1,000人	446人	44.6%
②小学生保護者調査	1,000人	369人	36.9%

4 報告書を見る際の留意点

(1) 回答率について

- ①比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。このため、比率の合計は100%を上下することがあります。
- ②1人の回答者が2つ以上の回答をすることができる設問（複数回答）では、比率の合計が100%を上回ることがあります。

(2) 表記について

- ①図表及び文章中で、選択肢を一部省略して用いています。
- ②文章中で選択肢を引用する場合は「 」を用いています。また、いくつかの選択肢を合わせて一つのまとまりとする場合は“ ”で囲んで表記しています。

第 1 章

就学前児童保護者調査

第1節 回答者自身の状況

1-1-1 小学校区（問1）

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

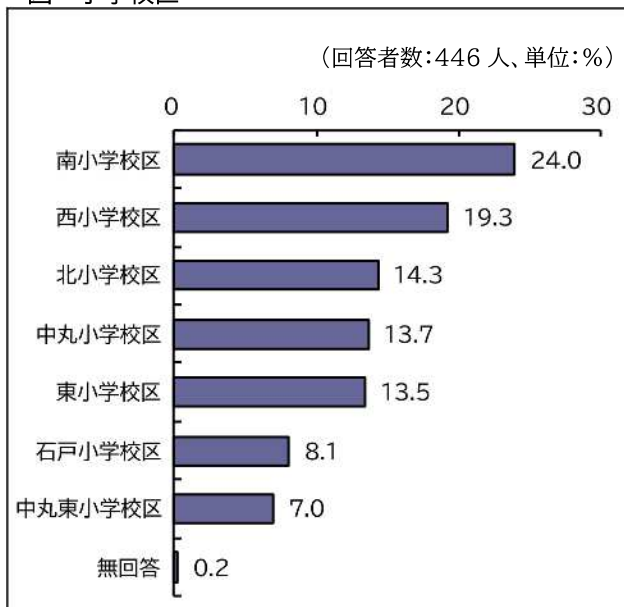
「南小学校区」が最も多い

小学校区については、「南小学校区」が24.0%で最も多く、次いで「西小学校区」が19.3%、「北小学校区」が14.3%が続いています。

表 小学校区

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
南小学校区	107 (24.0)
西小学校区	86 (19.3)
北小学校区	64 (14.3)
中丸小学校区	61 (13.7)
東小学校区	60 (13.5)
石戸小学校区	36 (8.1)
中丸東小学校区	31 (7.0)
無回答	1 (0.2)

図 小学校区



1-1-2 子どもの年齢（問2）

問2 お子さんの生年月日は、次のうちのどれに該当しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

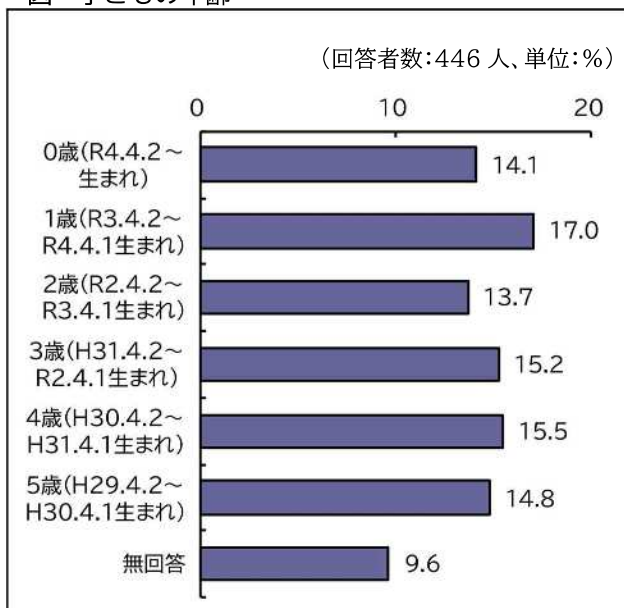
各年齢層がほぼ均等

子どもの年齢については、「1歳(R3.4.2～R4.4.1生まれ)」が17.0%で最も多くなっていますが、各年齢層がほぼ均等となっています。

表 子どもの年齢

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
0歳(R4.4.2～生まれ)	63 (14.1)
1歳(R3.4.2～R4.4.1生まれ)	76 (17.0)
2歳(R2.4.2～R3.4.1生まれ)	61 (13.7)
3歳(H31.4.2～R2.4.1生まれ)	68 (15.2)
4歳(H30.4.2～H31.4.1生まれ)	69 (15.5)
5歳(H29.4.2～H30.4.1生まれ)	66 (14.8)
無回答	43 (9.6)

図 子どもの年齢



1-1-3 子どもの人数と末子の年齢（問3）

問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お子さんが2人以上いらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

（1）子どもの人数

「2人」が44.4%

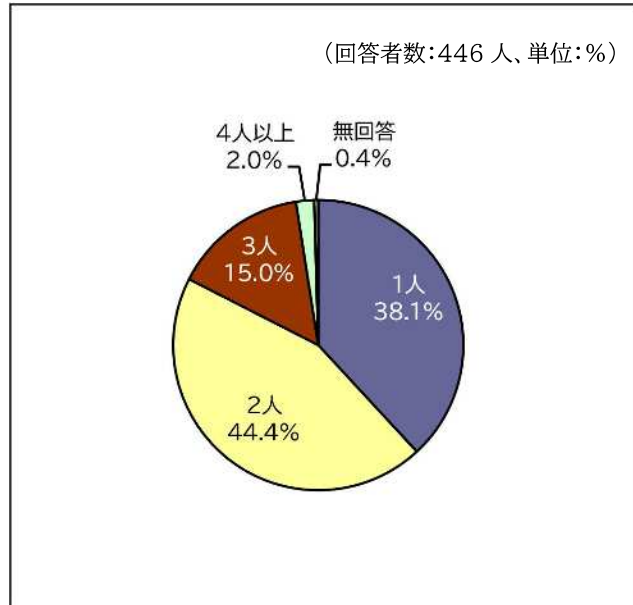
子どもの人数については、「1人」が38.1%、「2人」が44.4%、「3人」が15.0%、「4人以上」が2.0%となっています。

また、子どもが2人以上いる回答者は合わせて61.4%（274人）となっています。

表 子どもの人数

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
1人	170 (38.1)
2人	198 (44.4)
3人	67 (15.0)
4人以上	9 (2.0)
無回答	2 (0.4)

図 子どもの人数



（2）末子の年齢

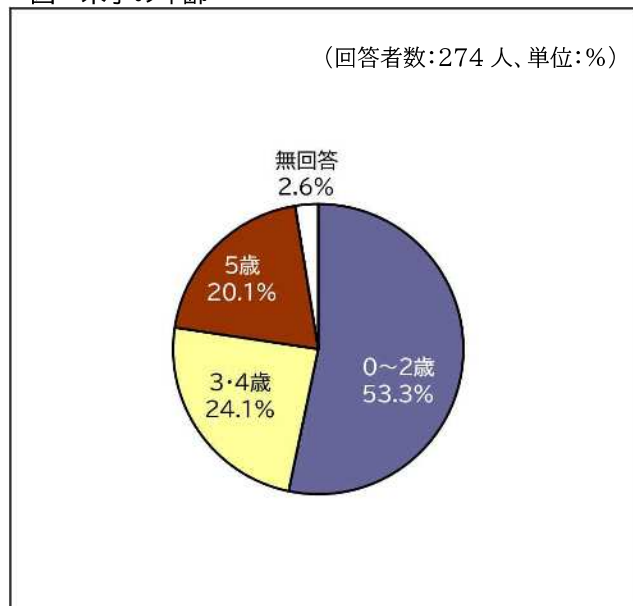
「0～2歳」が53.3

子どもが2人以上いる回答者274人に対し、末子の年齢について聞いたところ、「0～2歳」が53.3%、「3・4歳」が24.1%、「5歳」が20.1%となっています。

表 末子の年齢

区 分	人 (%)
回答者数	274 (100.0)
0～2歳	146 (53.3)
3・4歳	66 (24.1)
5歳	55 (20.1)
無回答	7 (2.6)

図 末子の年齢



1-1-4 調査の回答者（問4）

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」が83.9%

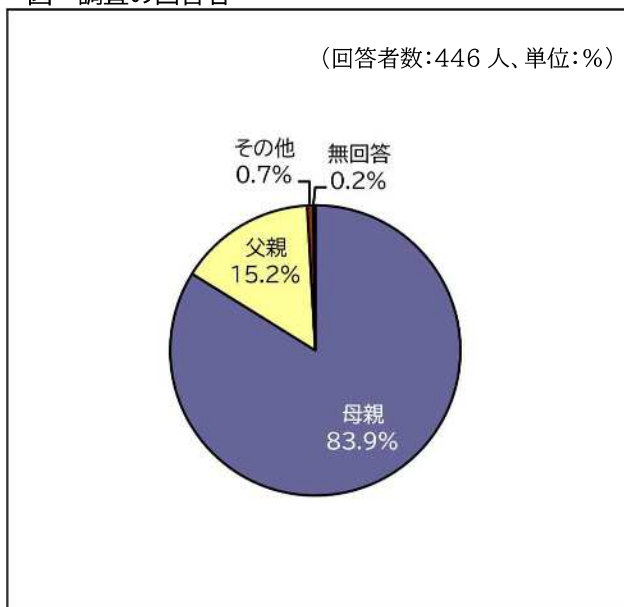
調査の回答者については、「母親」が83.9%、「父親」が15.2%となっています。

また、「母親」及び「父親」と回答した人は合わせて99.1%（442人）となっています。

表 調査の回答者

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
母親	374 (83.9)
父親	68 (15.2)
その他	3 (0.7)
無回答	1 (0.2)

図 調査の回答者



1-1-5 回答者の配偶関係（問5）

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。（問4で「3. その他」と回答した方は回答不要です）

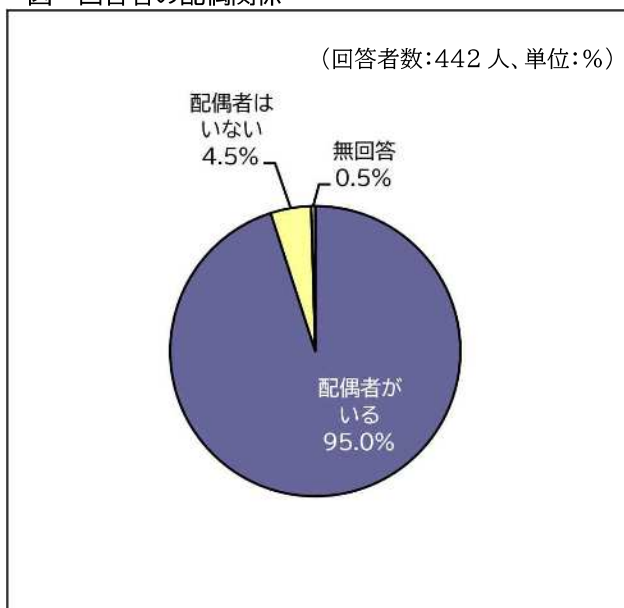
「配偶者がいる」が95.0%

調査の回答者において「母親」または「父親」と回答した442人に対し、回答者の配偶関係について聞いたところ、「配偶者がいる」が95.0%、「配偶者はいない」が4.5%となっています。

表 回答者の配偶関係

区 分	人 (%)
回答者数	442 (100.0)
配偶者がいる	420 (95.0)
配偶者はいない	20 (4.5)
無回答	2 (0.5)

図 回答者の配偶関係



1-1-6 子育てを主に行っている人（問6）

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

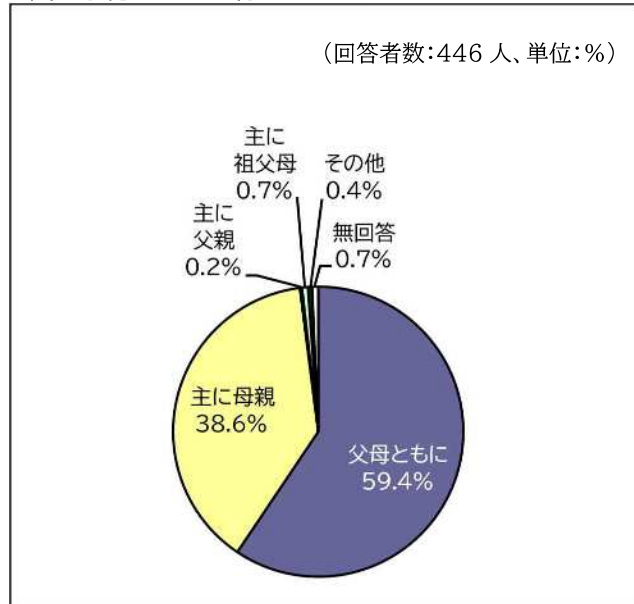
「父母ともに」が59.4%

子育てを主に行っている人については、「父母ともに」が59.4%、「主に母親」が38.6%となっています。

表 子育てを主に行っている人

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
父母ともに	265 (59.4)
主に母親	172 (38.6)
主に祖父母	3 (0.7)
主に父親	1 (0.2)
その他	2 (0.4)
無回答	3 (0.7)

図 子育てを主に行っている人



1-1-7 子育て以外の介護の有無（問7）

問7 子育てを主に行っている方で、家族等（同居・別居に関わらず）の介護にも携わっている方はいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

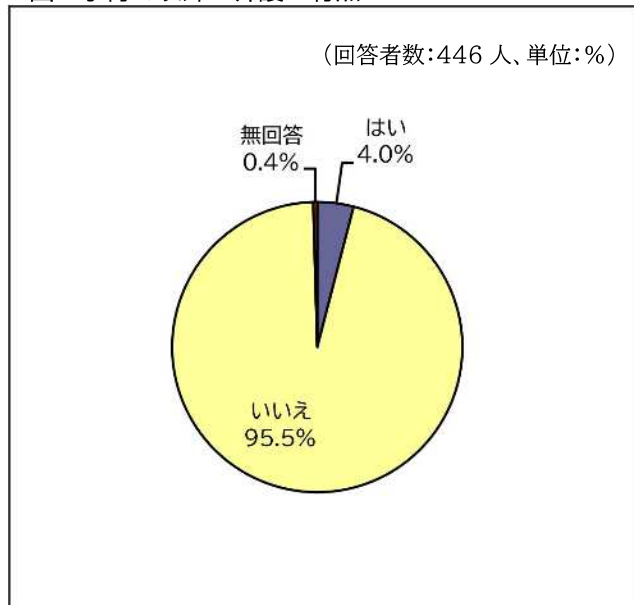
「はい」は4.0%

子育て以外の介護の有無については、「はい」が4.0%（18人）、「いいえ」が95.5%となっています。

表 子育て以外の介護の有無

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
はい	18 (4.0)
いいえ	426 (95.5)
無回答	2 (0.4)

図 子育て以外の介護の有無



1-1-8 子育て以外の介護に携わっている人（問 7-1）

【問 7-1 及び問 7-2 は、問 7 で「1. はい」と回答した方にうかがいます。】

問 7-1 家族等の介護に携わっているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

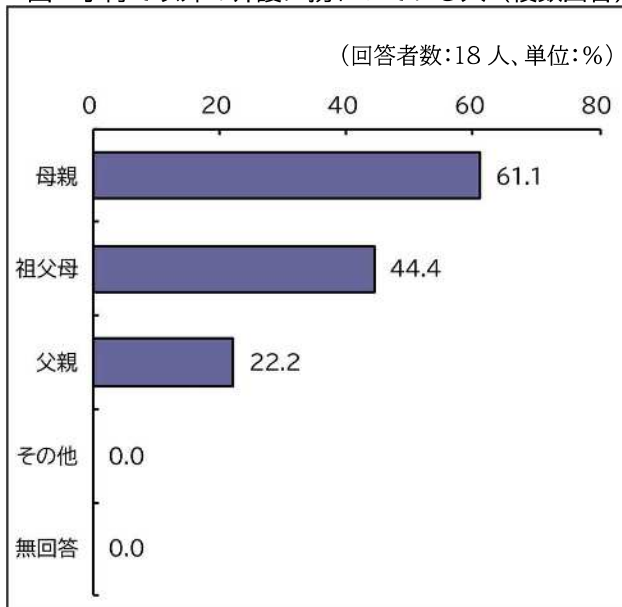
「母親」が最も多い

子育て以外の介護の有無において「はい」と回答した 18 人に対し、子育て以外の介護に携わっている人は誰かについて聞いたところ、「母親」が 61.1%で最も多く、次いで「祖父母」が 44.4%、「父親」が 22.2%で続いています。

表 子育て以外の介護に携わっている人（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	18 (100.0)
母親	11 (61.1)
祖父母	8 (44.4)
父親	4 (22.2)
その他	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

図 子育て以外の介護に携わっている人（複数回答）



1-1-9 子育て以外の介護をしている相手（問 7-2）

問 7-2 どなたを介護していますか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

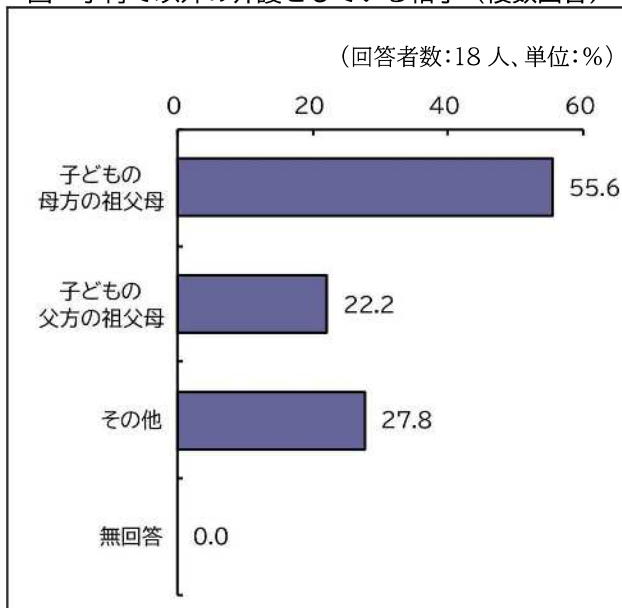
「子どもの母方の祖父母」が最も多い

子育て以外の介護をしている相手については、「子どもの母方の祖父母」が 55.6%で最も多く、次いで「子どもの父方の祖父母」が 22.2%で続いています。

表 子育て以外の介護をしている相手（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	18 (100.0)
子どもの母方の祖父母	10 (55.6)
子どもの父方の祖父母	4 (22.2)
その他	5 (27.8)
無回答	0 (0.0)

図 子育て以外の介護をしている相手（複数回答）



第2節 子どもの育ちをめぐる環境について

1-2-1 子育てに日常的に関わっている人や施設（問8）

問8 宛名のお子さんの子育てに日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

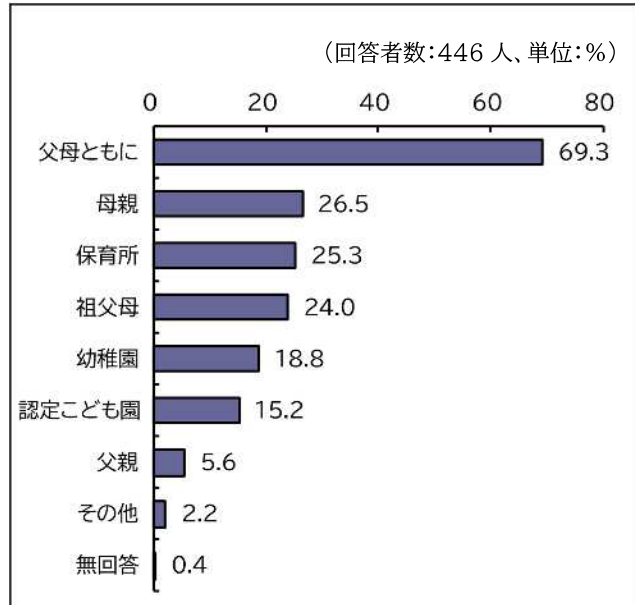
「父母ともに」が最も多い

子育てに日常的に関わっている人や施設については、「父母ともに」が69.3%で最も多く、次いで「母親」が26.5%、「保育所」が25.3%で続いています。

表 子育てに日常的に関わっている人や施設（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
父母ともに	309 (69.3)
母親	118 (26.5)
保育所	113 (25.3)
祖父母	107 (24.0)
幼稚園	84 (18.8)
認定こども園	68 (15.2)
父親	25 (5.6)
その他	10 (2.2)
無回答	2 (0.4)

図 子育てに日常的に関わっている人や施設（複数回答）



1-2-2 子どもをみてもらえる親族・知人の状況（問9）

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

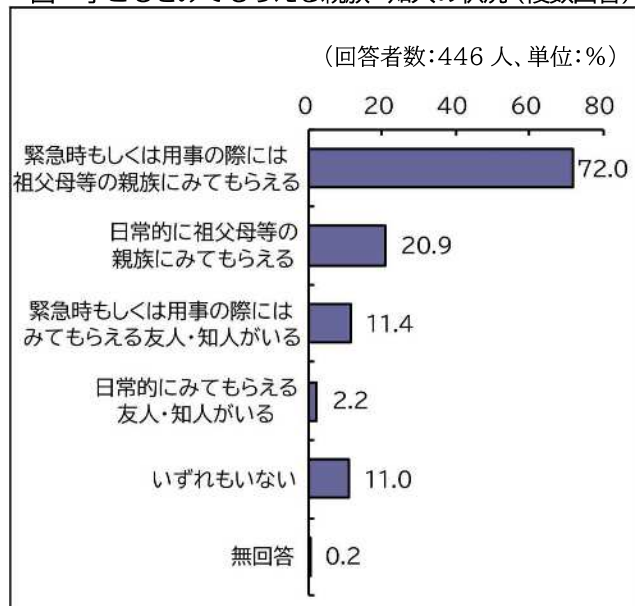
「緊急時もしくは用事の際には」が最も多い

子どもをみてもらえる親族・知人の状況については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が72.0%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が20.9%で続いています。

表 子どもをみてもらえる親族・知人の状況（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	321 (72.0)
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	93 (20.9)
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	51 (11.4)
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	10 (2.2)
いずれもない	49 (11.0)
無回答	1 (0.2)

図 子どもをみてもらえる親族・知人の状況（複数回答）



1-2-3 子育てに関して悩んでいること（問10）

問10 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子育てにかかる経済的負担が大きいこと」が最も多い

子育てに関して悩んでいることについては、「子育てにかかる経済的負担が大きいこと」が36.5%で最も多く、次いで「食事や栄養に関すること」が29.6%、「病気や発育・発達に関すること」が29.1%で続いています。

図 子育てに関して悩んでいること（複数回答）

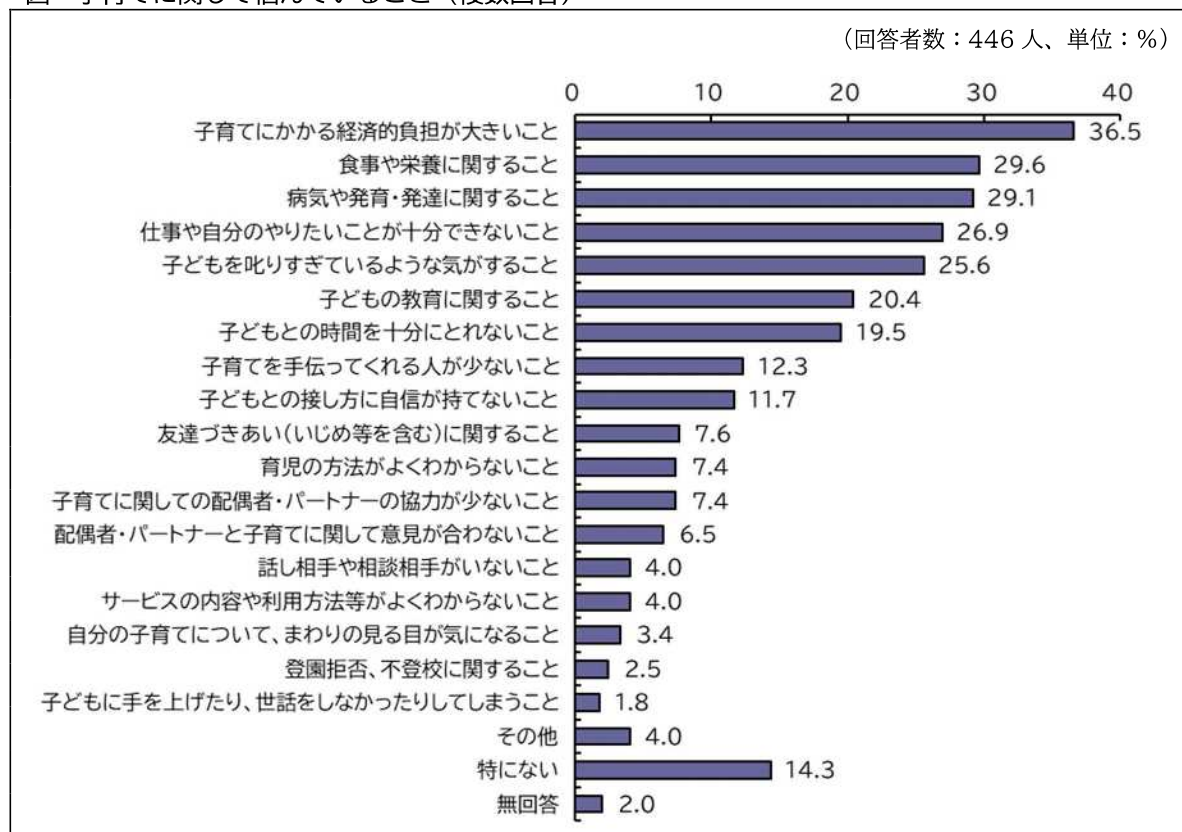


表 子育てに関して悩んでいること（複数回答）

区 分	人 (%)	区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)	配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	29 (6.5)
子育てにかかる経済的負担が大きいこと	163 (36.5)	話し相手や相談相手がいないこと	18 (4.0)
食事や栄養に関すること	132 (29.6)	サービスの内容や利用方法等がよくわからないこと	18 (4.0)
病気や発育・発達に関すること	130 (29.1)	自分の子育てについて、まわりの見目が気になること	15 (3.4)
仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	120 (26.9)	登園拒否、不登校に関すること	11 (2.5)
子どもを叱りすぎているような気がする	114 (25.6)	子どもに手を上げたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	8 (1.8)
子どもの教育に関すること	91 (20.4)	その他	18 (4.0)
子どもとの時間を十分にとれないこと	87 (19.5)	特にない	64 (14.3)
子育てを手伝ってくれる人が少ないこと	55 (12.3)	無回答	9 (2.0)
子どもとの接し方に自信が持てないこと	52 (11.7)		
友達づきあい(いじめ等を含む)に関すること	34 (7.6)		
育児の方法がよくわからないこと	33 (7.4)		
子育てについての配偶者・パートナーの協力が少ないこと	33 (7.4)		

1-2-4 子育てに関する相談相手の有無（問 11）

問 11 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

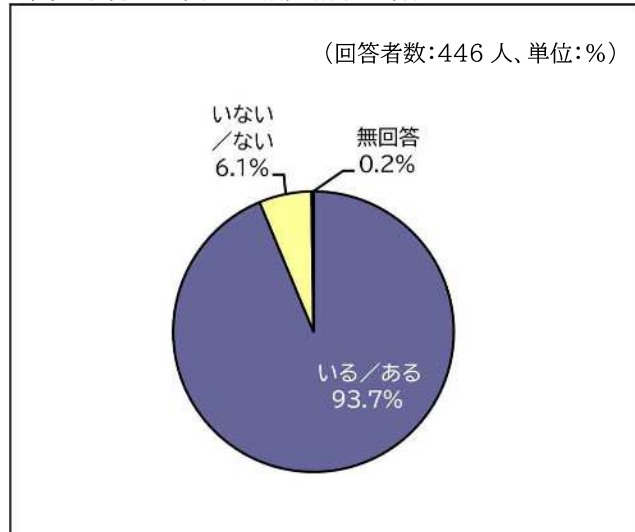
「いる／ある」が 93.7%

子育てに関する相談相手の有無については、「いる／ある」が 93.7%、「いない／ない」が 6.1%となっています。

表 子育てに関する相談相手の有無

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
いる／ある	418 (93.7)
いない／ない	27 (6.1)
無回答	1 (0.2)

図 子育てに関する相談相手の有無



1-2-5 子育てに関する相談相手（問 11-1）

問 11 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。問 11-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

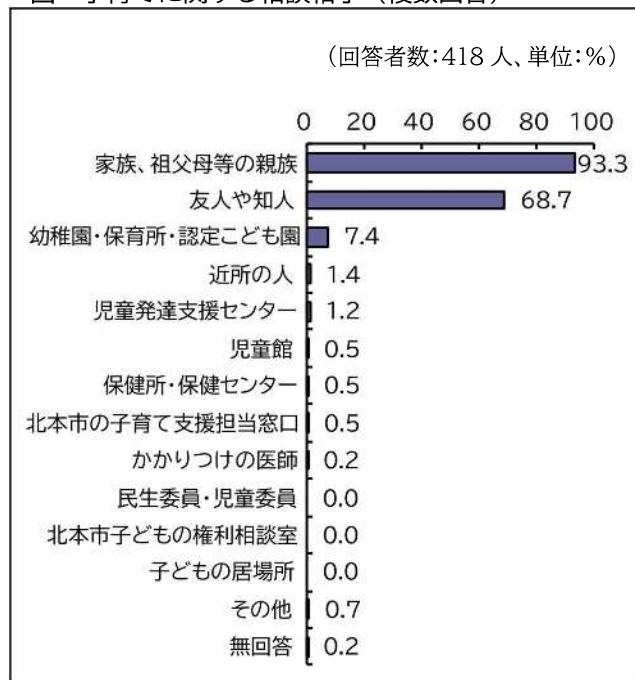
「親族」や「友人や知人」に回答が集中

子育てに関する相談相手については、「家族、祖父母等の親族」が 93.3%で最も多く、次いで「友人や知人」が 68.7%で続いており、この 2 項目に回答が集中しています。

表 子育てに関する相談相手（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	418 (100.0)
家族、祖父母等の親族	390 (93.3)
友人や知人	287 (68.7)
幼稚園・保育所・認定こども園	31 (7.4)
近所の人	6 (1.4)
児童発達支援センター	5 (1.2)
児童館	2 (0.5)
保健所・保健センター	2 (0.5)
北本市の子育て支援担当窓口	2 (0.5)
かかりつけの医師	1 (0.2)
民生委員・児童委員	0 (0.0)
北本市子どもの権利相談室	0 (0.0)
子どもの居場所	0 (0.0)
その他	3 (0.7)
無回答	1 (0.2)

図 子育てに関する相談相手（複数回答）



第3節 保護者の就労状況

1-3-1 母親の就労状況（問12（1））

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業など含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

“就労している”は69.5%

母親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が23.4%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が19.1%であり、これらを合わせると42.5%が“フルタイムで就労している”と回答しています。

また、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が24.3%、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が2.7%であり、これらを合わせると27.0%（120人）が“パート・アルバイト等で就労している”と回答しています。

なお、上記を合わせ、就労している回答者は69.5%（309人）となっています。

一方、現在就労していない回答者は合わせて30.2%（134人）となっています。

図 母親の就労状況

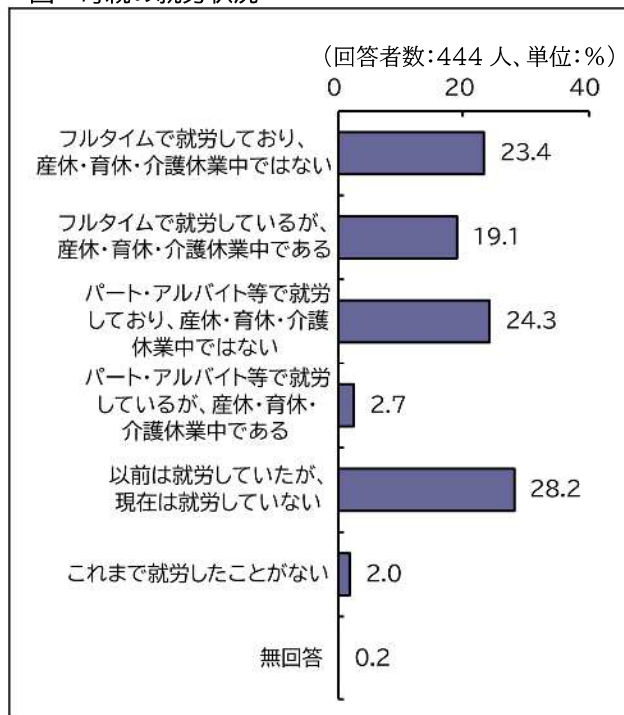


表 母親の就労状況

区 分	人 (%)
回答者数	444 (100.0)
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	104 (23.4)
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	85 (19.1)
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	108 (24.3)
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12 (2.7)
以前は就労していたが、現在は就労していない	125 (28.2)
これまで就労したことがない	9 (2.0)
無回答	1 (0.2)

1-3-2 母親の就労日数及び就労時間（問12（1）-1）

（1）で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

（1）-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（1）母親の週当たり就労日数

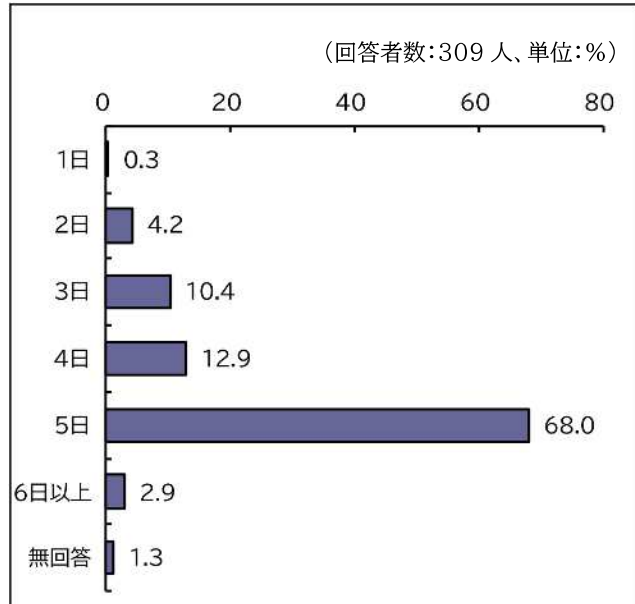
「5日」が最も多い

母親が“就労している”と回答した309人に対し、週当たり就労日数について聞いたところ、「5日」が68.0%で最も多く、次いで「4日」が12.9%、「3日」が10.4%で続いています。

表 母親の週当たり就労日数

区 分	人 (%)
回答者数	309 (100.0)
1日	1 (0.3)
2日	13 (4.2)
3日	32 (10.4)
4日	40 (12.9)
5日	210 (68.0)
6日以上	9 (2.9)
無回答	4 (1.3)

図 母親の週当たり就労日数



（2）母親の1日当たり就労時間

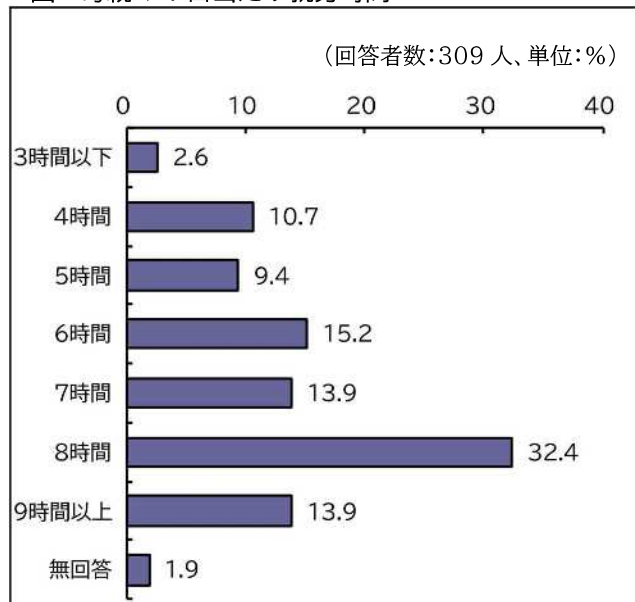
「8時間」が最も多い

母親の1日当たり就労時間については、「8時間」が32.4%で最も多く、次いで「6時間」が15.2%で続いています。

表 母親の1日当たり就労時間

区 分	人 (%)
回答者数	309 (100.0)
3時間以下	8 (2.6)
4時間	33 (10.7)
5時間	29 (9.4)
6時間	47 (15.2)
7時間	43 (13.9)
8時間	100 (32.4)
9時間以上	43 (13.9)
無回答	6 (1.9)

図 母親の1日当たり就労時間



1-3-3 母親の出勤及び帰宅時刻（問 12（1）-2）

（1）-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

出勤時刻は「8 時台」、帰宅時刻は「18 時台」が最も多い

母親の出勤時刻については、「8 時台」が 45.0%で最も多く、次いで「7 時台」が 27.8%で続いています。一方、帰宅時刻については、「18 時台」が 33.7%で最も多く、次いで「17 時台」が 19.1%で続いています。

図 母親の出勤時刻と帰宅時刻

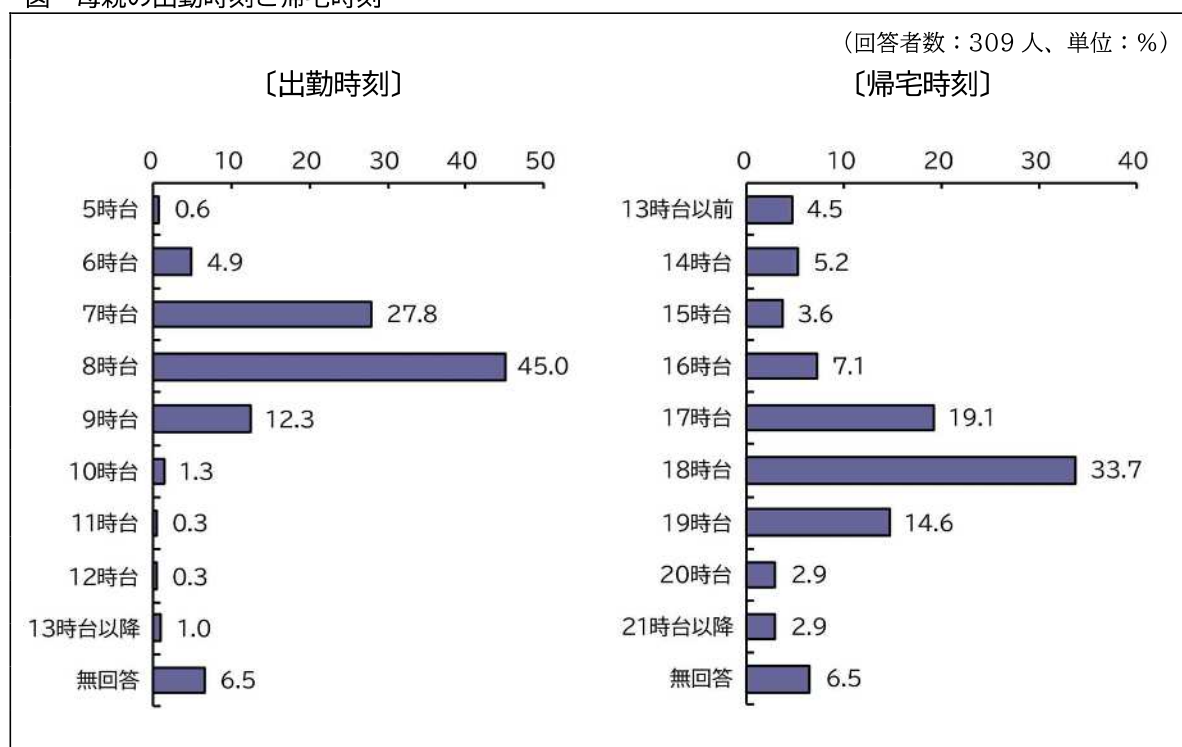


表 母親の出勤時刻及び帰宅時刻

〔出勤時刻〕

区 分	人 (%)
回答者数	309 (100.0)
5 時台以前	2 (0.6)
6 時台	15 (4.9)
7 時台	86 (27.8)
8 時台	139 (45.0)
9 時台	38 (12.3)
10 時台	4 (1.3)
11 時台	1 (0.3)
12 時台	1 (0.3)
13 時台以降	3 (1.0)
無回答	20 (6.5)

〔帰宅時刻〕

区 分	人 (%)
回答者数	309 (100.0)
13 時台以前	14 (4.5)
14 時台	16 (5.2)
15 時台	11 (3.6)
16 時台	22 (7.1)
17 時台	59 (19.1)
18 時台	104 (33.7)
19 時台	45 (14.6)
20 時台	9 (2.9)
21 時以降	9 (2.9)
無回答	20 (6.5)

1-3-4 父親の就労状況（問12（2））

（2）父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

“フルタイムで就労”が94.8%

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が93.2%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が1.6%であり、これらを合わせると94.8%が“フルタイムで就労している”と回答しています。

また、パート・アルバイト等で就労している回答者は見られないことから、就労している回答者は合わせて94.8%（406人）となっています。

図 父親の就労状況

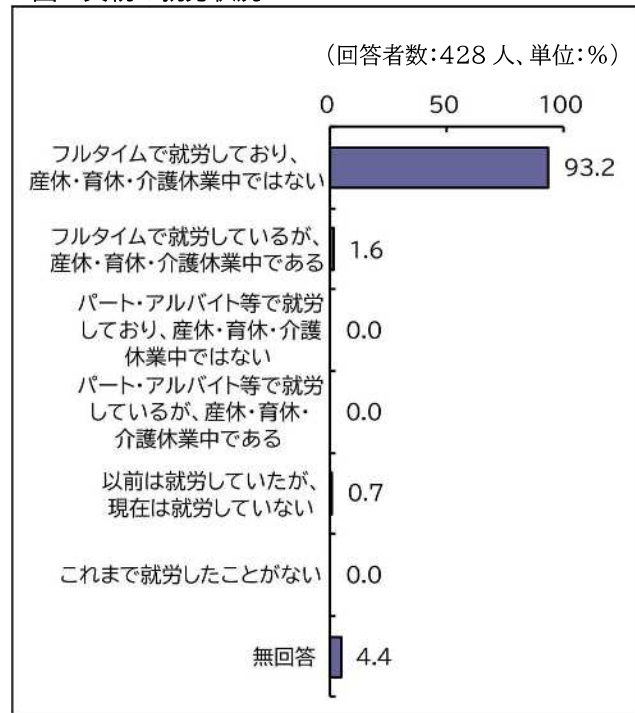


表 父親の就労状況

区 分	人 (%)
回答者数	428 (100.0)
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	399 (93.2)
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	7 (1.6)
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	0 (0.0)
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0 (0.0)
以前は就労していたが、現在は就労していない	3 (0.7)
これまで就労したことがない	0 (0.0)
無回答	19 (4.4)

1-3-5 父親の就労日数及び就労時間（問12（2）-1）

（2）で「1～4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

（2）-1 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

（1）父親の週当たり就労日数

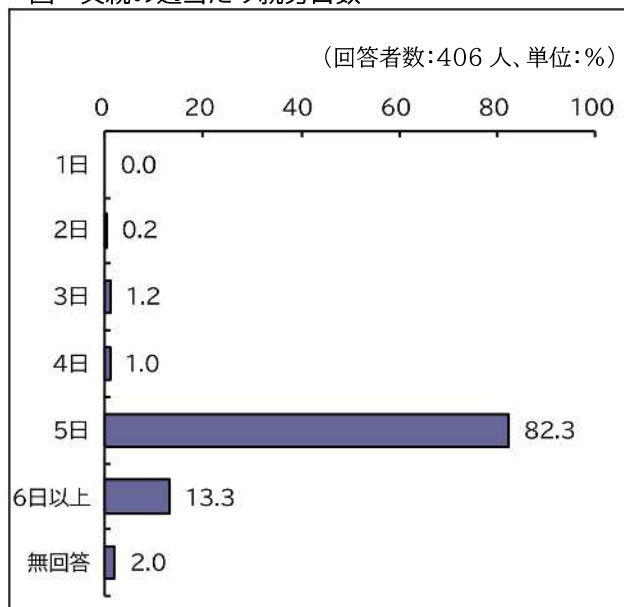
「5日」が最も多い

父親が“就労している”と回答した406人に対し、父親の週当たり就労日数について聞いたところ、「5日」が82.3%で最も多くなっています。

表 父親の週当たり就労日数

区 分	人 (%)
回答者数	406 (100.0)
1日	0 (0.0)
2日	1 (0.2)
3日	5 (1.2)
4日	4 (1.0)
5日	334 (82.3)
6日以上	54 (13.3)
無回答	8 (2.0)

図 父親の週当たり就労日数



（2）父親の1日当たり就労時間

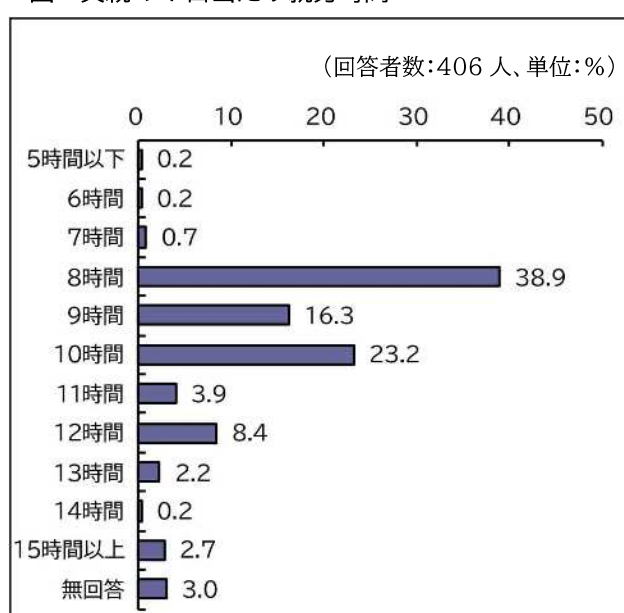
「8時間」が最も多い

父親の1日当たり就労時間については、「8時間」が38.9%で最も多く、次いで「10時間」が23.2%、「9時間」が16.3%で続いています。

表 父親の1日当たり就労時間

区 分	人 (%)
回答者数	406 (100.0)
5時間以下	1 (0.2)
6時間	1 (0.2)
7時間	3 (0.7)
8時間	158 (38.9)
9時間	66 (16.3)
10時間	94 (23.2)
11時間	16 (3.9)
12時間	34 (8.4)
13時間	9 (2.2)
14時間	1 (0.2)
15時間以上	11 (2.7)
無回答	12 (3.0)

図 父親の1日当たり就労時間



1-3-6 父親の出勤及び帰宅時刻（問問12（2）-2）

（2）-2 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

出勤時刻は「7時台」、帰宅時刻は「19時台」が最も多い

父親の出勤時刻については、「7時台」が43.6%で最も多く、次いで「8時台」が23.9%、「6時台」が16.3%が続いています。一方、帰宅時刻については、「19時台」が21.9%で最も多く、次いで「20時台」が19.5%、「21時台」が17.2%が続いています。

図 父親の出勤及び帰宅時刻

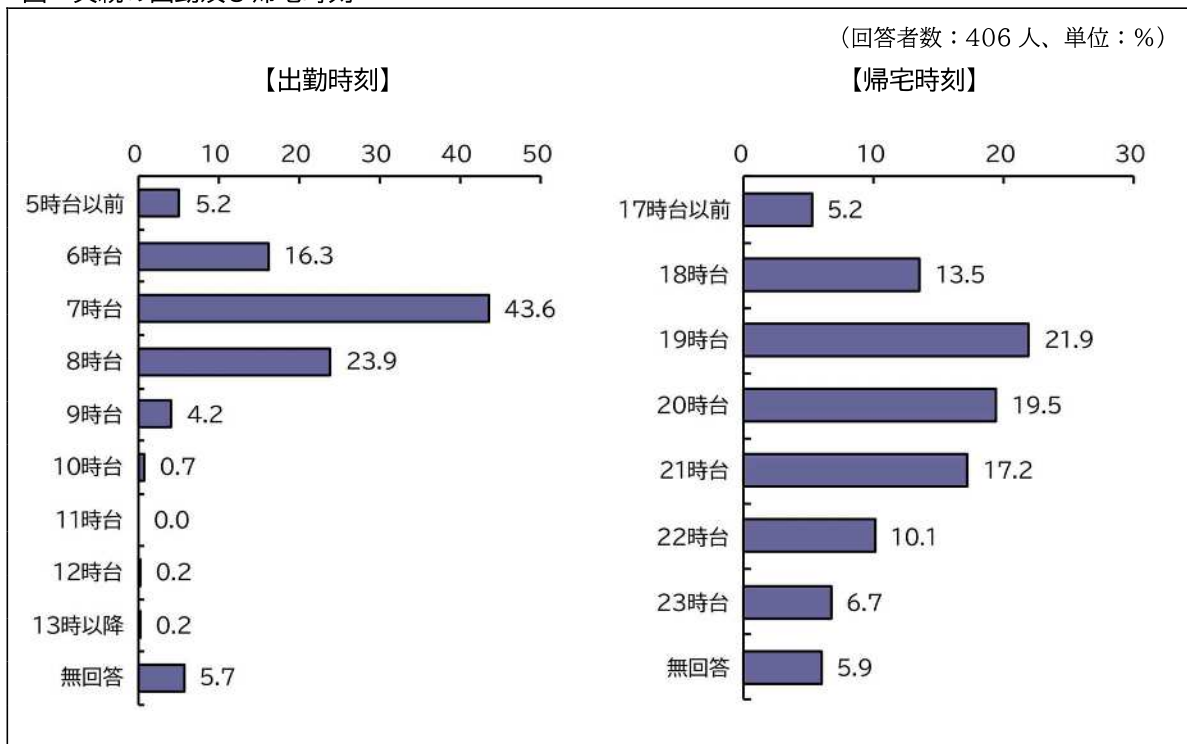


表 父親の出勤及び帰宅時刻

〔出勤時刻〕

区 分	人 (%)
回答者数	406 (100.0)
5時台以前	21 (5.2)
6時台	66 (16.3)
7時台	177 (43.6)
8時台	97 (23.9)
9時台	17 (4.2)
10時台	3 (0.7)
11時台	0 (0.0)
12時台	1 (0.2)
13時以降	1 (0.2)
無回答	23 (5.7)

〔帰宅時刻〕

区 分	人 (%)
回答者数	406 (100.0)
17時台以前	21 (5.2)
18時台	55 (13.5)
19時台	89 (21.9)
20時台	79 (19.5)
21時台	70 (17.2)
22時台	41 (10.1)
23時以降	27 (6.7)
無回答	24 (5.9)

1-3-7 フルタイムへの転換希望（問13）

問12の（1）または（2）で「3」「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問13 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親の転換希望

“転換希望がある”が35.9%

母親がパート・アルバイト等で就労していると回答した120人に対し、フルタイムへの転換希望について聞いたところ、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が9.2%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が26.7%であり、これらを合わせると35.9%が“転換希望がある”と回答しています。

図 母親のフルタイムへの転換希望

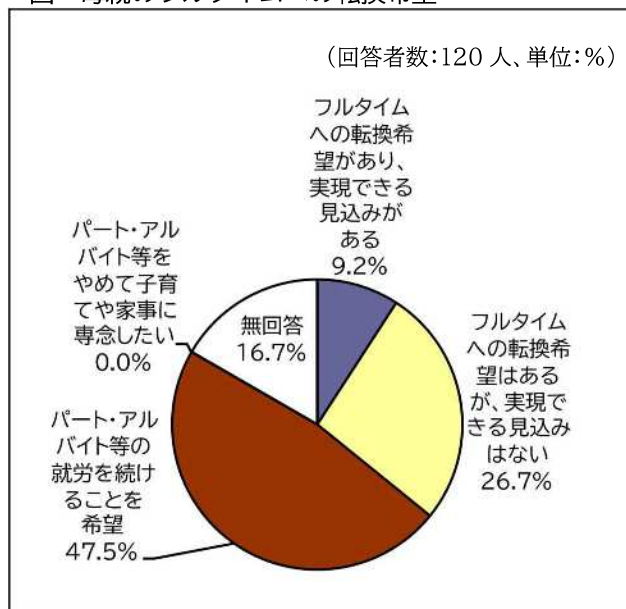


表 母親のフルタイムへの転換希望

区 分	人 (%)
回答者数	120 (100.0)
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	11 (9.2)
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	32 (26.7)
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	57 (47.5)
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	0 (0.0)
無回答	20 (16.7)

※②父親の転換希望については、該当者がいないため掲載を省略します。

1-3-8 働いていない母親の就労希望（問14（1））

問12の（1）または（2）で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問14 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

（1）就労希望の有無

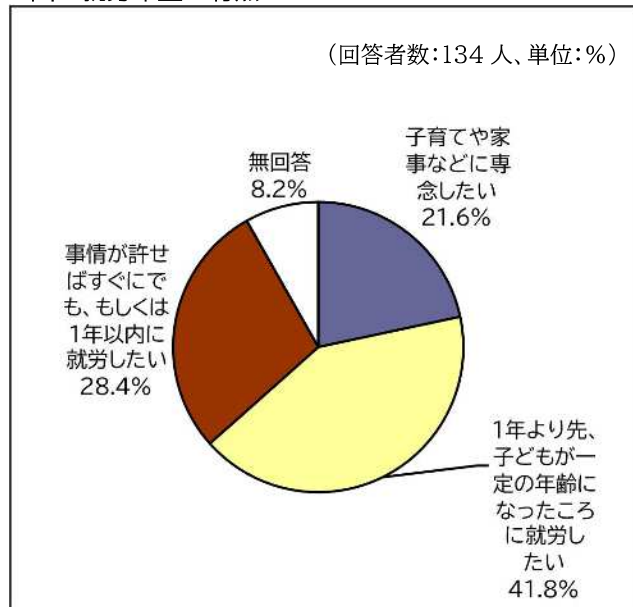
“就労したい”が70.2%

母親が“就労していない”と回答した134人に対し、就労希望の有無について聞いたところ、「1年より先、子どもが一定の年齢になったところに就労したい」が41.8%（56人）、「事情が許せばすぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が28.4%（38人）であり、これらを合わせると70.2%が“就労したい”と回答しています。

表 就労希望の有無

区 分	人 (%)
回答者数	134 (100.0)
子育てや家事などに専念したい	29 (21.6)
1年より先、子どもが一定の年齢になったところに就労したい	56 (41.8)
事情が許せばすぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	38 (28.4)
無回答	11 (8.2)

図 就労希望の有無



（2）就労を希望する子どもの年齢

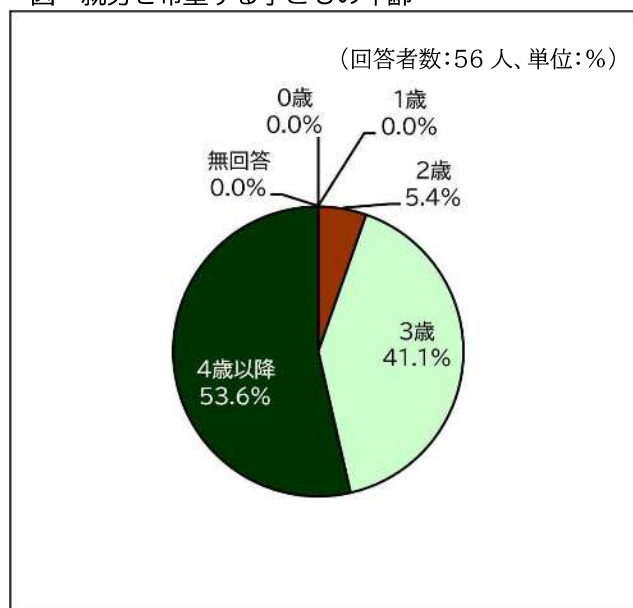
「4歳以降」が最も多い

就労していない母親の就労希望において「1年より先、子どもが一定の年齢になった頃に就労したい」と回答した56人に対し、就労を希望する子どもの年齢について聞いたところ「4歳以降」が53.6%で最も多くなっています。

表 就労を希望する子どもの年齢

区 分	人 (%)
回答者数	56 (100.0)
0歳	0 (0.0)
1歳	0 (0.0)
2歳	3 (5.4)
3歳	23 (41.1)
4歳以降	30 (53.6)
無回答	0 (0.0)

図 就労を希望する子どもの年齢



(3) 希望する就労形態

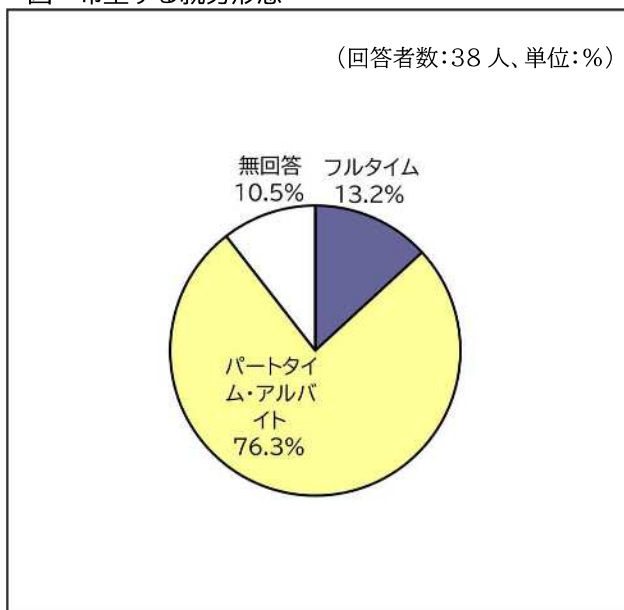
「パート・アルバイト」が76.3%

就労していない母親の就労希望において「事情が許せばすぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した38人に対し、希望する就労形態について聞いたところ、「フルタイム」が13.2%、「パートタイム・アルバイト」が76.3%となっています。

表 希望する就労形態

区 分	人 (%)
回答者数	38 (100.0)
フルタイム	5 (13.2)
パートタイム・アルバイト	29 (76.3)
無回答	4 (10.5)

図 希望する就労形態



(4) 希望する週当たり就労日数

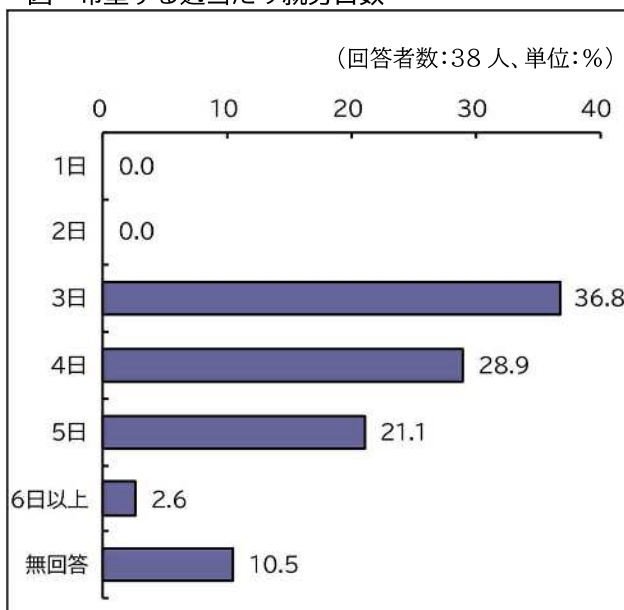
「3日」が最も多い

希望する週当たり就労日数については、「3日」が36.8%で最も多く、次いで「4日」が28.9%、「5日」が21.1%が続いています。

表 希望する週当たり就労日数

区 分	人 (%)
回答者数	38 (100.0)
1日	0 (0.0)
2日	0 (0.0)
3日	14 (36.8)
4日	11 (28.9)
5日	8 (21.1)
6日以上	1 (2.6)
無回答	4 (10.5)

図 希望する週当たり就労日数



(5) 希望する1日当たり就労時間

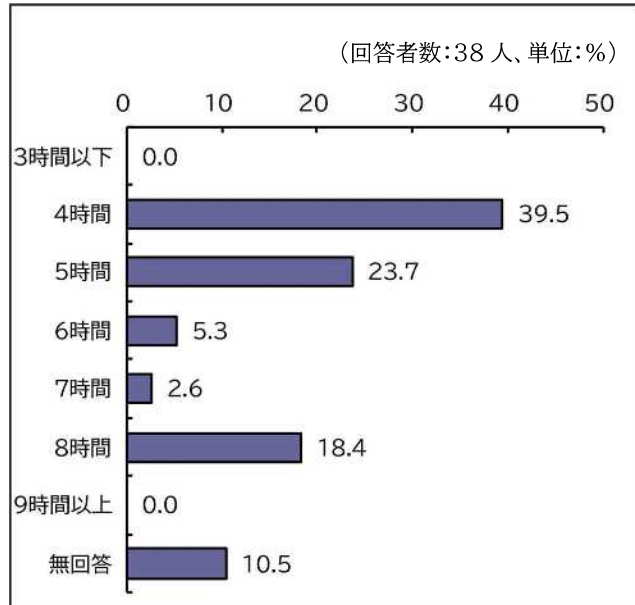
「4時間」が最も多い

希望する1日当たり就労時間については、「4時間」が39.5%で最も多く、次いで「5時間」が23.7%、「8時間」が18.4%で続いています。

表 希望する1日当たり就労時間

区 分	人 (%)
回答者数	38 (100.0)
3時間以下	0 (0.0)
4時間	15 (39.5)
5時間	9 (23.7)
6時間	2 (5.3)
7時間	1 (2.6)
8時間	7 (18.4)
9時間以上	0 (0.0)
無回答	4 (10.5)

図 希望する1日当たり就労時間



1-3-9 働いていない父親の就労希望 (問14 (2))

※該当者が3人と少数であるため、掲載を省略します。

第4節 定期的な教育・保育やサービスの利用状況

1-4-1 定期的なサービスの利用状況（問15）

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育や子育て支援サービス」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

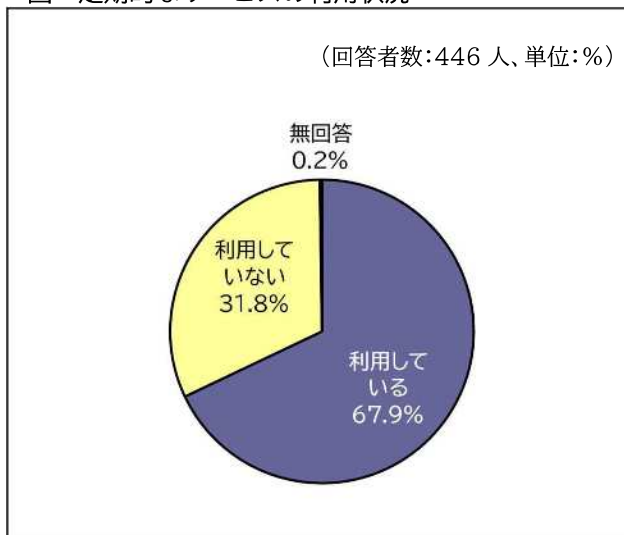
「利用している」が67.9%

定期的なサービスの利用状況については、「利用している」が67.9%（303人）、「利用していない」が31.8%（142人）となっています。

表 定期的なサービスの利用状況

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
利用している	303 (67.9)
利用していない	142 (31.8)
無回答	1 (0.2)

図 定期的なサービスの利用状況



1-4-2 利用しているサービスの種類（問15-1）

問15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育や子育て支援サービスを利用していますか。市内・市外を問わず年間を通じて「定期的に」利用しているものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

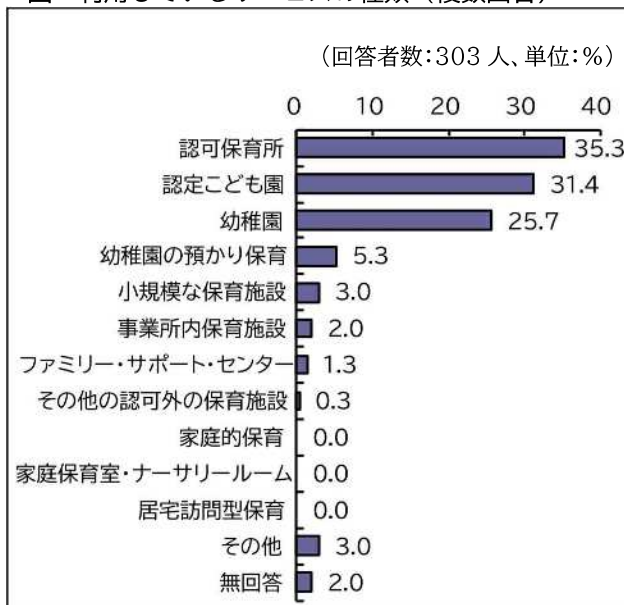
「認可保育所」が最も多い

定期的なサービスの利用状況において「利用している」と回答した303人に対し、利用しているサービスの種類について聞いたところ、「認可保育所」が35.3%で最も多くなっています。

表 利用しているサービスの種類（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	303 (100.0)
認可保育所	107 (35.3)
認定こども園	95 (31.4)
幼稚園	78 (25.7)
幼稚園の預かり保育	16 (5.3)
小規模な保育施設	9 (3.0)
事業所内保育施設	6 (2.0)
ファミリー・サポート・センター	4 (1.3)
その他の認可外の保育施設	1 (0.3)
家庭的保育	0 (0.0)
家庭保育室・ナーサリールーム	0 (0.0)
居宅訪問型保育	0 (0.0)
その他	9 (3.0)
無回答	6 (2.0)

図 利用しているサービスの種類（複数回答）



1-4-3 現在の利用状況と希望の利用状況（問15-2）

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育や子育て支援サービスについて、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。□内に具体的な数字でご記入ください。

（1）現在の利用状況

① 週当たり利用日数

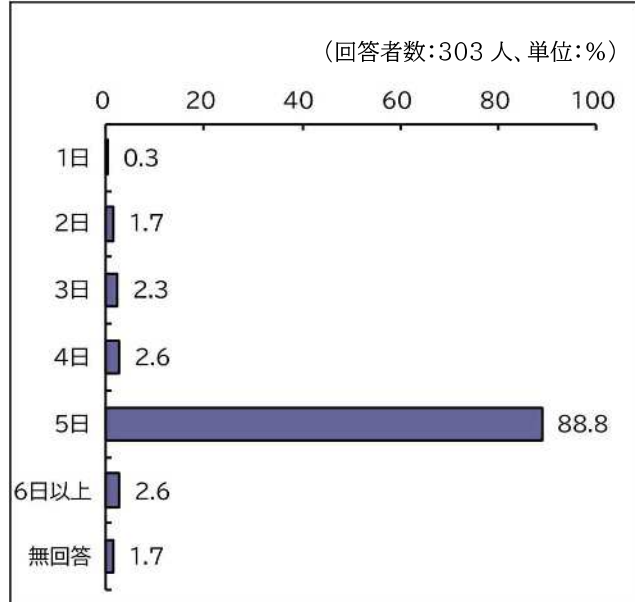
「5日」が最も多い

利用しているサービスの現在の週当たり利用日数については、「5日」が88.8%で最も多くなっています。

表 現在の週当たり就労日数

区 分	人 (%)
回答者数	303 (100.0)
1日	1 (0.3)
2日	5 (1.7)
3日	7 (2.3)
4日	8 (2.6)
5日	269 (88.8)
6日以上	8 (2.6)
無回答	5 (1.7)

図 現在の週当たり就労日数



② 1日当たり利用時間

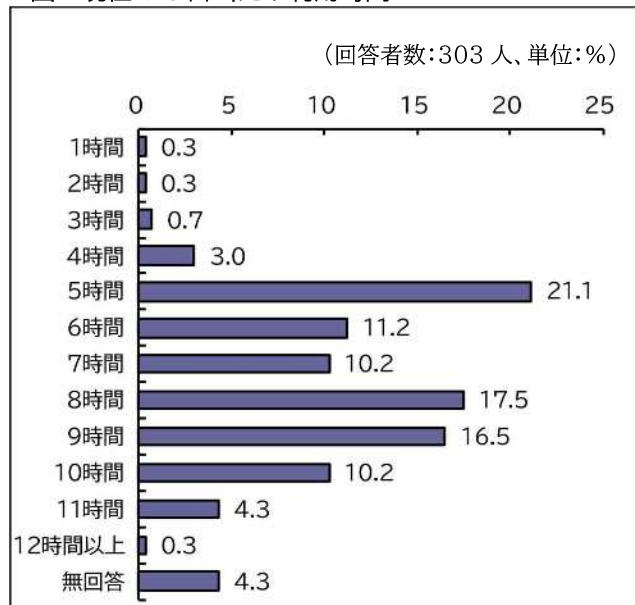
「5時間」が最も多い

現在の1日当たり利用時間については、「5時間」が21.1%で最も多く、次いで「8時間」が17.5%、「9時間」が16.5%で続いています。

表 現在の1日当たり利用時間

区 分	人 (%)
回答者数	303 (100.0)
1時間	1 (0.3)
2時間	1 (0.3)
3時間	2 (0.7)
4時間	9 (3.0)
5時間	64 (21.1)
6時間	34 (11.2)
7時間	31 (10.2)
8時間	53 (17.5)
9時間	50 (16.5)
10時間	31 (10.2)
11時間	13 (4.3)
12時間以上	1 (0.3)
無回答	13 (4.3)

図 現在の1日当たり利用時間



③開始時刻及び終了時刻

開始時刻は「9 時台」、終了時刻は「14 時台」が最も多い

現在の開始時刻については、「9 時台」が46.5%で最も多く、次いで「8 時台」が41.6%で続いています。一方、終了時刻については、「14 時台」が29.7%で最も多く、次いで「16 時台」が21.1%、「18 時台」が19.5%で続いています。

図 現在の開始時刻及び終了時刻

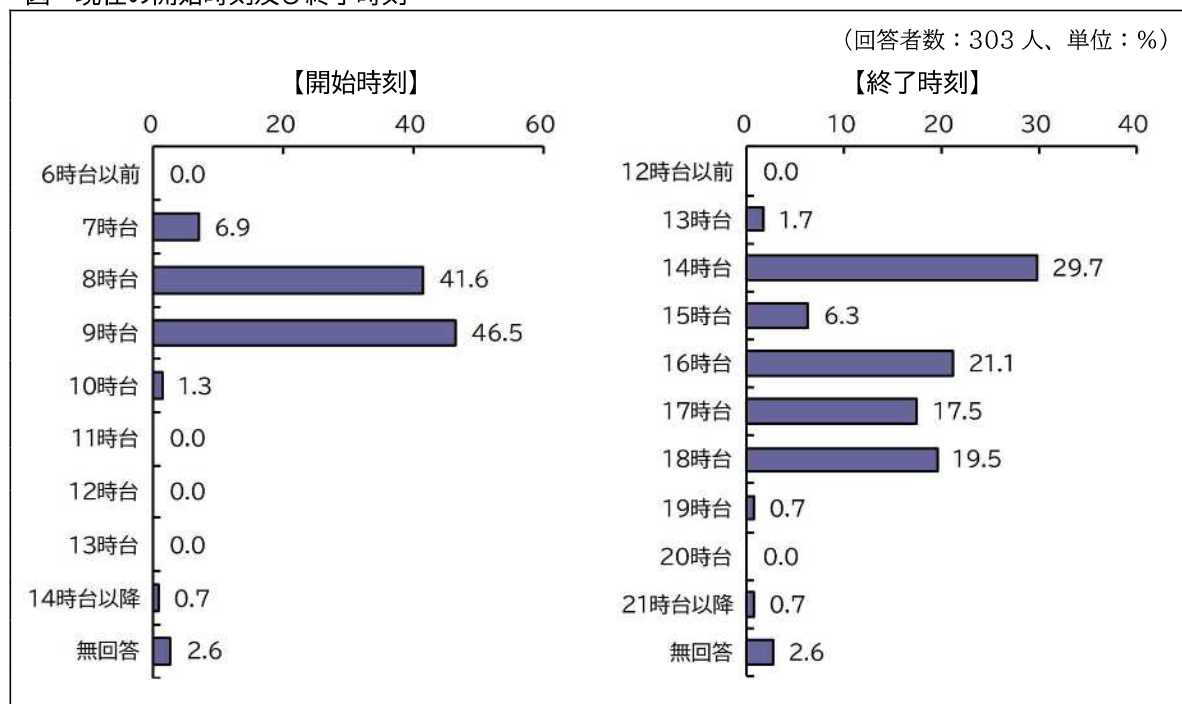


表 現在の開始時刻及び終了時刻

〔開始時刻〕

区 分	人 (%)
回答者数	303 (100.0)
6 時台以前	1 (0.3)
7 時台	21 (6.9)
8 時台	126 (41.6)
9 時台	141 (46.5)
10 時台	4 (1.3)
11 時台	0 (0.0)
12 時台	0 (0.0)
13 時台	0 (0.0)
14 時台以降	2 (0.7)
無回答	8 (2.6)

〔終了時刻〕

区 分	人 (%)
回答者数	303 (100.0)
12 時台以前	1 (0.3)
13 時台	5 (1.7)
14 時台	90 (29.7)
15 時台	19 (6.3)
16 時台	64 (21.1)
17 時台	53 (17.5)
18 時台	59 (19.5)
19 時台	2 (0.7)
20 時台	0 (0.0)
21 時台以降	2 (0.7)
無回答	8 (2.6)

(2) 希望の利用状況

① 週当たり利用日数

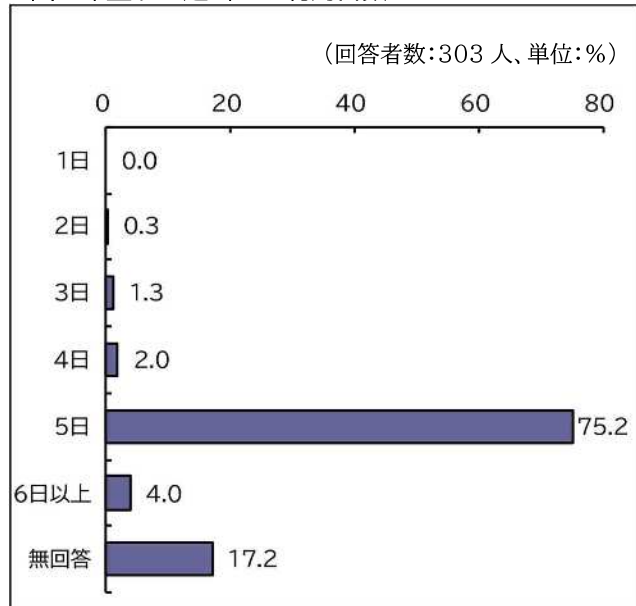
「5日」が最も多い

希望する週当たり利用日数については、「5日」が75.2%で最も多くなっています。

表 希望する週当たり利用日数

区 分	人 (%)
回答者数	303 (100.0)
1日	0 (0.0)
2日	1 (0.3)
3日	4 (1.3)
4日	6 (2.0)
5日	228 (75.2)
6日以上	12 (4.0)
無回答	52 (17.2)

図 希望する週当たり利用日数



② 1日当たり利用時間

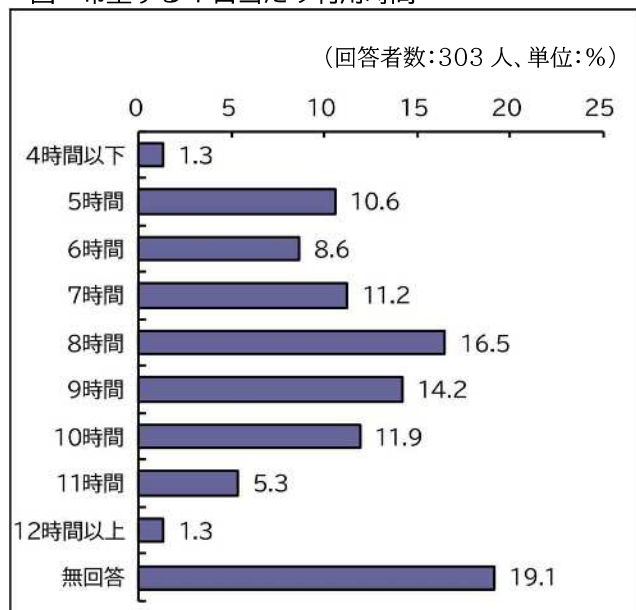
「8時間」が最も多い

希望する1日当たり利用時間については、「8時間」が16.5%で最も多く、次いで「9時間」が14.2%、「10時間」が11.9%で続いています。

表 希望する1日当たり利用時間

区 分	人 (%)
回答者数	303 (100.0)
4時間以下	4 (1.3)
5時間	32 (10.6)
6時間	26 (8.6)
7時間	34 (11.2)
8時間	50 (16.5)
9時間	43 (14.2)
10時間	36 (11.9)
11時間	16 (5.3)
12時間以上	4 (1.3)
無回答	58 (19.1)

図 希望する1日当たり利用時間



③開始時刻及び終了時刻

開始時刻は「8 時台」「9 時台」が多くみられ、終了時刻は回答が分散

希望する開始時刻については、「8 時台」が 37.0%で最も多く、次いで「9 時台」が 35.0%で続いています。一方、終了時刻については、「17 時台」が 19.5%で最も多く、次いで「18 時台」が 18.8%、「16 時台」が 16.5%で続いています。

図 希望する開始時刻及び終了時刻

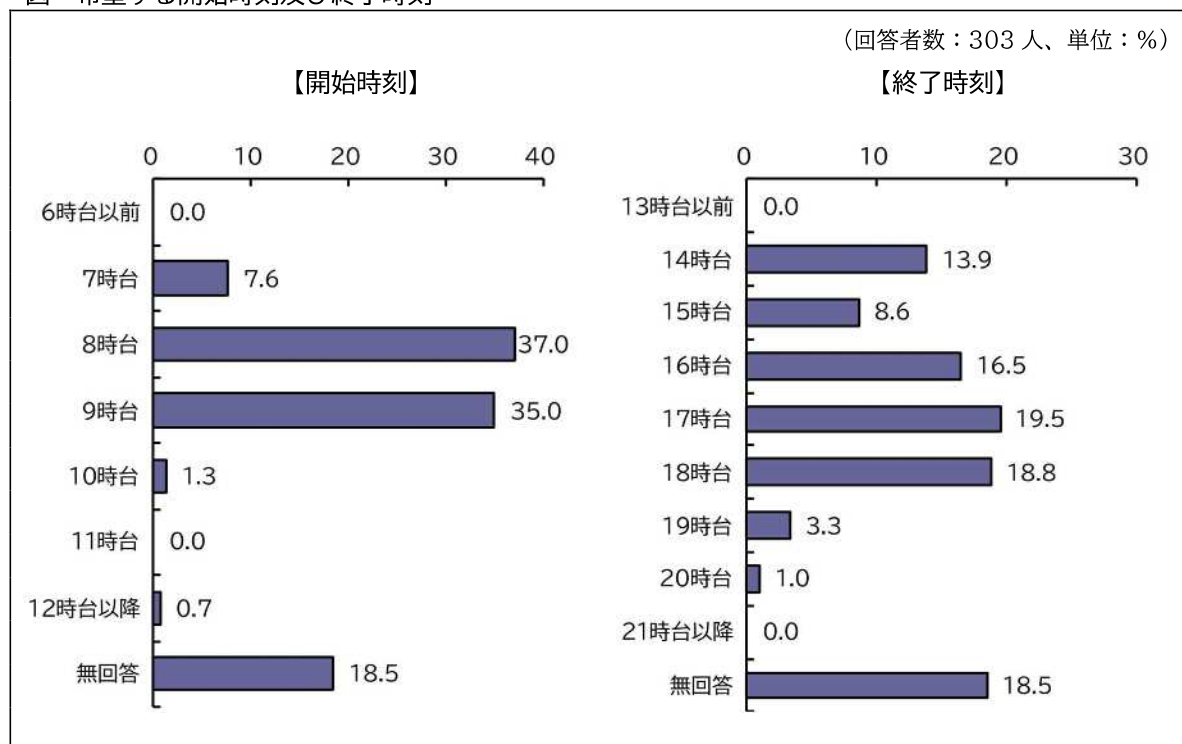


表 希望する開始時刻及び終了時刻

【開始時刻】

区 分	人 (%)
回答者数	303 (100.0)
6 時台以前	0 (0.0)
7 時台	23 (7.6)
8 時台	112 (37.0)
9 時台	106 (35.0)
10 時台	4 (1.3)
11 時台	0 (0.0)
12 時台	0 (0.0)
12 時台以降	2 (0.7)
無回答	56 (18.5)

【終了時刻】

区 分	人 (%)
回答者数	303 (100.0)
13 時台以前	0 (0.0)
14 時台	42 (13.9)
15 時台	26 (8.6)
16 時台	50 (16.5)
17 時台	59 (19.5)
18 時台	57 (18.8)
19 時台	10 (3.3)
20 時台	3 (1.0)
21 時台以降	0 (0.0)
無回答	56 (18.5)

1-4-4 利用しているサービスの実施場所（問15-3）

問15-3 現在、利用している教育・保育や子育て支援サービスの実施場所についてうかがいます。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。

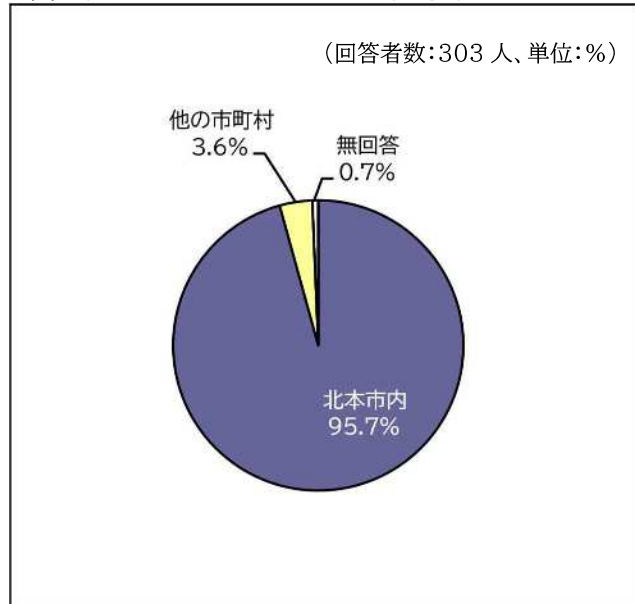
「北本市内」が95.7%

利用しているサービスの実施場所については、「北本市内」が95.7%、「他の市町村」が3.6%となっています。

表 利用しているサービスの実施場所

区 分	人 (%)
回答者数	303 (100.0)
北本市内	290 (95.7)
他の市町村	11 (3.6)
無回答	2 (0.7)

図 利用しているサービスの実施場所



1-4-5 サービスを利用している理由（問15-4）

問15-4 平日に定期的に教育・保育や子育て支援サービスを利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

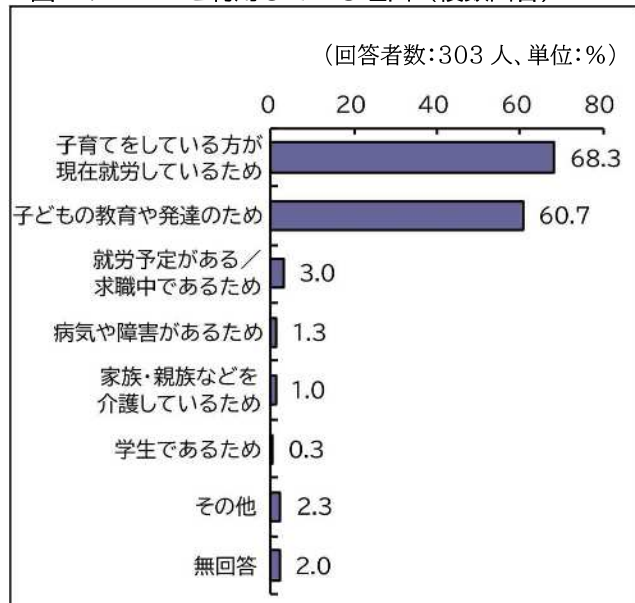
「現在就労しているため」が最も多い

現在、サービスを利用している理由については、「子育てをしている方が現在就労しているため」が68.3%で最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が60.7%で続いています。

表 サービスを利用している理由（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	303 (100.0)
子育てをしている方が現在就労しているため	207 (68.3)
子どもの教育や発達のため	184 (60.7)
子育てをしている方が就労予定がある／求職中であるため	9 (3.0)
子育てをしている方に病気や障害があるため	4 (1.3)
子育てをしている方が家族・親族などを介護しているため	3 (1.0)
子育てをしている方が学生であるため	1 (0.3)
その他	7 (2.3)
無回答	6 (2.0)

図 サービスを利用している理由（複数回答）



1-4-6 サービスを利用していない理由（問 15-5）

問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-5 サービスを利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① サービスを利用していない理由

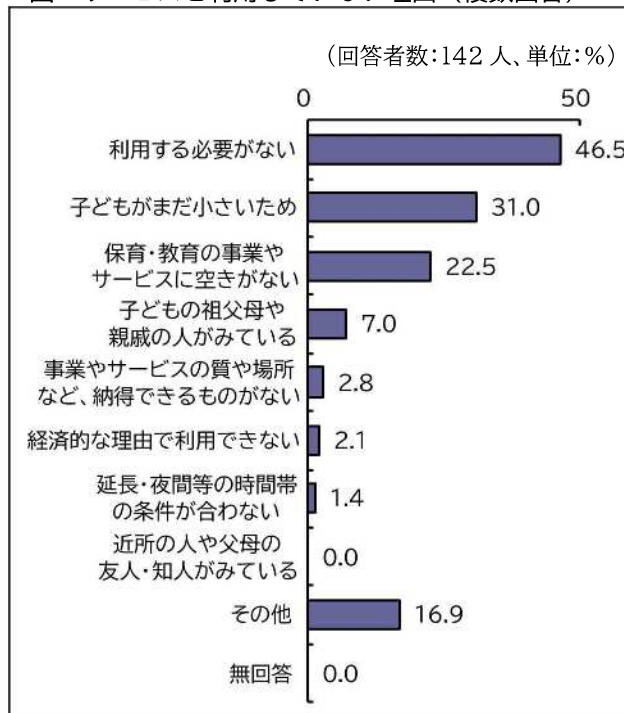
「利用する必要がない」が最も多い

現在、サービスを利用していないと回答した 142 人に対し、その理由について聞いたところ、「利用する必要がない」が 46.5% で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」が 31.0%（44 人）、「利用したいが、保育・教育の事業やサービスに空きがない」が 22.5% で続いています。

表 サービスを利用していない理由（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	142 (100.0)
利用する必要がない	66 (46.5)
子どもがまだ小さいため	44 (31.0)
利用したいが、保育・教育の事業やサービスに空きがない	32 (22.5)
子どもの祖父母や親戚の人がみている	10 (7.0)
利用したいが、事業やサービスの質や場所など、納得できるものがない	4 (2.8)
利用したいが、経済的な理由で事業やサービスを利用できない	3 (2.1)
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	2 (1.4)
近所の人や父母の友人・知人がみている	0 (0.0)
その他	24 (16.9)
無回答	0 (0.0)

図 サービスを利用していない理由（複数回答）



② サービスを利用したいと思う子どもの年齢

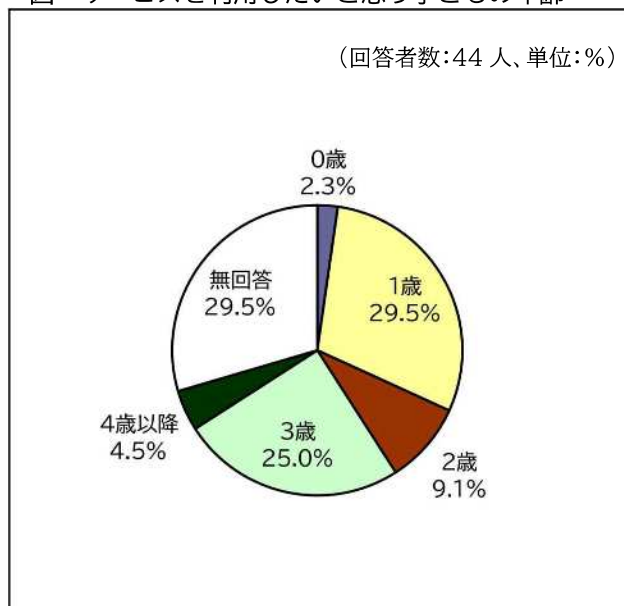
「1 歳」が最も多い

サービスを利用していない理由において「子どもがまだ小さいため」と回答した 44 人に対し、サービスを利用したいと思う子どもの年齢について聞いたところ、「1 歳」が 29.5% で最も多く、次いで「3 歳」が 25.0% で続いています。

表 サービスを利用したいと思う子どもの年齢

区 分	人 (%)
回答者数	44 (100.0)
0 歳	1 (2.3)
1 歳	13 (29.5)
2 歳	4 (9.1)
3 歳	11 (25.0)
4 歳以降	2 (4.5)
無回答	13 (29.5)

図 サービスを利用したいと思う子どもの年齢



1-4-7 定期的に利用したいサービス（問16）

問16 すべての方にうかがいます。宛名のお子さんの平日の教育・保育や子育て支援サービスとして、市内・市外を問わず「定期的に」利用したいと考えるものをお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、所得・年齢等に応じた利用料が設定されています。

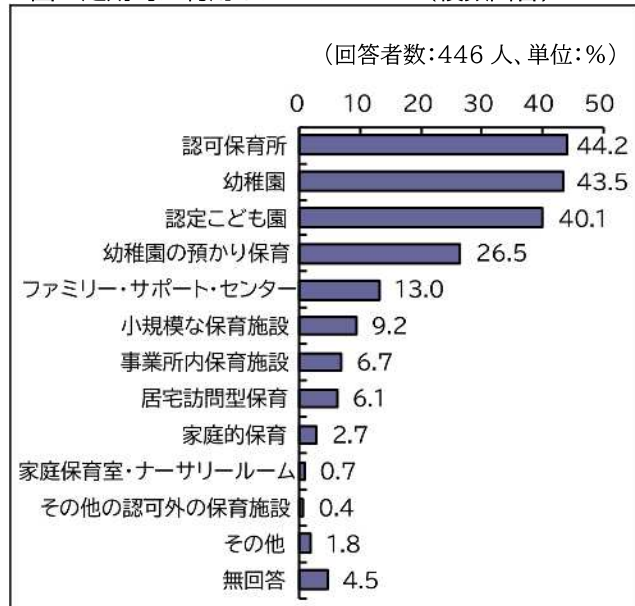
「認可保育所」が最も多い

定期的に利用したいサービスについては、「認可保育所」が44.2%で最も多く、次いで「幼稚園」が43.5%、「認定こども園」が40.1%で続いています。

表 定期的に利用したいサービス（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
認可保育所	197 (44.2)
幼稚園	194 (43.5)
認定こども園	179 (40.1)
幼稚園の預かり保育	118 (26.5)
ファミリー・サポート・センター	58 (13.0)
小規模な保育施設	41 (9.2)
事業所内保育施設	30 (6.7)
居宅訪問型保育	27 (6.1)
家庭的保育	12 (2.7)
家庭保育室・ナーサリールーム	3 (0.7)
その他の認可外の保育施設	2 (0.4)
その他	8 (1.8)
無回答	20 (4.5)

図 定期的に利用したいサービス（複数回答）



1-4-8 サービスを利用したい場所（問16-1）

問16-1 教育・保育や子育て支援サービスを利用したい場所についてうかがいます。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。

「北本市内」が92.4%

サービスを利用したい場所については、「北本市内」が92.4%、「他の市町村」が2.2%となっています。

また、他の市町村の内訳は、鴻巣市が6人で最も多く、次いで東松山市が2人で続いています。

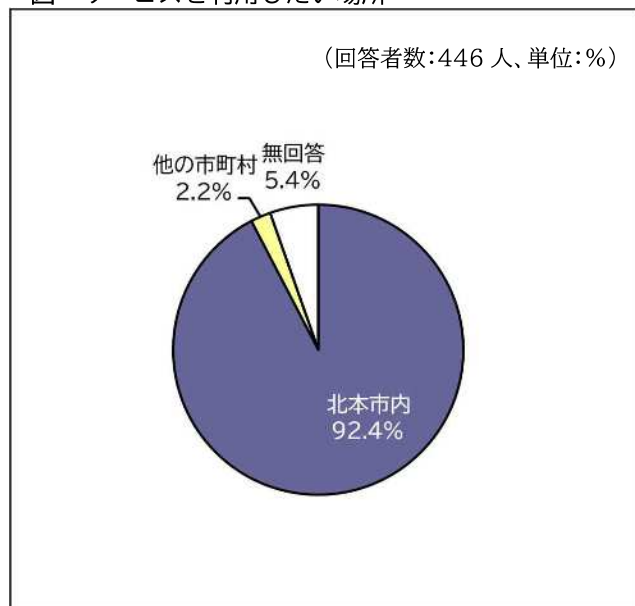
表 サービスを利用したい場所

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
北本市内	412 (92.4)
他の市町村	10 (2.2)
無回答	24 (5.4)

〔他の市町村の内訳〕

鴻巣市 6人、東松山市 2人、さいたま市 1人、桶川市 1人、新宿区 1人、名古屋市 1 (複数記載あり)

図 サービスを利用したい場所



1-4-9 幼稚園をめぐる利用希望の状況（問16を基に作成）

※問16を基に作成

「幼稚園と保育サービスを併用」は
22.4%

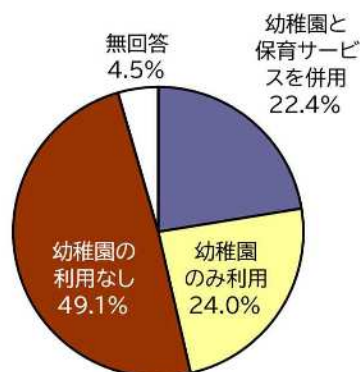
定期的に利用したいサービス（問16）の回答構成を基に幼稚園をめぐる利用希望の状況について調べたところ、「幼稚園と保育サービスを併用」が22.4%（100人）、「幼稚園のみ利用」が24.0%、「幼稚園の利用なし」が49.1%となっています。

表 幼稚園をめぐる利用希望の状況

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
幼稚園と保育サービスを併用	100 (22.4)
幼稚園のみ利用	107 (24.0)
幼稚園の利用なし	219 (49.1)
無回答	20 (4.5)

図 幼稚園をめぐる利用希望の状況

(回答者数:446人、単位:%)



1-4-10 幼稚園・保育サービス併用希望者における幼稚園の利用希望（問16-2）

問16-2 問16で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ3～12にも○をつけた方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。

「はい」が60.0%

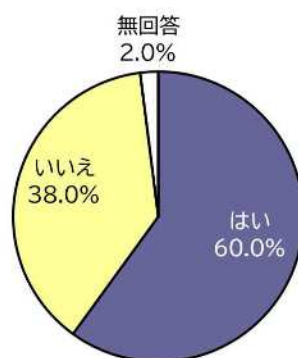
幼稚園・保育サービスの併用を希望すると回答した100人に対し、幼稚園の利用を強く希望するかについて聞いたところ、「はい」が60.0%、「いいえ」が38.0%となっています。

表 幼稚園・保育サービス併用希望者における幼稚園の利用希望

区 分	人 (%)
回答者数	100 (100.0)
はい	60 (60.0)
いいえ	38 (38.0)
無回答	2 (2.0)

図 幼稚園・保育サービス併用希望者における幼稚園の利用希望

(回答者数:100人、単位:%)



第5節 地域の子育て支援事業の利用状況

1-5-1 地域の子育て支援事業の利用状況（問17）

問17 宛名のおさんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「児童館」「北本駅子育て支援センター」「北本市子育て支援センター」「Coccoひろば北本」「中丸保育園子育て支援センター」）等を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

（1）地域の子育て支援事業の利用の有無

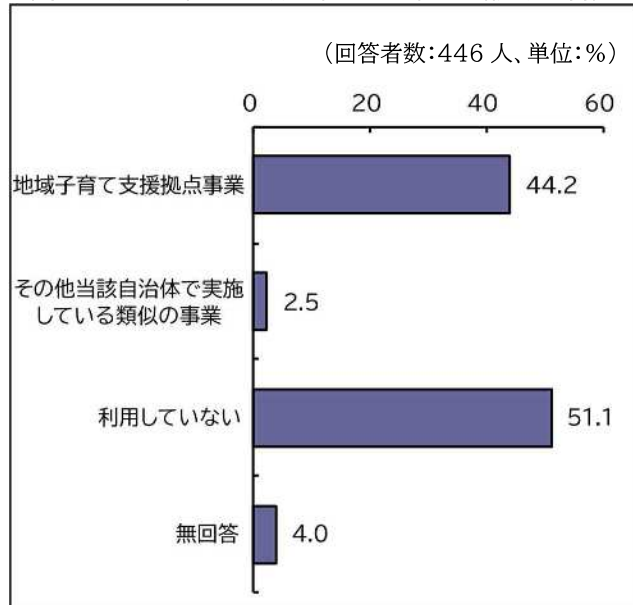
「地域子育て支援拠点事業」は44.2%

地域の子育て支援事業の利用状況については、「地域子育て支援拠点事業」が44.2%（197人）、「その他当該自治体で実施している類似の事業」が2.5%（11人）、「利用していない」が51.1%となっています。

表 地域の子育て支援事業の利用状況（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
地域子育て支援拠点事業	197 (44.2)
その他当該自治体で実施している類似の事業	11 (2.5)
利用していない	228 (51.1)
無回答	18 (4.0)

図 地域の子育て支援事業の利用状況（複数回答）



（2）地域子育て支援拠点事業の現在の月当たり利用回数

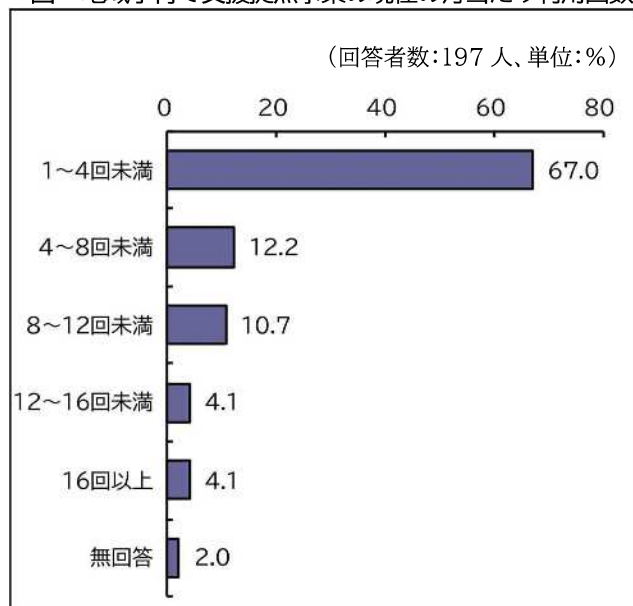
「1～4回未満」が最も多い

地域子育て支援拠点事業を利用していると回答した197人に対し、現在の月当たり利用回数について聞いたところ、「1～4回未満」が67.0%で最も多くなっています。

表 地域子育て支援拠点事業の現在の月当たり利用回数

区 分	人 (%)
回答者数	197 (100.0)
1～4回未満	132 (67.0)
4～8回未満	24 (12.2)
8～12回未満	21 (10.7)
12～16回未満	8 (4.1)
16回以上	8 (4.1)
無回答	4 (2.0)

図 地域子育て支援拠点事業の現在の月当たり利用回数



(3) その他の事業の現在の月当たり利用回数

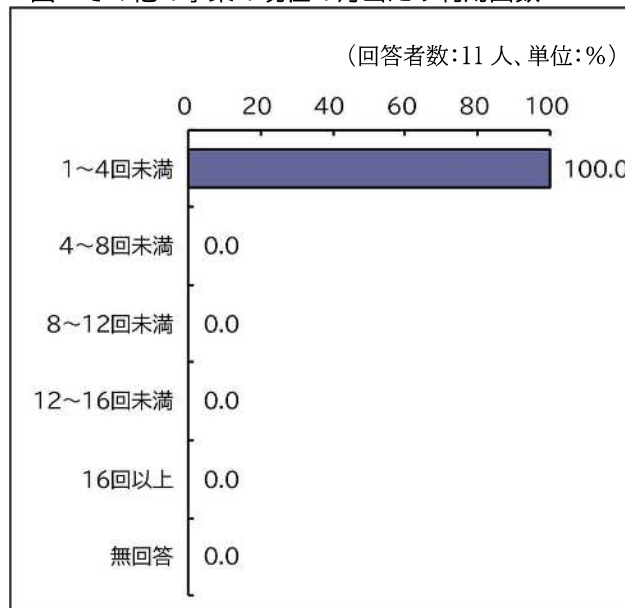
「1～4 回未満」が100.0%

その他の事業を利用していると回答した11人に対し、現在の月当たり利用回数について聞いたところ、「1～4 回未満」が100.0%となっています。

表 その他の事業の現在の月当たり利用回数

区 分	人 (%)
回答者数	11 (100.0)
1～4 回未満	11 (100.0)
4～8 回未満	0 (0.0)
8～12 回未満	0 (0.0)
12～16 回未満	0 (0.0)
16 回以上	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

図 その他の事業の現在の月当たり利用回数



1-5-2 地域子育て支援拠点事業の利用希望（問18）

問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

（1）地域子育て支援拠点事業の利用希望

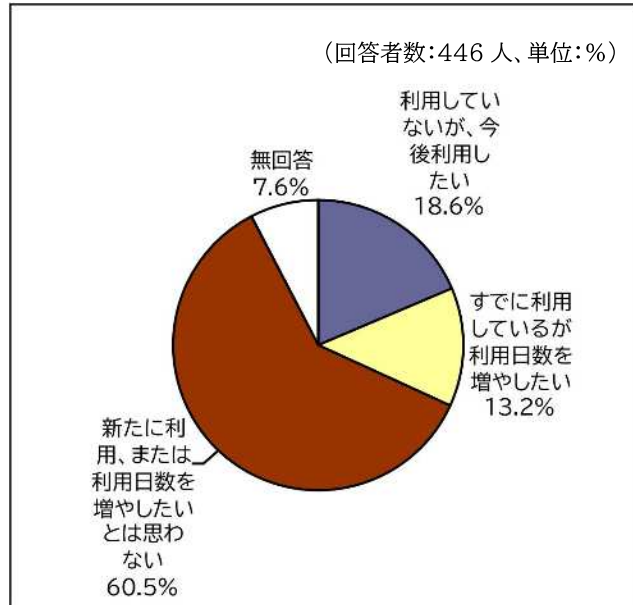
“新たに利用、または利用日数を増やしたい”が31.8%

地域子育て支援拠点事業の利用希望については、「利用していないが、今後利用したい」が18.6%（83人）、「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」が13.2%（59人）であり、これらを合わせると31.8%が“新たに利用、または利用日数を増やしたい”と回答しています。

表 地域子育て支援拠点事業の利用希望

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
利用していないが、今後利用したい	83 (18.6)
すでに利用しているが利用日数を増やしたい	59 (13.2)
新たに利用、または利用日数を増やしたいとは思わない	270 (60.5)
無回答	34 (7.6)

図 地域子育て支援拠点事業の利用希望



（2）新たな利用を希望する人の月当たり利用回数

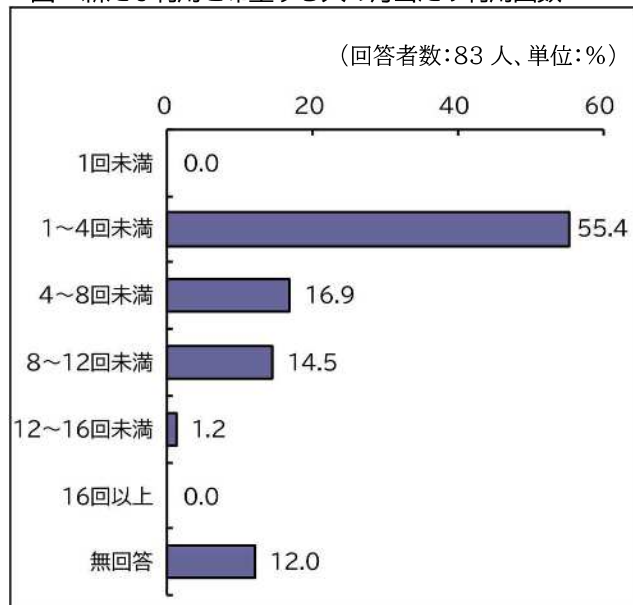
「1～4回未満」が最も多い

地域子育て支援拠点事業の利用希望において「利用していないが、今後利用したい」と回答した83人に対し、希望する月当たり利用回数について聞いたところ、「1～4回未満」が55.4%で最も多くなっています。

表 新たな利用を希望する人の月当たり利用回数

区 分	人 (%)
回答者数	83 (100.0)
1回未満	0 (0.0)
1～4回未満	46 (55.4)
4～8回未満	14 (16.9)
8～12回未満	12 (14.5)
12～16回未満	1 (1.2)
16回以上	0 (0.0)
無回答	10 (12.0)

図 新たな利用を希望する人の月当たり利用回数



(3) 回数増加を希望する人の月当たり利用回数

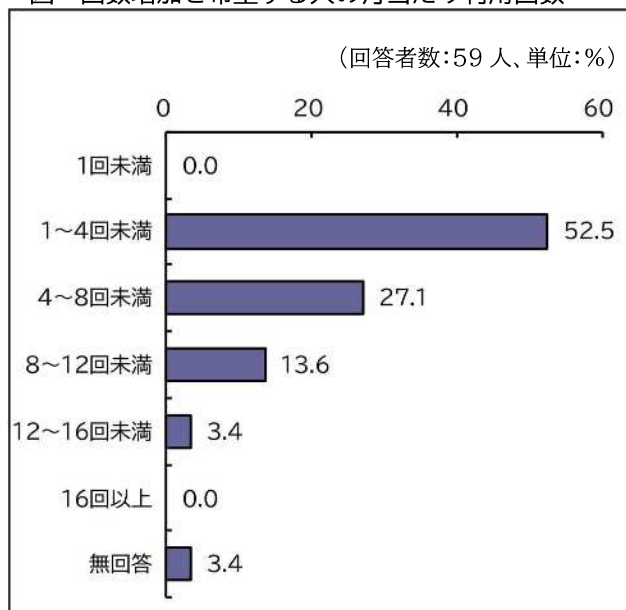
「1～4 回未満」が最も多い

地域子育て支援拠点事業の利用希望において「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」と回答した59人に対し、希望する月当たり利用回数について聞いたところ、「1～4 回未満」が52.5%で最も多くなっています。

表 回数増加を希望する人の月当たり利用回数

区 分	人 (%)
回答者数	59 (100.0)
1 回未満	0 (0.0)
1～4 回未満	31 (52.5)
4～8 回未満	16 (27.1)
8～12 回未満	8 (13.6)
12～16 回未満	2 (3.4)
16 回以上	0 (0.0)
無回答	2 (3.4)

図 回数増加を希望する人の月当たり利用回数



1-5-3 市で実施している事業の認知度、利用経験及び利用希望（問19）

問19 北本市で実施している下記の事業についてうかがいます。認知状況、利用経験、利用希望ごとに、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

（1）市で実施している事業の認知度

「母子健康センター、保健センターの情報・相談事業」や「子育て支援拠点の相談・講習会」の認知度が高い

市で実施している事業の認知度について、「はい」の割合についてみると、「母子健康センター、保健センターの情報・相談事業」が78.7%で最も多く、次いで「子育て支援拠点の相談・講習会」が76.7%、「自治体発行の子育て支援情報誌」が72.6%が続いています。

図 市で実施している事業の認知度

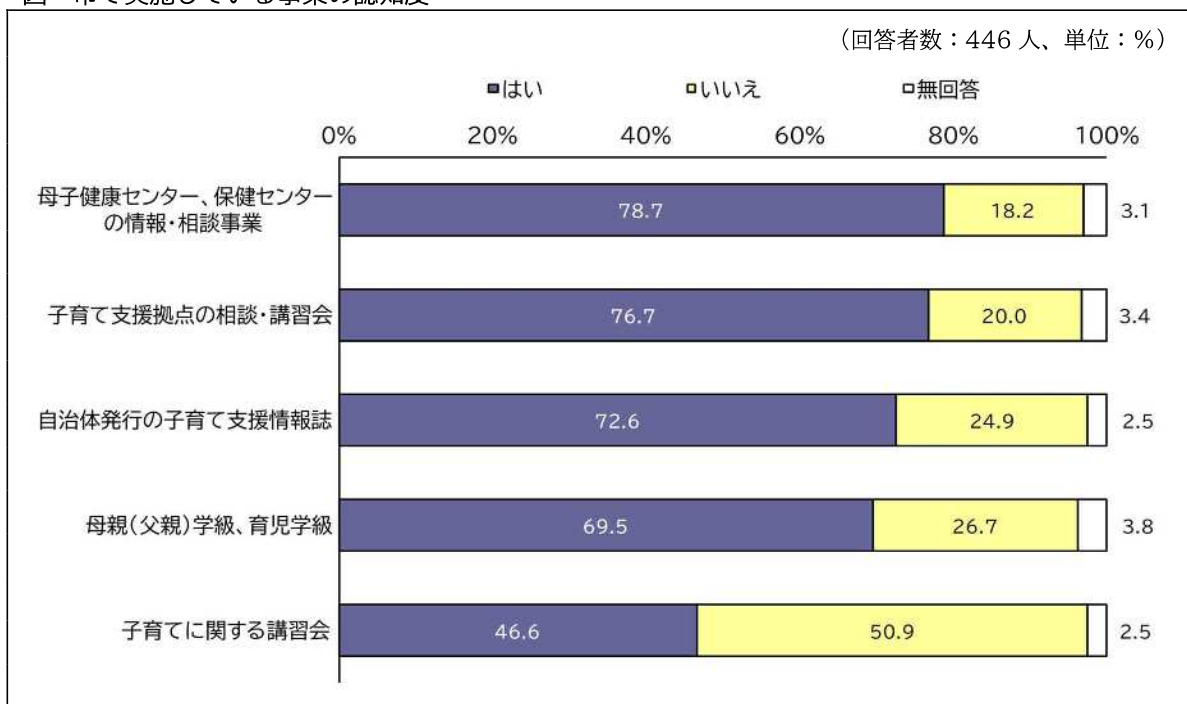


表 市で実施している事業の認知度

回答者数：446人、単位：人 (%)

区 分	はい	いいえ	無回答
母子健康センター、保健センターの情報・相談事業	351 (78.7)	81 (18.2)	14 (3.1)
子育て支援拠点の相談・講習会	342 (76.7)	89 (20.0)	15 (3.4)
自治体発行の子育て支援情報誌	324 (72.6)	111 (24.9)	11 (2.5)
母親(父親)学級、育児学級	310 (69.5)	119 (26.7)	17 (3.8)
子育てに関する講習会	208 (46.6)	227 (50.9)	11 (2.5)

(2) 市で実施している事業の利用経験

「自治体発行の子育て支援情報誌」が最も多い

市で実施している事業の利用経験について「はい」の割合についてみると、「自治体発行の子育て支援情報誌」が51.9%で最も多く、次いで「母子健康センター、保健センターの情報・相談事業」が37.9%、「子育て支援拠点の相談・講習会」が34.5%が続いています。

図 市で実施している事業の利用経験

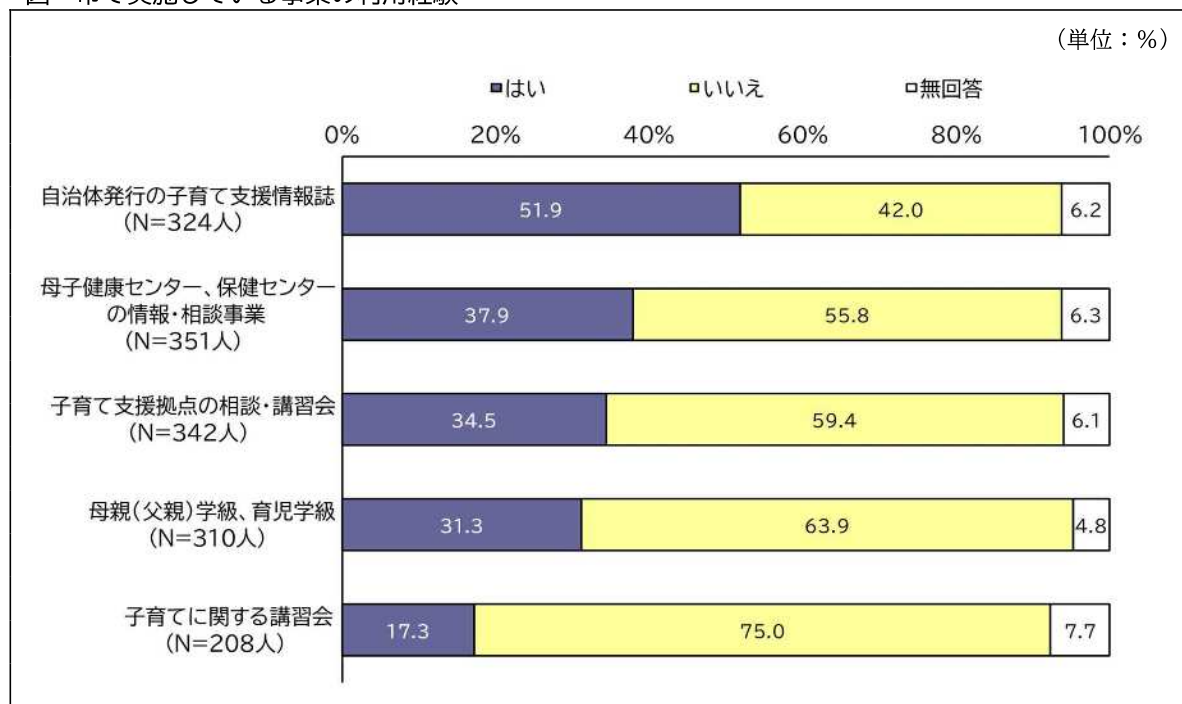


表 市で実施している事業の利用経験

単位：人 (%)

区 分	回答者数	はい	いいえ	無回答
自治体発行の子育て支援情報誌	324 (100.0)	168 (51.9)	136 (42.0)	20 (6.2)
母子健康センター、保健センターの情報・相談事業	351 (100.0)	133 (37.9)	196 (55.8)	22 (6.3)
子育て支援拠点の相談・講習会	342 (100.0)	118 (34.5)	203 (59.4)	21 (6.1)
母親(父親)学級、育児学級	310 (100.0)	97 (31.3)	198 (63.9)	15 (4.8)
子育てに関する講習会	208 (100.0)	36 (17.3)	156 (75.0)	16 (7.7)

(3) 市で実施している事業の利用希望

「自治体発行の子育て支援情報誌」が最も多い

市で実施している事業の利用希望について「はい」の割合についてみると、「自治体発行の子育て支援情報誌」が57.4%で最も多く、次いで「子育て支援拠点の相談・講習会」が49.3%、「子育て支援拠点の相談・講習会」が45.9%が続いています。

図 市で実施している事業の利用希望

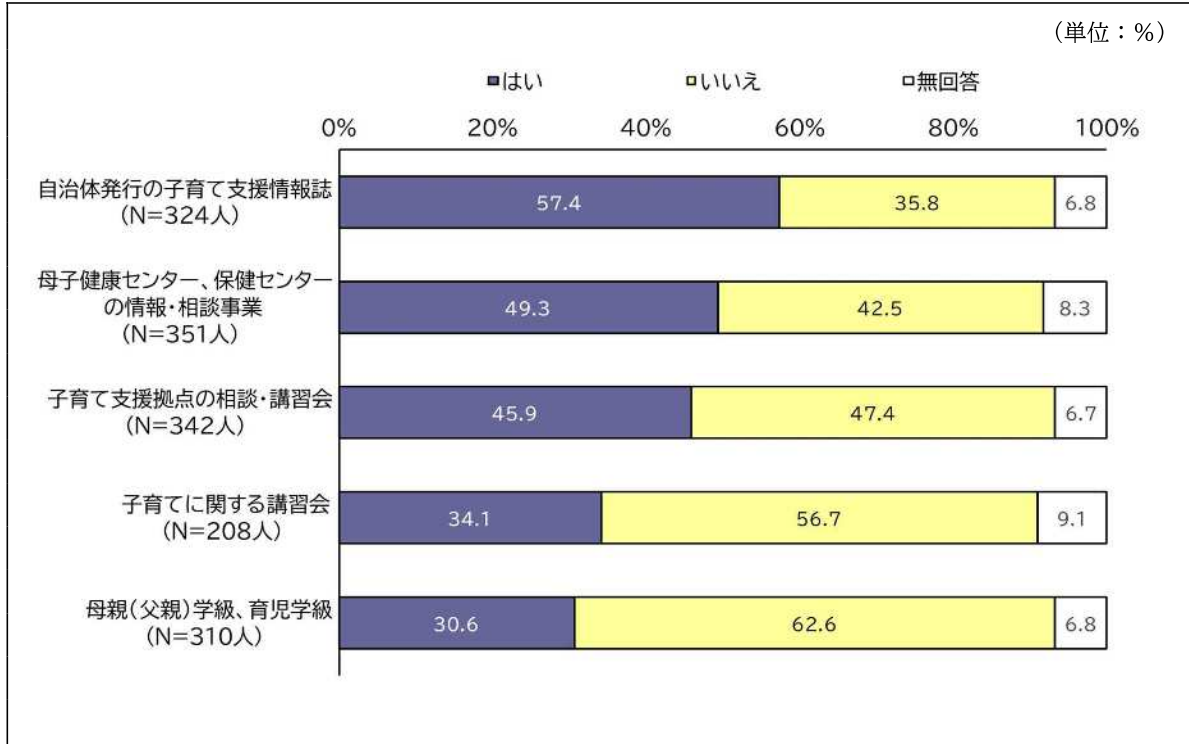


表 市で実施している事業の利用希望

単位：人 (%)

区 分	回答者数	はい	いいえ	無回答
母子健康センター、保健センターの情報・相談事業	324 (100.0)	186 (57.4)	116 (35.8)	22 (6.8)
子育て支援拠点の相談・講習会	351 (100.0)	173 (49.3)	149 (42.5)	29 (8.3)
自治体発行の子育て支援情報誌	342 (100.0)	157 (45.9)	162 (47.4)	23 (6.7)
母親(父親)学級、育児学級	208 (100.0)	71 (34.1)	118 (56.7)	19 (9.1)
子育てに関する講習会	310 (100.0)	95 (30.6)	194 (62.6)	21 (6.8)

第6節 土・日等の定期的な教育・保育や子育て支援サービスの利用希望について

1-6-1 土曜日や日曜日・祝日の利用希望（問20）

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育や子育て支援サービスの利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

（1）土曜日の利用希望

①利用希望の有無

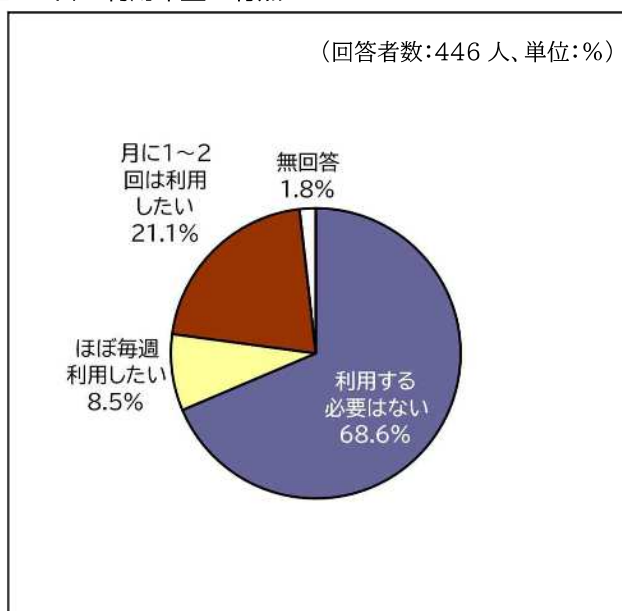
“利用したい”は29.6%

定期的な教育・保育や子育て支援サービスの土曜日の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が8.5%、「月に1～2回は利用したい」が21.1%であり、これらを合わせると29.6%（132人）が“利用したい”と回答しています。

表 定期的な教育・保育や子育て支援サービスの土曜日の利用希望

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
利用する必要はない	306 (68.6)
ほぼ毎週利用したい	38 (8.5)
月に1～2回は利用したい	94 (21.1)
無回答	8 (1.8)

図 定期的な教育・保育や子育て支援サービスの土曜日の利用希望の有無



②利用したい時間帯

開始時刻は「8 時台」が最も多く、終了時刻は「18 時台」、「17 時台」が多くみられる

定期的な教育・保育や子育て支援サービスの土曜日の利用希望において“利用したい”と回答した 132 人に対し、希望する時間帯を聞いたところ、開始時刻は「8 時台」が 46.2%で最も多く、次いで「9 時台」が 27.3%、「7 時台」が 14.4%が続いています。一方、終了時刻については、「18 時台」が 28.8%で最も多く、次いで「17 時台」が 25.8%が続いています。

図 土曜日の利用したい時間帯

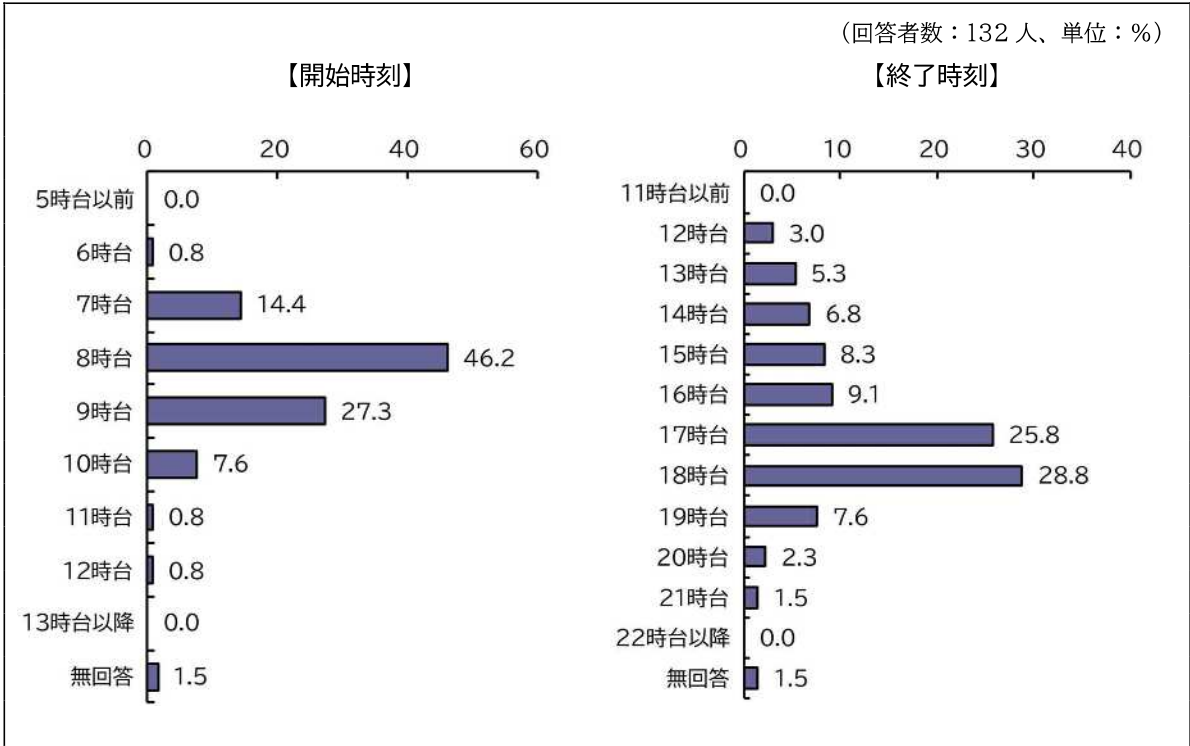


表 土曜日の利用したい時間帯

〔開始時刻〕

区 分	人 (%)
回答者数	132 (100.0)
5 時台以前	0 (0.0)
6 時台	1 (0.8)
7 時台	19 (14.4)
8 時台	61 (46.2)
9 時台	36 (27.3)
10 時台	10 (7.6)
11 時台	1 (0.8)
12 時台	1 (0.8)
13 時台以降	1 (0.8)
無回答	2 (1.5)

〔終了時刻〕

区 分	人 (%)
回答者数	132 (100.0)
11 時台以前	0 (0.0)
12 時台	4 (3.0)
13 時台	7 (5.3)
14 時台	9 (6.8)
15 時台	11 (8.3)
16 時台	12 (9.1)
17 時台	34 (25.8)
18 時台	38 (28.8)
19 時台	10 (7.6)
20 時台	3 (2.3)
21 時台	2 (1.5)
22 時台以降	0 (0.0)
無回答	2 (1.5)

(2) 日曜日・祝日の利用希望

①利用希望の有無

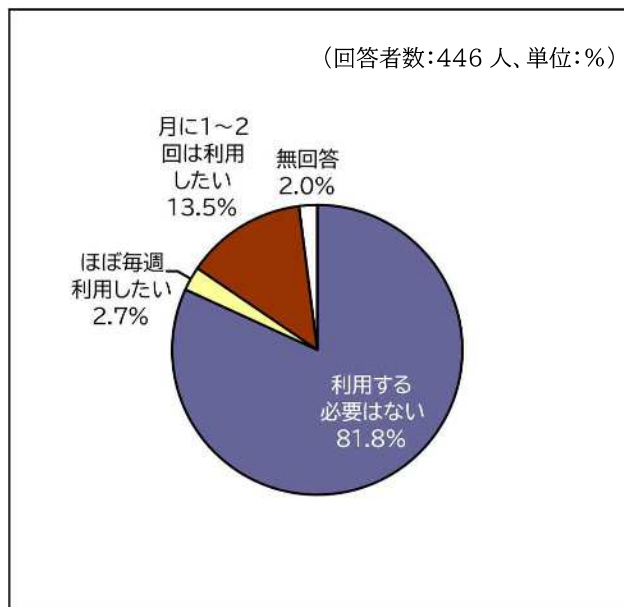
“利用したい”は16.2%

定期的な教育・保育や子育て支援サービスの日曜日・祝日の利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」が2.7%、「月に1～2回は利用したい」が13.5%であり、これらを合わせると16.2%（72人）が“利用したい”と回答しています。

表 定期的な教育・保育や子育て支援サービスの日曜日・祝日の利用希望

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
利用する必要はない	365 (81.8)
ほぼ毎週利用したい	12 (2.7)
月に1～2回は利用したい	60 (13.5)
無回答	9 (2.0)

図 定期的な教育・保育や子育て支援サービスの日曜日・祝日の利用希望の有無



②利用したい時間帯

開始時刻は「8 時台」、終了時刻は「17 時台」が最も多い

定期的な教育・保育や子育て支援サービスの日曜日・祝日の利用希望において“利用したい”と回答した 72 人に対し、希望する時間帯を聞いたところ、開始時刻は「8 時台」が 37.5%で最も多く、次いで「9 時台」が 31.9%、「7 時台」が 16.7%が続いています。一方、終了時刻については、「17 時台」が 30.6%で最も多く、次いで「18 時台」が 25.0%が続いています。

図 日曜日・祝日の利用したい時間帯

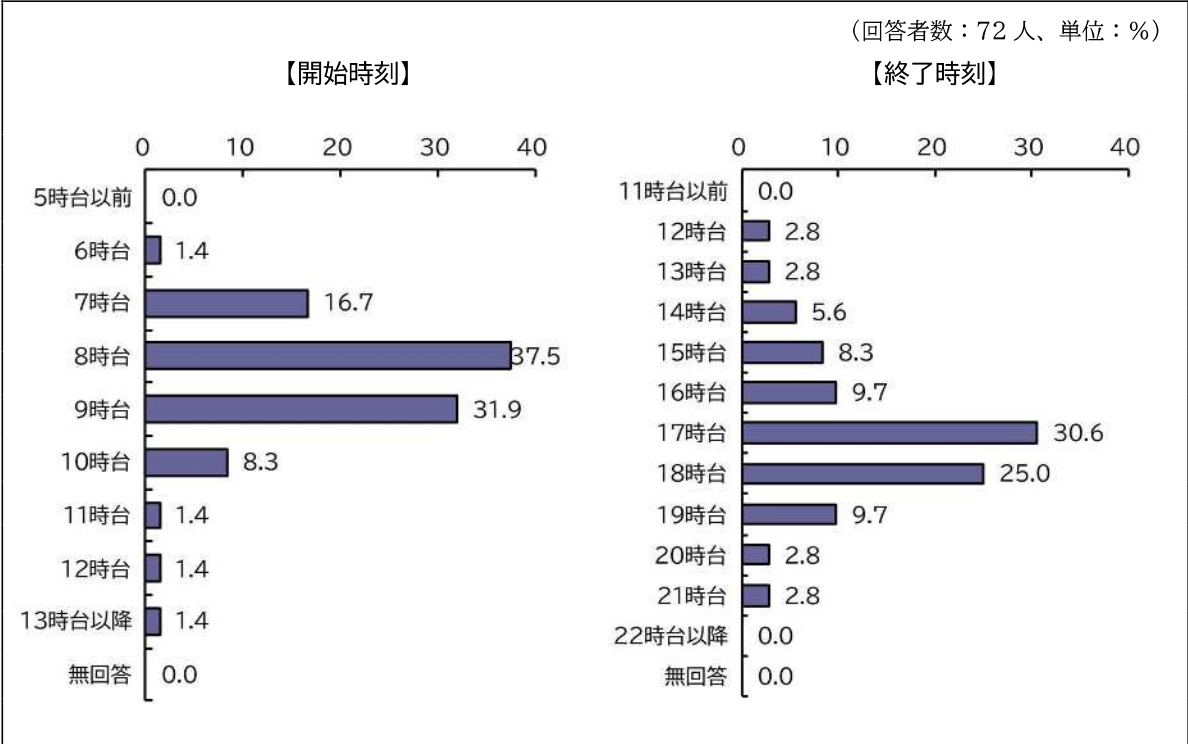


表 日曜日・祝日の利用したい時間帯

〔開始時刻〕		〔終了時刻〕	
区 分	人 (%)	区 分	人 (%)
回答者数	72 (100.0)	回答者数	72 (100.0)
5 時台以前	0 (0.0)	11 時台以前	0 (0.0)
6 時台	1 (1.4)	12 時台	2 (2.8)
7 時台	12 (16.7)	13 時台	2 (2.8)
8 時台	27 (37.5)	14 時台	4 (5.6)
9 時台	23 (31.9)	15 時台	6 (8.3)
10 時台	6 (8.3)	16 時台	7 (9.7)
11 時台	1 (1.4)	17 時台	22 (30.6)
12 時台	1 (1.4)	18 時台	18 (25.0)
13 時台以降	1 (1.4)	19 時台	7 (9.7)
無回答	0 (0.0)	20 時台	2 (2.8)
		21 時台	2 (2.8)
		22 時台以降	0 (0.0)
		無回答	0 (0.0)

1-6-2 幼稚園の長期休業期間中の利用希望（問 21）

「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育や子育て支援サービスの利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

①利用希望の有無

“利用したい” が 53.9%

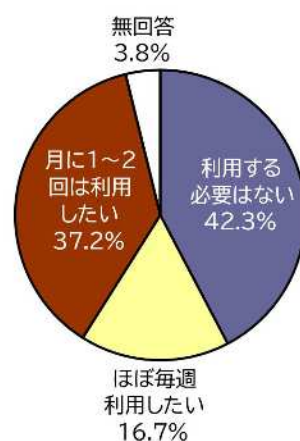
利用しているサービスの種類(問 15-1)において「幼稚園」と回答した 78 人に対し、長期休業期間中の幼稚園の利用希望について聞いたところ、「ほぼ毎週利用したい」が 16.7%、「月に 1～2 回は利用したい」が 37.2%であり、これらを合わせると 53.9%（42 人）が“利用したい”と回答しています。

表 長期休業期間中の幼稚園の利用希望

区 分	人 (%)
回答者数	78 (100.0)
利用する必要はない	33 (42.3)
ほぼ毎週利用したい	13 (16.7)
月に1～2回は利用したい	29 (37.2)
無回答	3 (3.8)

図 長期休業期間中の幼稚園の利用希望の有無

（回答者数:78 人、単位:%）



②利用したい時間帯

開始時刻は「8 時台」、「9 時台」が多く、終了時刻は「18 時台」が最も多い

長期休業期間中の幼稚園の利用希望において“利用したい”と回答した 42 人に対し、利用したい時間帯について聞いたところ、開始時刻については「8 時台」が 40.0%で最も多く、次いで「9 時台」が 38.9%で続いています。一方、終了時刻については、「18 時台」が 26.7%で最も多く、次いで「16 時台」が 16.7%で続いています。

図 長期休業期間中の利用したい時間帯

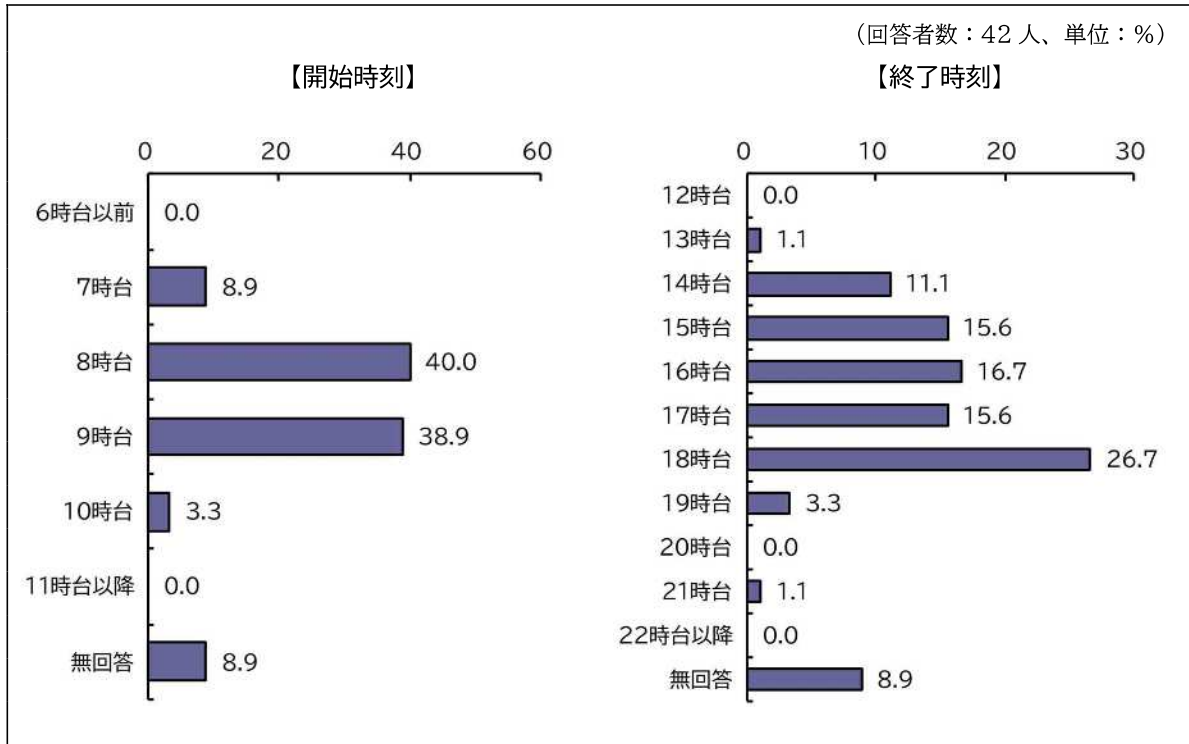


表 長期休業期間中の利用したい時間帯

〔開始時刻〕

区 分	人 (%)
回答者数	42 (100.0)
6 時台以前	0 (0.0)
7 時台	1 (2.4)
8 時台	12 (28.6)
9 時台	22 (52.4)
10 時台	1 (2.4)
11 時台以降	0 (0.0)
無回答	6 (14.3)

〔終了時刻〕

区 分	人 (%)
回答者数	42 (100.0)
12 時台以前	0 (0.0)
13 時台	1 (2.4)
14 時台	8 (19.0)
15 時台	7 (16.7)
16 時台	6 (14.3)
17 時台	5 (11.9)
18 時台	9 (21.4)
19 時台	0 (0.0)
20 時台	0 (0.0)
21 時台	0 (0.0)
22 時台以降	0 (0.0)
無回答	6 (14.3)

第7節 子どもが病気の際の対応について

1-7-1 子どもの病気やけがで事業を利用できなかった経験の有無（問22）

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

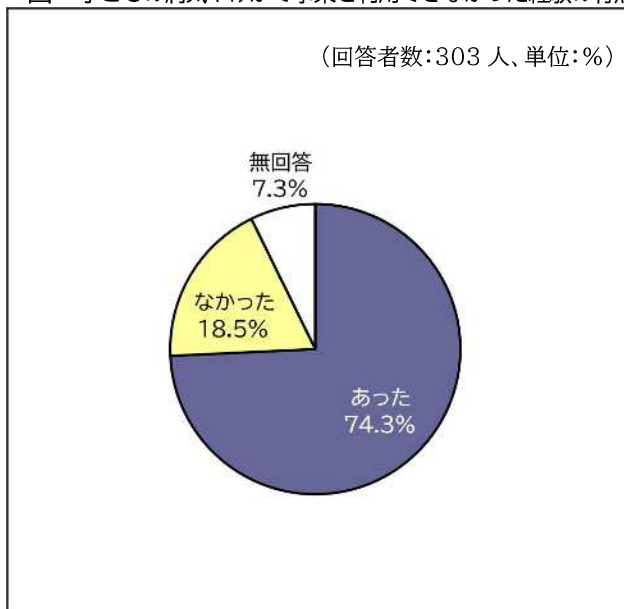
「あった」が74.3%

子どもの病気やけがで事業を利用できなかった経験の有無については、「あった」が74.3%、「なかった」が18.5%となっています。

表 子どもが病気やけがで事業を利用できなかった経験の有無

区 分	人 (%)
回答者数	303 (100.0)
あった	225 (74.3)
なかった	56 (18.5)
無回答	22 (7.3)

図 子どもが病気やけがで事業を利用できなかった経験の有無



1-7-2 事業を利用できなかった際の対応（問 22-1）

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育や子育て支援サービスが利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）

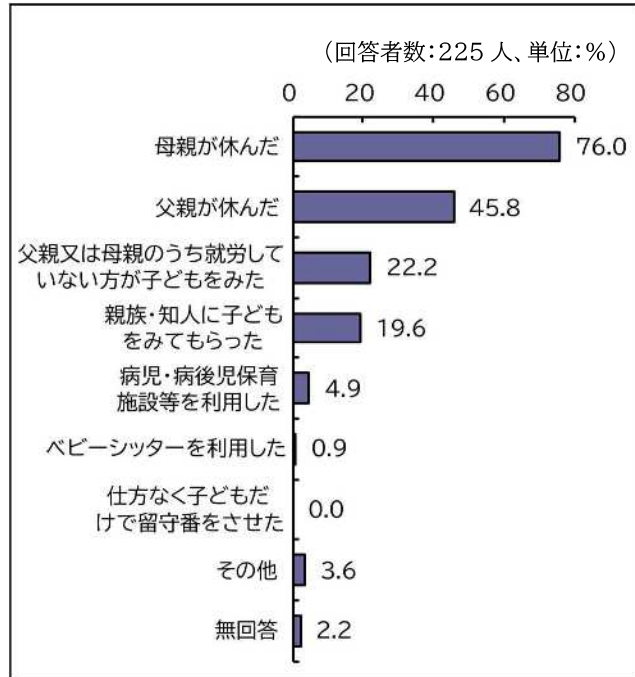
「母親が休んだ」が最も多い

事業を利用できなかった際の対応については、「母親が休んだ」が76.0%で最も多く、次いで「父親が休んだ」が45.8%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が22.2%が続いています。

表 事業を利用できなかった際の対応（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者総数	225 (100.0)
母親が休んだ	171 (76.0)
父親が休んだ	103 (45.8)
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	50 (22.2)
親族・知人に子どもをみてもらった	44 (19.6)
病児・病後児保育施設等を利用した	11 (4.9)
ベビーシッターを利用した	2 (0.9)
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0 (0.0)
その他	8 (3.6)
無回答	5 (2.2)

図 事業を利用できなかった際の対応（複数回答）



対応方法ごとの年間平均日数は、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が14.0日で最も多く、次いで「母親が休んだ」が11.2日で続いています。

表 対応方法ごとの年間平均日数

単位：人

区 分	回答者数(人)	有効回答数(人)	平均値(日/年)
母親が休んだ	171	164	11.2
父親が休んだ	103	97	5.4
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	50	42	14.0
親族・知人に子どもをみてもらった	44	43	5.7
病児・病後児保育施設等を利用した	11	10	3.8
ベビーシッターを利用した	2	1	2.0
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0	0	0.0
その他	8	8	14.4

1-7-3 病児・病後児保育の利用希望（問 22-2）

問 22-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業の利用には、一定の利用料が必要となります。〔利用料：1日あたり2,000円程度〕

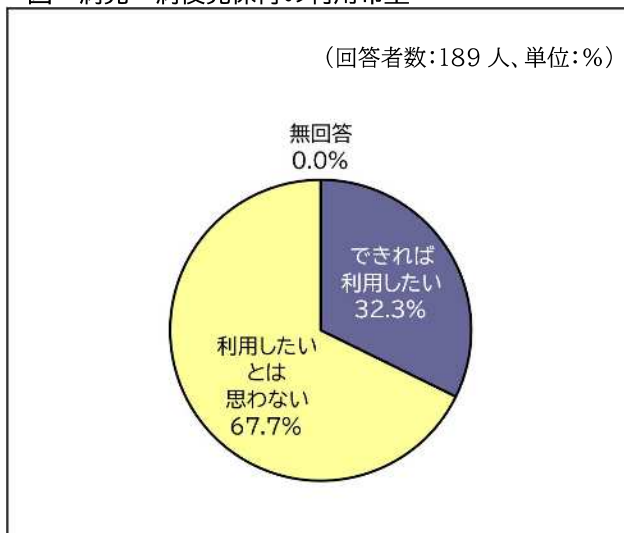
「できれば利用したい」が32.3%

事業を利用できなかった際の対応において「母親が休んだ」または「父親が休んだ」と回答した189人に対し、病児・病後児保育の利用希望について聞いたところ、「できれば利用したい」が32.3%（61人）、「利用したいとは思わない」が67.7%（128人）となっています。

表 病児・病後児保育の利用希望

区 分	人 (%)
回答者数	189 (100.0)
できれば利用したい	61 (32.3)
利用したいとは思わない	128 (67.7)
無回答	0 (0.0)

図 病児・病後児保育の利用希望



1-7-4 病児・病後児保育の望ましい事業形態（問 22-3）

問 22-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

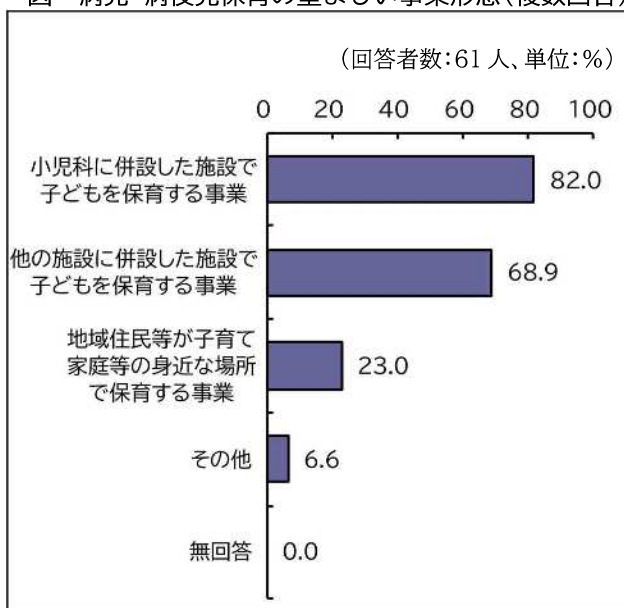
「小児科に併設した施設」が最も多い

病児・病後児保育の利用希望において「できれば利用したい」と回答した61人に対し、病児・病後児保育の望ましい事業形態について聞いたところ、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が82.0%で最も多く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が68.9%で続いています。

表 病児・病後児保育の望ましい事業形態（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	61 (100.0)
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	50 (82.0)
他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業	42 (68.9)
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業	14 (23.0)
その他	4 (6.6)
無回答	0 (0.0)

図 病児・病後児保育の望ましい事業形態（複数回答）



1-7-5 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（問 22-4）

問 22-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。

問 22-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

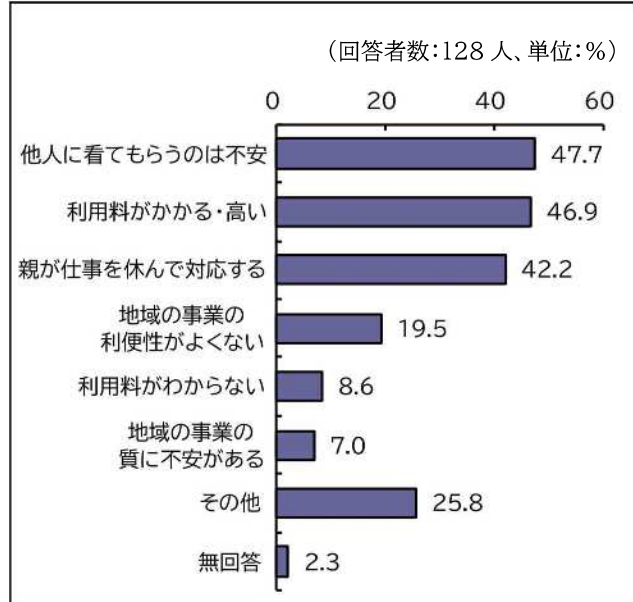
「他人に看てもらうのは不安」や「利用料がかかる・高い」が多くみられる

病児・病後児保育の利用希望において「利用したいと思わない」と回答した 128 人に対し、その理由について聞いたところ、「他人に看てもらうのは不安」が 47.7%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が 46.9%、「親が仕事を休んで対応する」が 42.2%で続いています。

表 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	128 (100.0)
他人に看てもらうのは不安	61 (47.7)
利用料がかかる・高い	60 (46.9)
親が仕事を休んで対応する	54 (42.2)
地域の事業の利便性がよくない	25 (19.5)
利用料がわからない	11 (8.6)
地域の事業の質に不安がある	9 (7.0)
その他	33 (25.8)
無回答	3 (2.3)

図 病児・病後児保育を利用したいと思わない理由（複数回答）



第8節 不定期のサービスの利用について

1-8-1 不定期に利用しているサービス（問23）

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用しているサービスはありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

“利用している”は16.1%

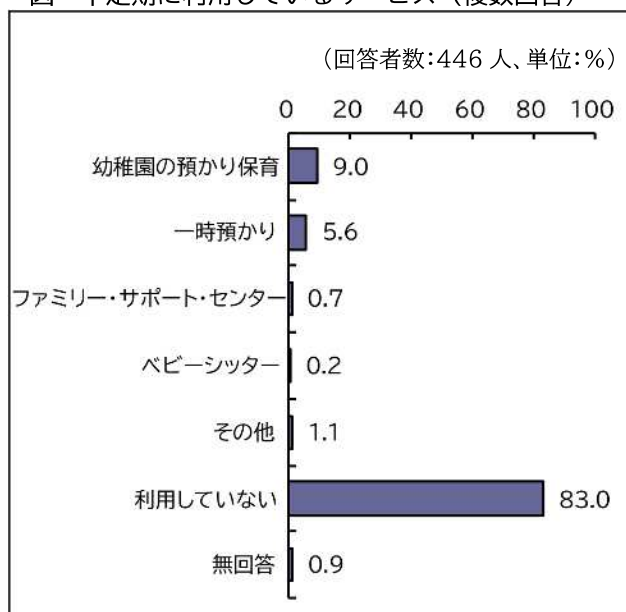
不定期に利用しているサービスについては、回答者総数から「利用していない」（83.0%、370人）及び無回答（0.9%）を除く16.1%が“利用している”と回答しています。

その内訳は「幼稚園の預かり保育」が9.0%で最も多く、次いで「一時預かり」が5.6%（25人）が続いています。

表 不定期に利用しているサービス（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
幼稚園の預かり保育	40 (9.0)
一時預かり	25 (5.6)
ファミリー・サポート・センター	3 (0.7)
ベビーシッター	1 (0.2)
その他	5 (1.1)
利用していない	370 (83.0)
無回答	4 (0.9)

図 不定期に利用しているサービス（複数回答）



不定期に利用しているサービスごとの年間平均日数については、「ファミリー・サポート・センター」が18.7日で最も多く、次いで「一時預かり」が17.1日、「幼稚園の預かり保育」が15.9日で続いています。

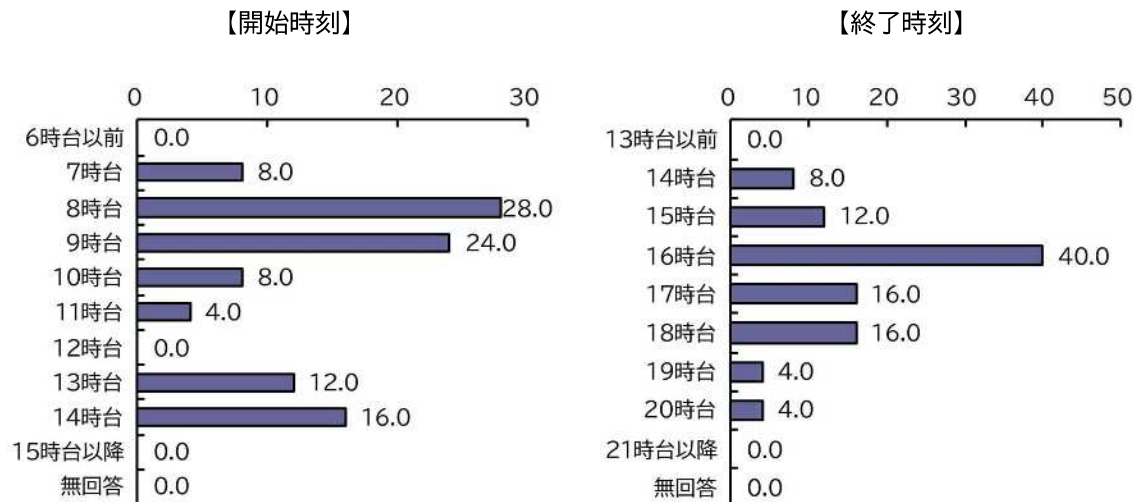
図 不定期に利用しているサービスの年間平均利用日数

区 分	回答者数 (人)	有効回答数 (人)	年間平均日数 (日/年)
幼稚園の預かり保育	40	37	15.9
一時預かり	25	22	17.1
ファミリー・サポート・センター	3	3	18.7
ベビーシッター	1	0	0.0
その他	5	5	2.4

不定期に利用しているサービスにおいて「一時預かり」と回答した 25 人に対し、利用したい時間帯について聞いたところ、開始時刻は「8 時台」が 28.0%で最も多く、次いで「9 時台」が 24.0%で続いています。一方、終了時刻は「16 時台」が 40.0%で最も多く、次いで「17 時台」及び「18 時台」がともに 16.0%で続いています。

図 一時預かりで利用したい時間帯

(回答者数：25 人、単位：%)



1-8-2 一時預かりを利用していない理由（問 23-2）

問 23 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 23-2 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

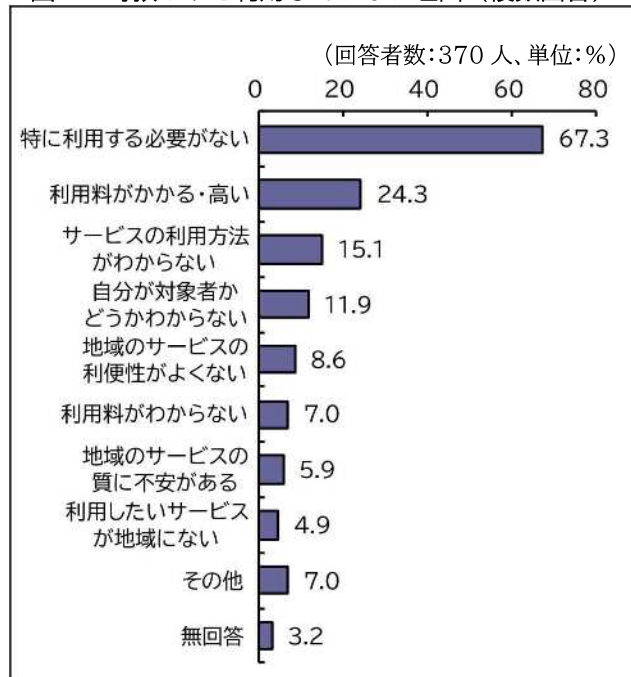
「特に利用する必要がない」が最も多い

不定期に利用しているサービスにおいて「利用していない」と回答した 370 人に対し、その理由について聞いたところ、「特に利用する必要がない」が 67.3%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が 24.3%で続いています。

表 一時預かりを利用していない理由（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	370 (100.0)
特に利用する必要がない	249 (67.3)
利用料がかかる・高い	90 (24.3)
サービスの利用方法がわからない	56 (15.1)
自分がサービスの対象者になるのかわからない	44 (11.9)
地域のサービスの利便性がよくない	32 (8.6)
利用料がわからない	26 (7.0)
地域のサービスの質に不安がある	22 (5.9)
利用したいサービスが地域にない	18 (4.9)
その他	26 (7.0)
無回答	12 (3.2)

図 一時預かりを利用していない理由（複数回答）



1-8-3 私用や不定期の就労等の目的によるサービスの利用希望（問24）

問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらいサービスを利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字）

（1）利用希望の有無と日数

①利用希望の有無

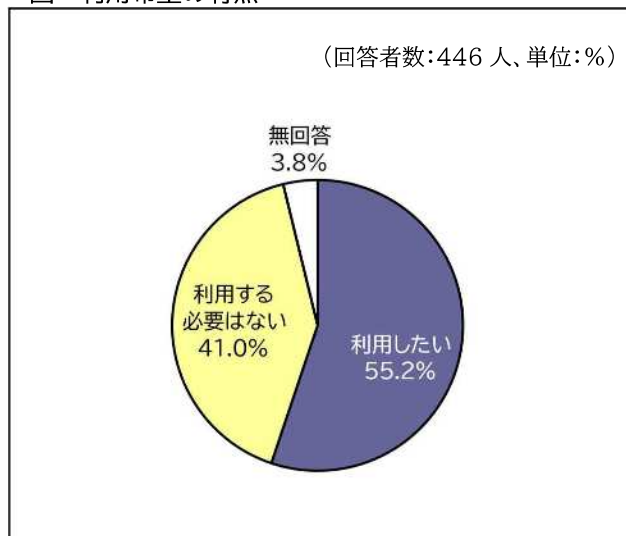
「利用したい」が55.2%

私用、親の通院、不定期の就労等の目的によるサービスの利用希望については、「利用したい」が55.2%（246人）、「利用する必要はない」が41.0%となっています。

表 利用希望の有無

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
利用したい	246 (55.2)
利用する必要はない	183 (41.0)
無回答	17 (3.8)

図 利用希望の有無



②利用したい日数

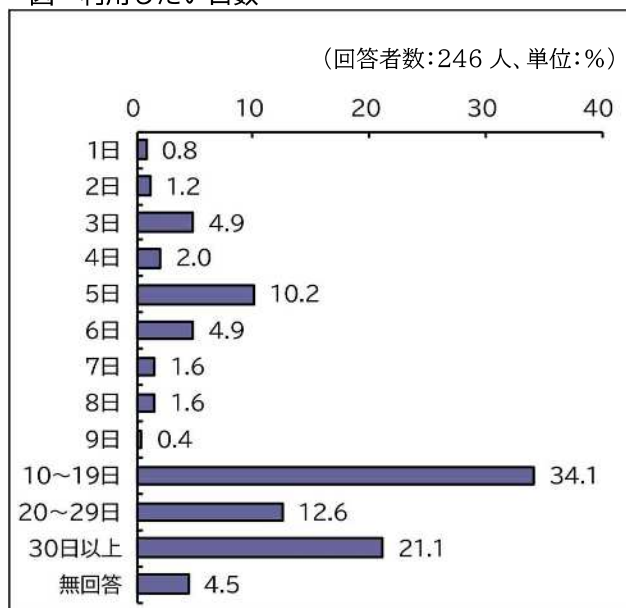
「10～19日」が最も多い

利用したい日数については、「10～19日」が34.1%で最も多く、次いで「30日以上」が21.1%が続いています。

表 利用したい日数

区 分	人 (%)
回答者数	246 (100.0)
1日	2 (0.8)
2日	3 (1.2)
3日	12 (4.9)
4日	5 (2.0)
5日	25 (10.2)
6日	12 (4.9)
7日	4 (1.6)
8日	4 (1.6)
9日	1 (0.4)
10～19日	84 (34.1)
20～29日	31 (12.6)
30日以上	52 (21.1)
無回答	11 (4.5)

図 利用したい日数



(2) 利用したい目的

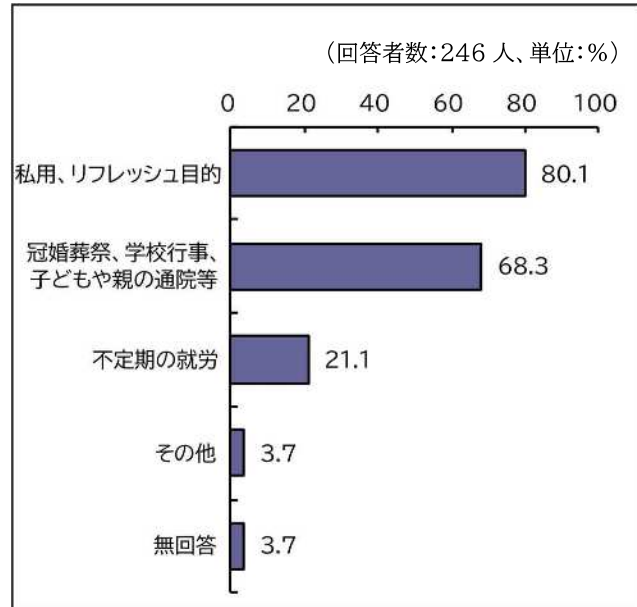
「私用、リフレッシュ目的」が最も多い

利用したい目的については、「私用、リフレッシュ目的」が80.1%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が68.3%、「不特定の就労」が21.1%で続いています。

表 利用したい目的（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	246 (100.0)
私用、リフレッシュ目的	197 (80.1)
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	168 (68.3)
不特定の就労	52 (21.1)
その他	9 (3.7)
無回答	9 (3.7)

図 利用したい目的（複数回答）



利用したい目的ごとの年間平均日数は、「不特定の就労」が21.4%で最も多くなっています。

表 利用したい目的ごとの年間平均希望日数

区 分	回答者数 (人)	有効回答数 (人)	平均値 (日/年)
不定期サービスの合計日数	246	246	19.9
私用、リフレッシュ目的	197	191	12.2
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	168	164	7.4
不特定の就労	52	49	21.4
その他	9	5	7.6

1-8-4 短期入所生活援助事業の利用希望（問 25）

問 25 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。

短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について、当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください（利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）。
なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

（1）利用希望の有無と日数

①利用希望の有無

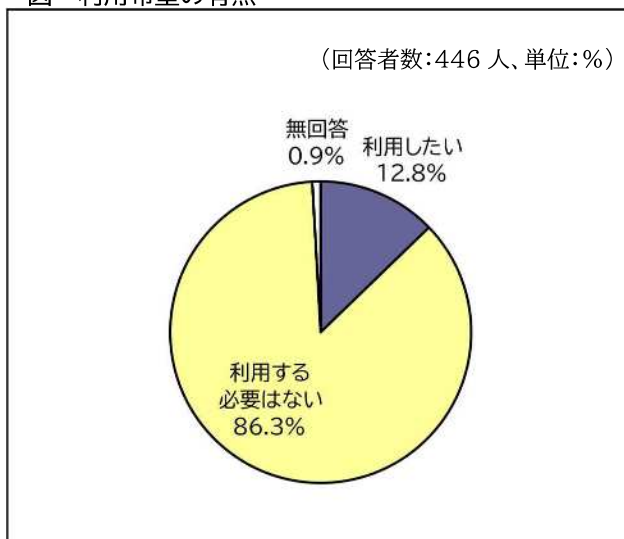
「利用したい」は 12.8%

短期入所生活援助事業の利用希望については、「利用したい」が 12.8%（57 人）、
「利用する必要はない」が 86.3%となっています。

表 利用希望の有無

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
利用したい	57 (12.8)
利用する必要はない	385 (86.3)
無回答	4 (0.9)

図 利用希望の有無



②利用したい日数

「3 日」及び「10～19 日」が多くみられる

利用したい日数については、「3 日」及び「10～19 日」が 17.5 日で最も多くなっています。

表 利用したい日数

区 分	人 (%)
回答者数	57 (100.0)
1 日	7 (12.3)
2 日	4 (7.0)
3 日	10 (17.5)
4 日	2 (3.5)
5 日	4 (7.0)
6 日	4 (7.0)
7 日	3 (5.3)
8 日	2 (3.5)
9 日	1 (1.8)
10～19 日	10 (17.5)
20～29 日	2 (3.5)
30 日以上	6 (10.5)
無回答	2 (3.5)

図 利用したい日数



(2) 利用したい目的

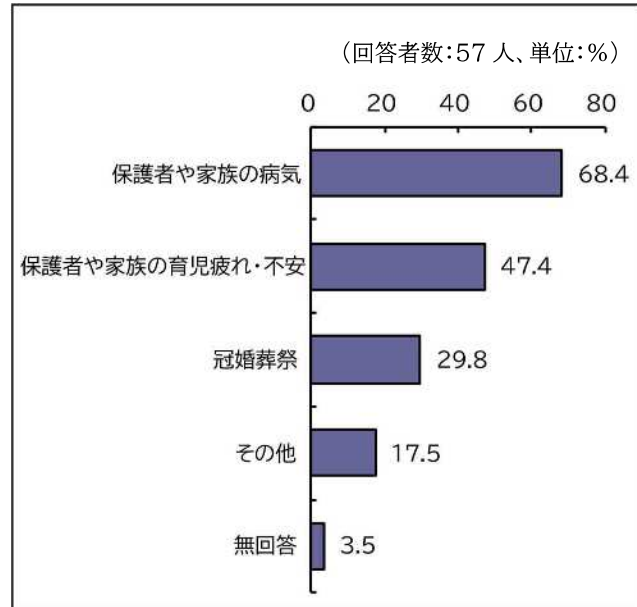
「保護者や家族の病気」が最も多い

短期入所生活援助事業の利用希望において「利用したい」と回答した57人に対し、その目的について聞いたところ、「保護者や家族の病気」が68.4%で最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が47.4%、「冠婚葬祭」が29.8%が続いています。

表 利用したい目的（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	57 (100.0)
保護者や家族の病気	39 (68.4)
保護者や家族の育児疲れ・不安	27 (47.4)
冠婚葬祭	17 (29.8)
その他	10 (17.5)
無回答	2 (3.5)

図 利用したい目的（複数回答）



利用したい目的ごとの年間平均日数は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が9.7日で最も多く、次いで「保護者や家族の病気」が8.4日で続いています。

表 利用したい目的ごとの年間平均日数

区 分	回答者数 (人)	有効回答数 (人)	年間平均日数 (日/年)
保護者や家族の病気	39	39	8.4
保護者や家族の育児疲れ・不安	27	27	9.7
冠婚葬祭	17	17	3.2
その他	10	10	5.2

第9節 就学後の放課後の過ごし方について

1-9-1 希望する放課後の過ごし方（問26）

問26 お子さんが小学校に入ったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれ週当たりの日数や時間について □ 内に数字をご記入ください。）

①1～3年生までの間

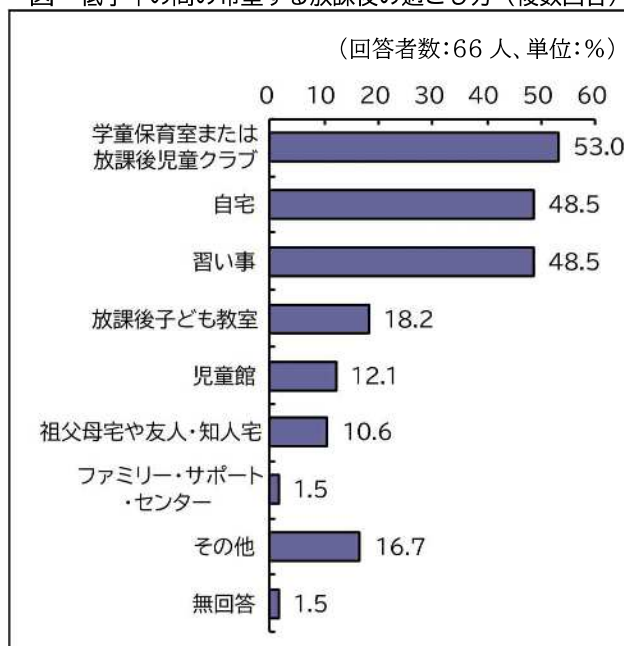
「学童保育室」が最も多い

子どもの年齢（問2）において「5歳」と回答した66人に対し、低学年（1～3年生）の間の希望する放課後の過ごし方について聞いたところ、「学童保育室または放課後児童クラブ」が53.0%で最も多く、次いで「自宅」及び「習い事」がともに48.5%で続いています。

表 低学年の間の希望する放課後の過ごし方（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	66 (100.0)
学童保育室または放課後児童クラブ	35 (53.0)
自宅	32 (48.5)
習い事	32 (48.5)
放課後子ども教室	12 (18.2)
児童館	8 (12.1)
祖父母宅や友人・知人宅	7 (10.6)
ファミリー・サポート・センター	1 (1.5)
その他	11 (16.7)
無回答	1 (1.5)

図 低学年の間の希望する放課後の過ごし方（複数回答）

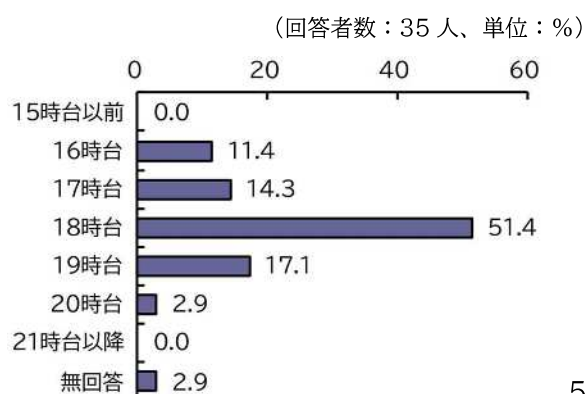


過ごし方ごとの週当たり平均日数については、「学童保育室または放課後児童クラブ」が4.5日で最も多く、次いで「自宅」が4.3日で続いています。

表 過ごし方ごとの週当たり平均日数

区 分	回答者数 (人)	有効回答数 (人)	週当たり平均日数 (日/週)
学童保育室または放課後児童クラブ	35	34	4.5
自宅	32	31	4.3
習い事	32	31	1.7
放課後子ども教室	12	12	3.1
児童館	8	8	1.1
祖父母宅や友人・知人宅	7	7	2.3
ファミリー・サポート・センター	1	1	4.0
その他	11	10	1.4

図 学童保育室または放課後児童クラブの希望する利用終了時刻



学童保育室または放課後児童クラブの希望する終了時刻については、「18時台」が51.4%で最も多くなっています。

②4～6年生までの間

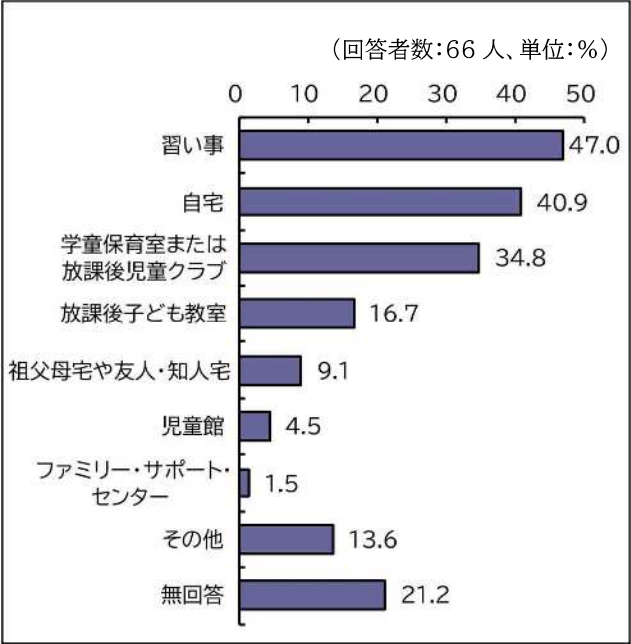
「習い事」が最も多い

高学年（4～6年生）の間の希望する放課後の過ごし方については、「習い事」が47.0%で最も多く、次いで「自宅」が40.9%、「学童保育室または放課後児童クラブ」が34.8%が続いています。

表 高学年の間の希望する放課後の過ごし方（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	66 (100.0)
習い事	31 (47.0)
自宅	27 (40.9)
学童保育室または放課後児童クラブ	23 (34.8)
放課後子ども教室	11 (16.7)
祖父母宅や友人・知人宅	6 (9.1)
児童館	3 (4.5)
ファミリー・サポート・センター	1 (1.5)
その他	9 (13.6)
無回答	14 (21.2)

図 高学年の間の希望する放課後の過ごし方（複数回答）



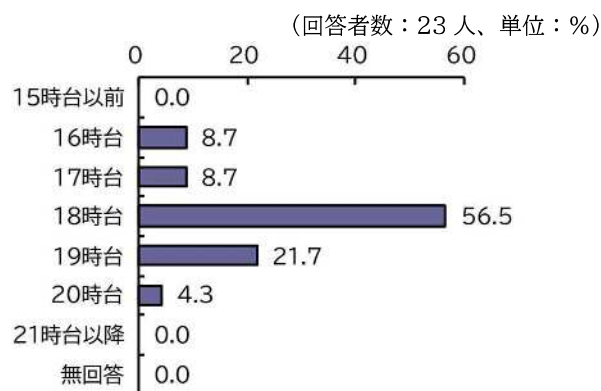
過ごし方ごとの週当たり平均日数については、「学童保育室等」が4.5日で最も多く、次いで「自宅」が4.0日で続いています。

表 過ごし方ごとの週当たり平均日数

区 分	回答者数 (人)	有効回答数 (人)	週当たり平均日数 (日/週)
習い事	31	30	1.9
自宅	27	27	4.0
学童保育室等	23	23	4.5
放課後子ども教室	11	10	2.9
祖父母や友人宅	6	6	2.5
児童館	3	3	1.7
ファミリー・サポート・センター	1	1	4.0
その他	9	9	1.7

学童保育室または放課後児童クラブの希望する終了時刻については、「18時台」が56.5%で最も多くなっています。

図 学童保育室または放課後児童クラブの希望する利用終了時刻



1-9-2 土・日等の学童保育室の利用希望（問 27）

問 27 土曜日、日曜・祝日、長期の休み（春・夏・冬休み）について、それぞれの期間における学童保育室の利用希望と利用したい時間帯をお答えください。（午前7時から午後7時まで運営）

（1）土曜日の学童保育室の利用希望

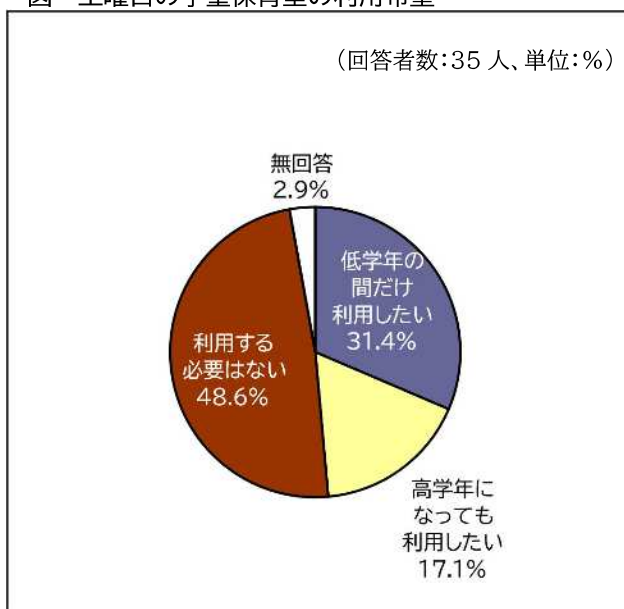
“利用したい” が48.5%

希望する放課後の過ごし方（問 26）において「学童保育室または放課後児童クラブ」と回答した 35 人に対し、土曜日の学童保育室の利用希望について聞いたところ、「低学年の間だけ利用したい」が 31.4%、「高学年になっても利用したい」が 17.1%であり、これらを合わせると 48.5%（17 人）が“利用したい”と回答しています。

表 土曜日の学童保育室の利用希望

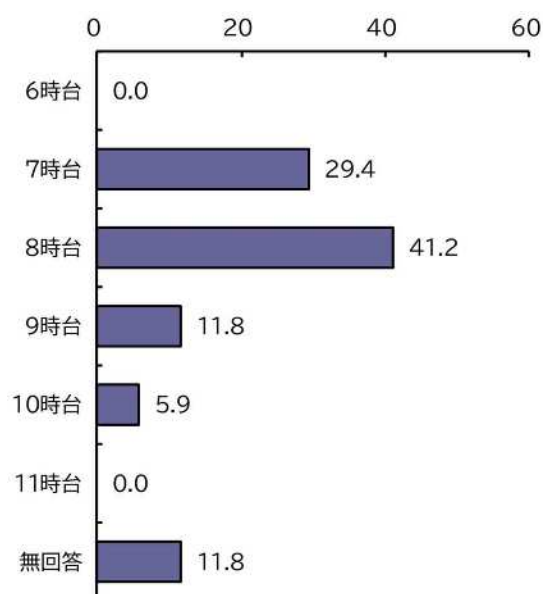
区 分	人 (%)
回答者数	35 (100.0)
低学年の間だけ利用したい	11 (31.4)
高学年になっても利用したい	6 (17.1)
利用する必要はない	17 (48.6)
無回答	1 (2.9)

図 土曜日の学童保育室の利用希望

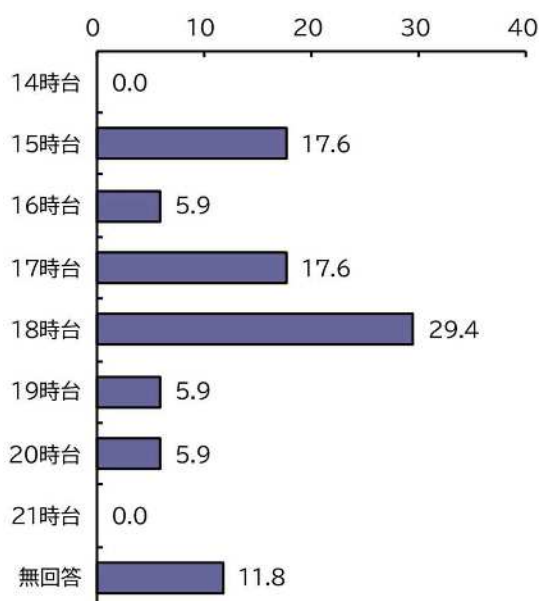


利用したい開始時刻については「8 時台」が 41.2%で最も多く、次いで「7 時台」が 29.4%で続いています。終了時刻については「18 時台」が 29.4%で最も多く、次いで「15 時台」及び「17 時台」がともに 17.6%で続いています。

図 土曜日の学童保育室の利用したい時間帯
【開始時刻】



（回答者数：17 人、単位：%）
【終了時刻】



(2) 日曜日・祝日の学童保育室の利用希望

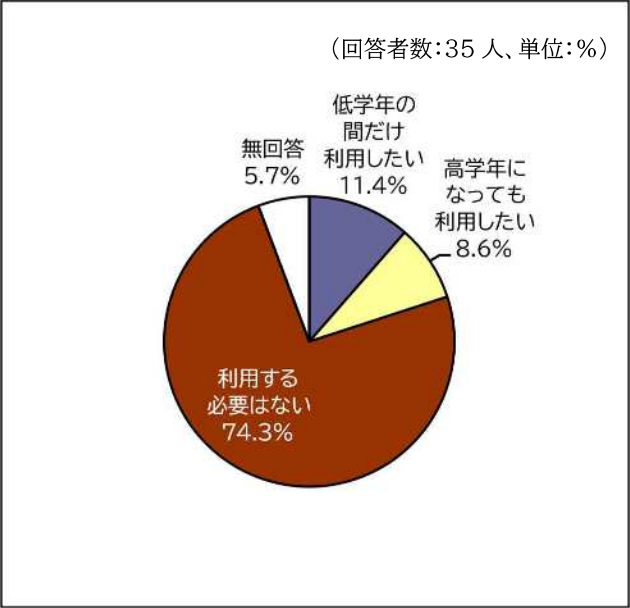
“利用したい”が20.0%

日曜日・祝日の学童保育室の利用希望については、「低学年の間だけ利用したい」が11.4%、「高学年になっても利用したい」が8.6%であり、これらを合わせると20.0%（7人）が“利用したい”と回答しています。

表 日曜日・祝日の学童保育室の利用希望

区 分	人 (%)
回答者数	35 (100.0)
低学年の間だけ利用したい	4 (11.4)
高学年になっても利用したい	3 (8.6)
利用する必要はない	26 (74.3)
無回答	2 (5.7)

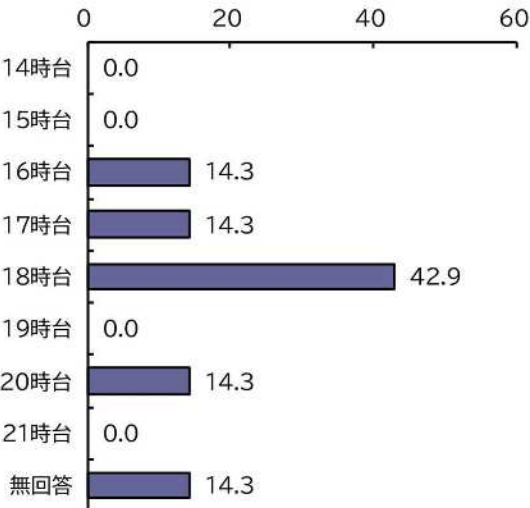
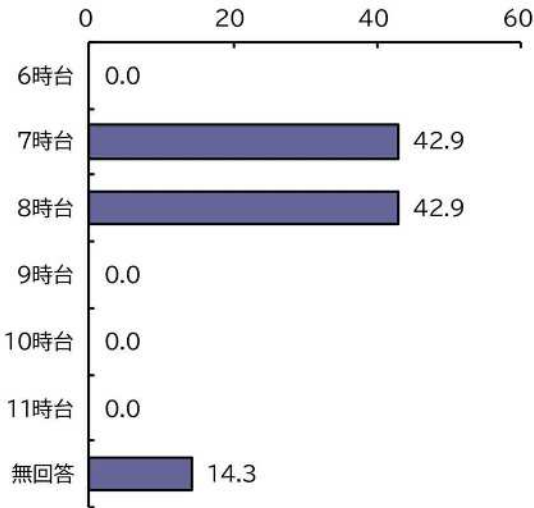
図 日曜日・祝日の学童保育室の利用希望



利用したい開始時刻については「7 時台」及び「8 時台」が42.9%で最も多くなっています。終了時刻については「18 時台」が42.9%で最も多くなっています。

図 日曜日・祝日の学童保育室の利用したい時間帯
【開始時刻】

(回答者数：7人、単位：%)
【終了時刻】



(3) 長期休業期間中の学童保育室の利用希望

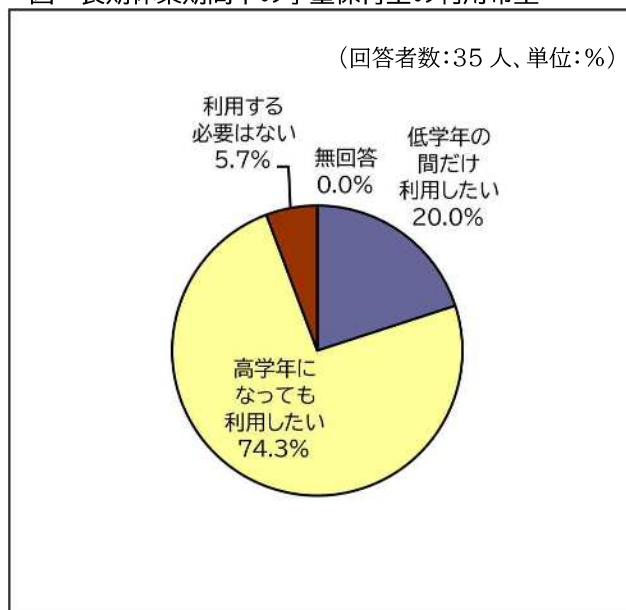
“利用したい”が94.3%

長期休業期間中の学童保育室の利用希望については、「低学年の間だけ利用したい」が20.0%、「高学年になっても利用したい」が74.3%であり、これらを合わせると94.3%（33人）が“利用したい”と回答しています。

表 長期休業期間中の学童保育室の利用希望

区 分	人 (%)
回答者数	35 (100.0)
低学年の間だけ利用したい	7 (20.0)
高学年になっても利用したい	26 (74.3)
利用する必要はない	2 (5.7)
無回答	0 (0.0)

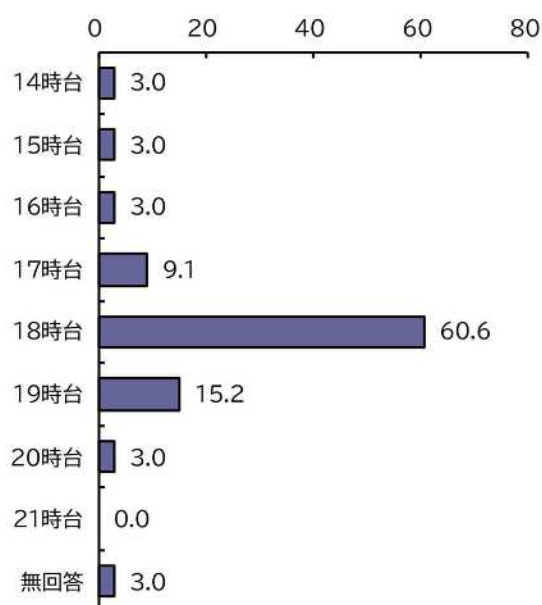
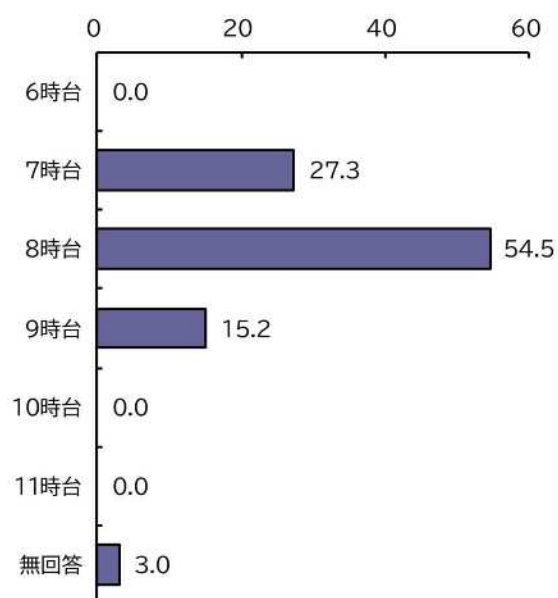
図 長期休業期間中の学童保育室の利用希望



利用したい開始時刻については「8 時台」が54.5%で最も多く、次いで「7 時台」が27.3%が続いています。終了時刻については「18 時台」が60.6%で最も多く、次いで「19 時台」が15.2%が続いています。

図 長期休業期間中の学童保育室の利用したい時間帯
【開始時刻】

(回答者数:33人、単位:%)
【終了時刻】



第10節 職場の両立支援制度について

1-10-1 育児休業の取得状況（問28）

問28 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親の取得状況

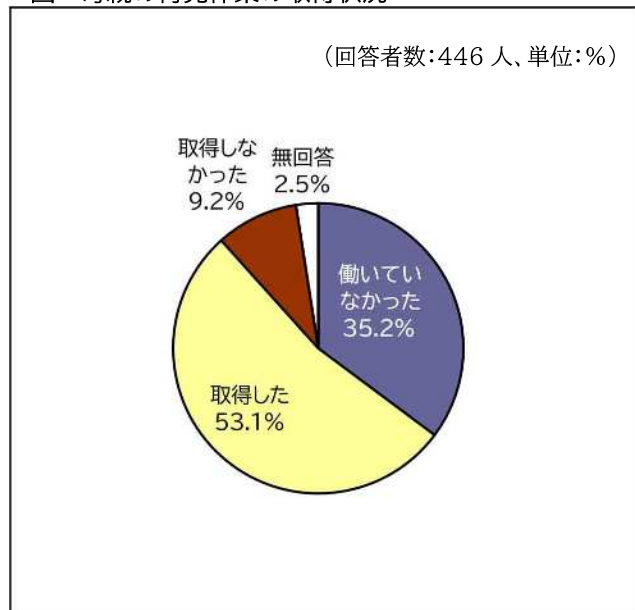
「取得した」が53.1%

母親の育児休業の取得状況については、「働いていなかった」が35.2%、「取得した」が53.1%（237人）、「取得しなかった」が9.2%（41人）となっています。

表 母親の育児休業の取得状況

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
働いていなかった	157 (35.2)
取得した	237 (53.1)
取得しなかった	41 (9.2)
無回答	11 (2.5)

図 母親の育児休業の取得状況



②父親の取得状況

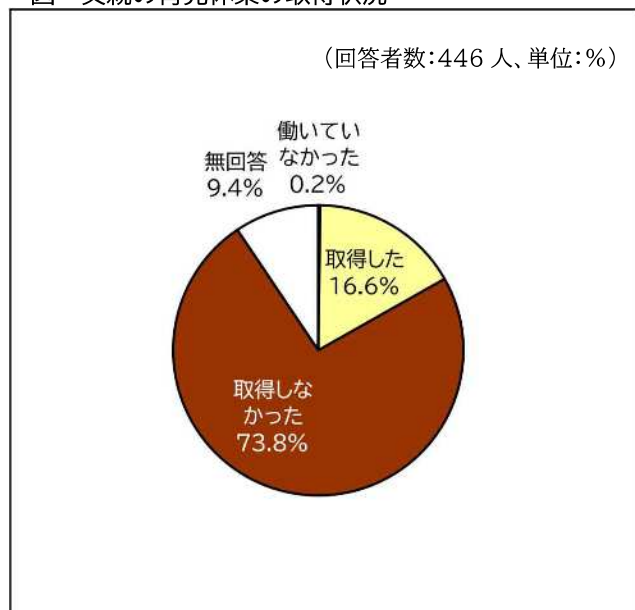
「取得した」は16.6%

父親の育児休業の取得状況については、「働いていなかった」が0.2%、「取得した」が16.6%（74人）、「取得しなかった」が73.8%（329人）となっています。

表 父親の育児休業の取得状況

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
働いていなかった	1 (0.2)
取得した	74 (16.6)
取得しなかった	329 (73.8)
無回答	42 (9.4)

図 父親の育児休業の取得状況



1-10-2 育児休業を取得しなかった理由（問 28-1）

問 28-1 その理由は何ですか。取得しなかった（取得していない）方について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親の取得しなかった理由

「子育てや家事に専念するため退職した」が最も多い

母親の育児休業の取得状況において「取得しなかった」と回答した 41 人に対し、その理由について聞いたところ、「子育てや家事に専念するため退職した」が 34.1%で最も多く、次いで「仕事に戻るのが難しそうだった」が 19.5%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」及び「職場に育児休業の制度がなかった」がともに 17.1%で続いています。

図 母親の育児休業を取得しなかった理由（複数回答）

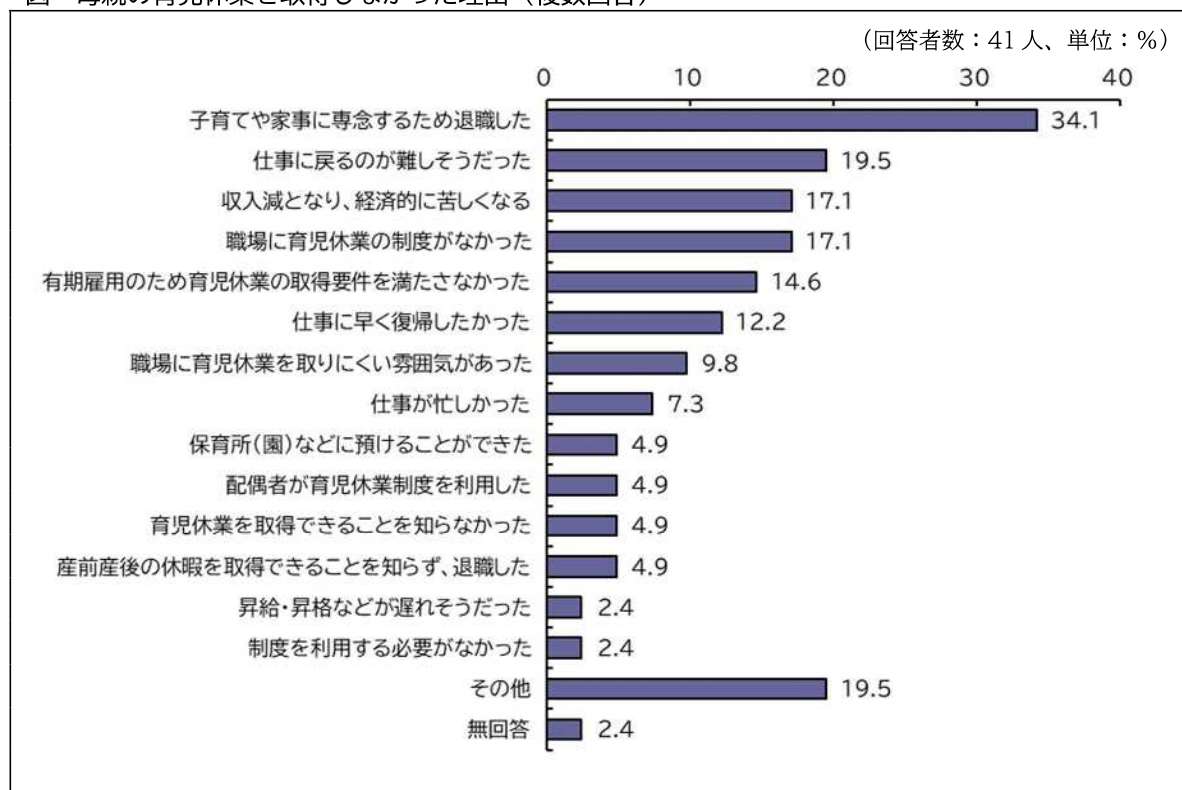


表 母親の育児休業を取得しなかった理由（複数回答）

区 分	人 (%)	区 分	人 (%)
回答者数	41 (100.0)	保育所(園)などに預けることができた	2 (4.9)
子育てや家事に専念するため退職した	14 (34.1)	配偶者が育児休業制度を利用した	2 (4.9)
仕事に戻るのが難しそうだった	8 (19.5)	育児休業を取得できることを知らなかった	2 (4.9)
収入減となり、経済的に苦しくなる	7 (17.1)	産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した	2 (4.9)
職場に育児休業の制度がなかった	7 (17.1)	昇給・昇格などが遅れそうだった	1 (2.4)
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	6 (14.6)	制度を利用する必要がなかった	1 (2.4)
仕事に早く復帰したかった	5 (12.2)	その他	8 (19.5)
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	4 (9.8)	無回答	1 (2.4)
仕事が忙しかった	3 (7.3)		

②父親の取得しなかった理由

「育児休業を取りにくい雰囲気があった」や「仕事が忙しかった」が多くみられる

父親の育児休業の取得状況において「取得しなかった」と回答した329人に対し、その理由について聞いたところ、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が48.9%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が47.4%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が38.6%で続いています。

図 父親の育児休業を取得しなかった理由（複数回答）

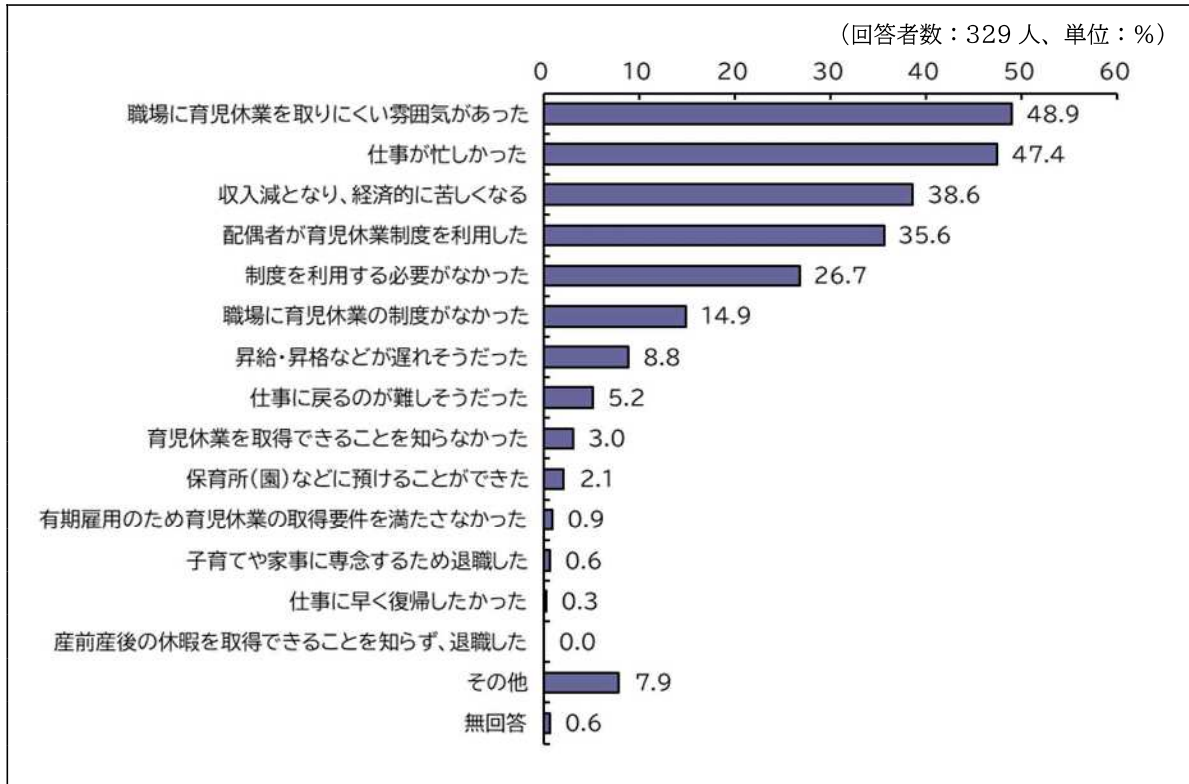


表 父親の育児休業を取得しなかった理由（複数回答）

区 分	人 (%)	区 分	人 (%)
回答者数	329 (100.0)	保育所(園)などに預けることができた	7 (2.1)
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	161 (48.9)	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	3 (0.9)
仕事が忙しかった	156 (47.4)	子育てや家事に専念するため退職した	2 (0.6)
収入減となり、経済的に苦しくなる	127 (38.6)	仕事に早く復帰したかった	1 (0.3)
配偶者が育児休業制度を利用した	117 (35.6)	産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した	0 (0.0)
制度を利用する必要がなかった	88 (26.7)	その他	26 (7.9)
職場に育児休業の制度がなかった	49 (14.9)	無回答	2 (0.6)
昇給・昇格などが遅れそうだった	29 (8.8)		
仕事に戻るのが難しそうだった	17 (5.2)		
育児休業を取得できることを知らなかった	10 (3.0)		

1-10-3 育児休業給付等の認知度（問 28-2）

問 28-2 あなたは、次の仕組みについて知っていましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

①育児休業給付の認知度

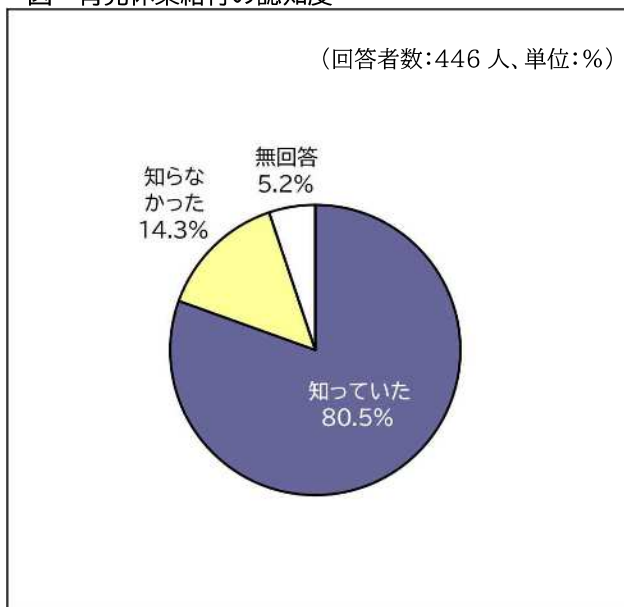
「知っていた」が80.5%

育児休業給付等の認知度については、「知っていた」が80.5%、「知らなかった」が14.3%となっています。

表 育児休業給付の認知度

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
知っていた	359 (80.5)
知らなかった	64 (14.3)
無回答	23 (5.2)

図 育児休業給付の認知度



②保険料免除の認知度

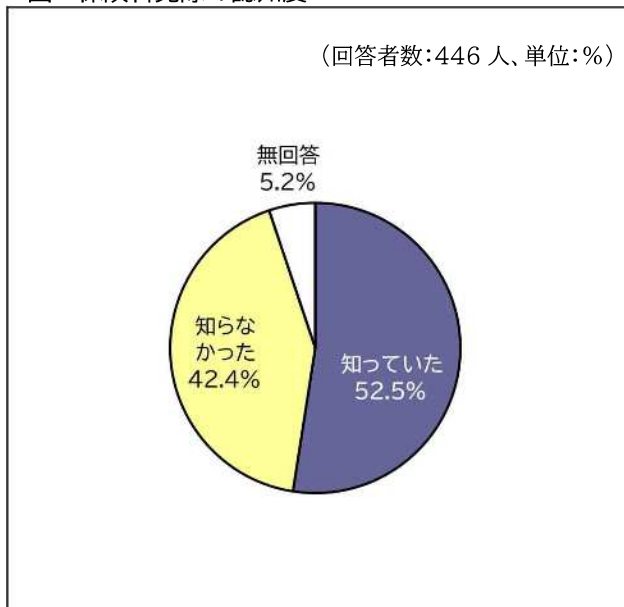
「知っていた」は52.5%

育児休業給付等の認知度については、「知っていた」が52.5%、「知らなかった」が42.4%となっています。

表 保険料免除の認知度

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
知っていた	234 (52.5)
知らなかった	189 (42.4)
無回答	23 (5.2)

図 保険料免除の認知度



1-10-4 育児休業取得後の職場復帰の状況（問 28-3）

問 28 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問 28-3 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。取得した（取得中である）方について、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

①母親の職場復帰の状況

「取得後、復帰した」が 59.1%

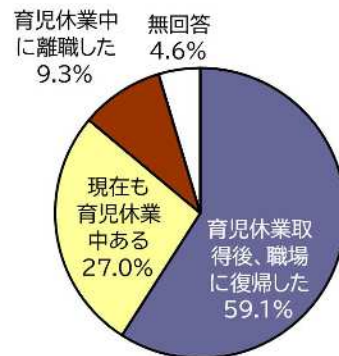
母親の育児休業取得状況において「取得した」と回答した 237 人に対し、取得後の職場復帰の状況について聞いたところ、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 59.1%（140 人）、「現在も育児休業中である」が 27.0%（64 人）、「育児休業中に離職した」が 9.3%となっています。

表 母親の育児休業取得後の職場復帰の状況

区 分	人 (%)
回答者数	237 (100.0)
育児休業取得後、職場に復帰した	140 (59.1)
現在も育児休業中である	64 (27.0)
育児休業中に離職した	22 (9.3)
無回答	11 (4.6)

図 母親の育児休業取得後の職場復帰の状況

（回答者数：237 人、単位：%）



②父親の職場復帰の状況

「取得後、復帰した」が 89.2%

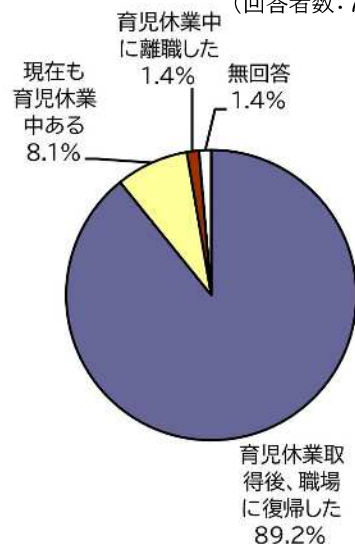
父親の育児休業取得状況において「取得した」と回答した 74 人に対し、取得後の職場復帰の状況について聞いたところ、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 89.2%（66 人）、「現在も育児休業中である」が 8.1%（6 人）、「育児休業中に離職した」が 1.4%となっています。

表 父親の育児休業取得後の職場復帰の状況

区 分	人 (%)
回答者数	74 (100.0)
育児休業取得後、職場に復帰した	66 (89.2)
現在も育児休業中である	6 (8.1)
育児休業中に離職した	1 (1.4)
無回答	1 (1.4)

図 父親の育児休業取得後の職場復帰の状況

（回答者数：74 人、単位：%）



1-10-5 職場復帰のタイミング（問 28-4）

問 28-3 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
問 28-4 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。
あるいはそれ以外でしたか。どちらかに○をつけてください。

①母親の職場復帰のタイミング

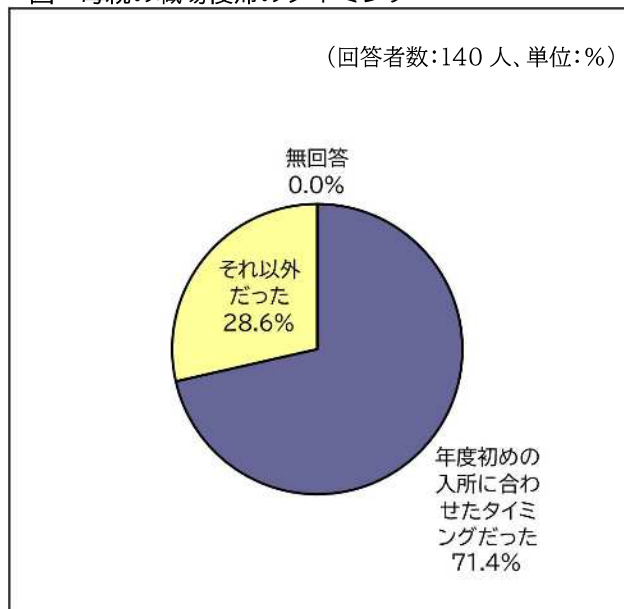
「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が 71.4%

母親の育児休業取得後の職場復帰の状況において「職場に復帰した」と回答した140 人に対し、母親の職場復帰のタイミングについて聞いたところ、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が71.4%、「それ以外だった」が28.6%となっています。

表 母親の職場復帰のタイミング

区 分	人 (%)
回答者数	140 (100.0)
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	100 (71.4)
それ以外だった	40 (28.6)
無回答	0 (0.0)

図 母親の職場復帰のタイミング



②父親の職場復帰のタイミング

※回答者数が1 人と少人数であったため、掲載を省略します。

1-10-6 復帰時の子どもの年齢の実際と希望（問 28-5）

問 28-5 育児休業からは、実際にはお子様が何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、希望としては、お勤め先の育児休業制度の期間内で何歳何か月まで取りたかったですか。数字でご記入ください。

①母親の職場復帰は希望どおりであったか

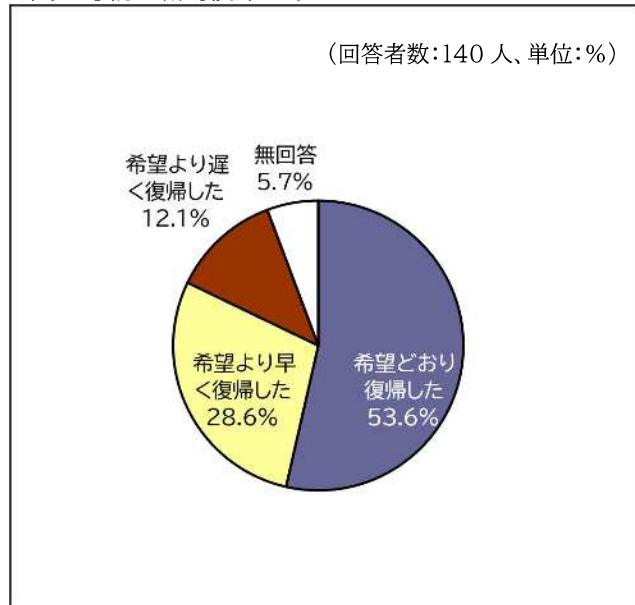
「希望どおり復帰した」が 53.6%

母親の育児休業取得後の職場復帰は希望どおりであったかについては、「希望どおり復帰した」が 53.6%、「希望より早く復帰した」が 28.6%（40 人）、「希望より遅く復帰した」が 12.1%（17 人）となっています。

表 母親の職場復帰は希望どおりであったか

区 分	人 (%)
回答者数	140 (100.0)
希望どおり復帰した	75 (53.6)
希望より早く復帰した	40 (28.6)
希望より遅く復帰した	17 (12.1)
無回答	8 (5.7)

図 母親の職場復帰は希望どおりであったか



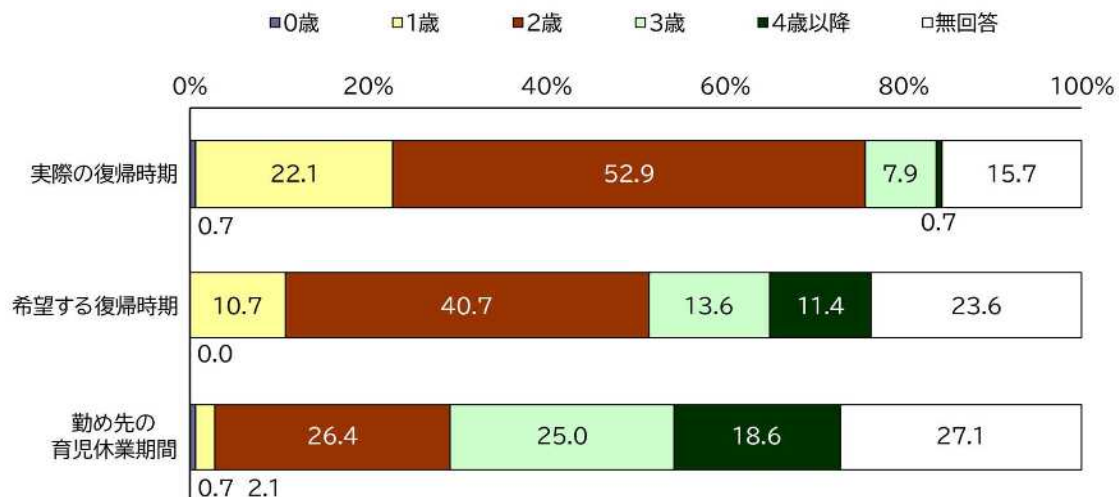
復帰時の子どもの年齢についてみると、実際の復帰時は 0 歳～2 歳までが合わせて 75.7%（0.7%+22.1%+52.9%）、3 歳以降が合わせて 8.6%（7.9%+0.7%）となっています。

これを希望と比べると、実際の復帰時の年齢は希望に比べて 0 歳～2 歳までの割合が高く、3 歳以降の割合が低くなっています。

また、勤め先の育児休業期間は 3 歳以降までが 43.6%（25.0%+18.6%）であり、実際の復帰時の年齢は勤め先の育児休業期間に比べて 0 歳～2 歳の割合が高く、3 歳以降の割合が低くなっています。

図 復帰時の子どもの年齢

(回答者数：人、単位：%)



②父親の職場復帰は希望どおりであったか

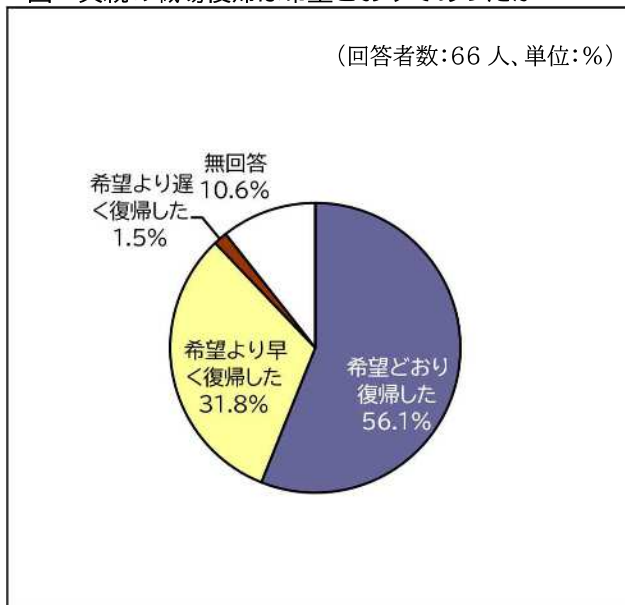
「希望どおり復帰した」が56.1%

父親の育児休業取得後の職場復帰の状況において「職場に復帰した」と回答した66人に対し、父親の職場復帰は希望どおりであったかについて聞いたところ、「希望どおり復帰した」が56.1%、「希望より早く復帰した」が31.8%（21人）、「希望より遅く復帰した」が1.5%（1人）となっています。

表 父親の職場復帰は希望どおりであったか

区 分	人 (%)
回答者数	66 (100.0)
希望どおり復帰した	37 (56.1)
希望より早く復帰した	21 (31.8)
希望より遅く復帰した	1 (1.5)
無回答	7 (10.6)

図 父親の職場復帰は希望どおりであったか



復帰時の子どもの年齢についてみると、実際の復帰時の年齢は0歳が63.6%、1歳以降が合わせて10.6%（6.1%+4.5%）となっています。

これを希望と比べると、実際の復帰時の年齢は希望に比べて0歳の割合が高く、1歳以降の割合が低くなっています。

また、勤め先の育児休業期間は2歳以降が50.0%（24.2%+9.1%+16.7%）であり、実際の復帰時の年齢は勤め先の育児休業期間に比べて2歳以降の割合が低くなっています。

図 復帰時の子どもの年齢

(回答者数：人、単位：%)



1-10-7 希望より早く復帰した理由（問 28-6）

問 28-6 「希望」より早く復帰した理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親の希望より早く復帰した理由

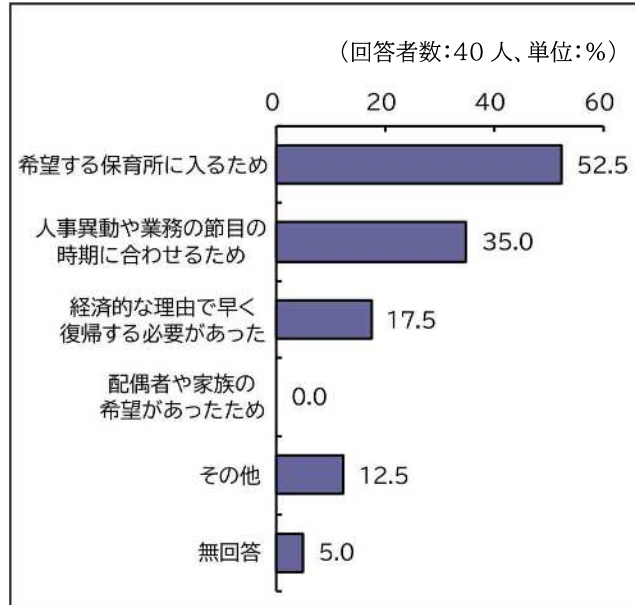
「希望する保育所に入るため」が最も多い

母親の職場復帰の状況において「希望より早く復帰した」と回答した40人に対し、その理由について聞いたところ、「希望する保育所に入るため」が52.5%で最も多く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が35.0%、「経済的な理由で早く復帰する必要があるが」が17.5%で続いています。

表 母親の希望より早く復帰した理由（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	40 (100.0)
希望する保育所に入るため	21 (52.5)
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	14 (35.0)
経済的な理由で早く復帰する必要があるが	7 (17.5)
配偶者や家族の希望があったため	0 (0.0)
その他	5 (12.5)
無回答	2 (5.0)

図 母親の希望より早く復帰した理由（複数回答）



②父親の希望より早く復帰した理由

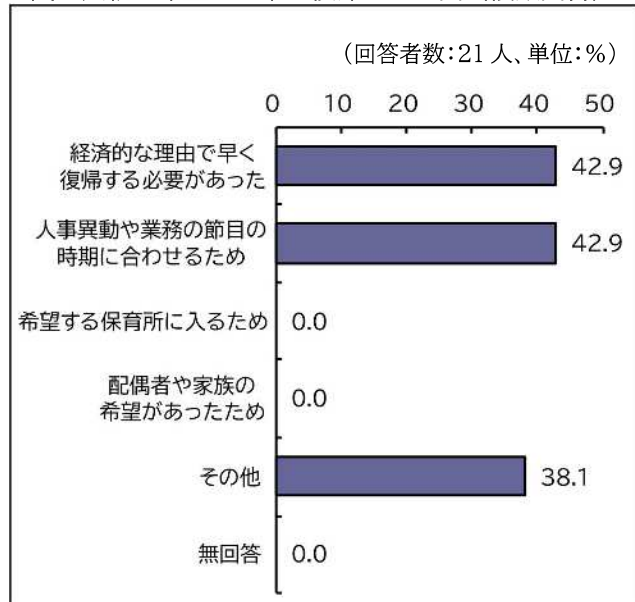
「経済的な理由」及び「異動や業務の節目」が多くみられる

父親の職場復帰の状況において「希望より早く復帰した」と回答した21人に対し、その理由について聞いたところ、「経済的な理由で早く復帰する必要があるが」及び「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」がともに42.9%で最も多くなっています。

表 父親の希望より早く復帰した理由（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	21 (100.0)
経済的な理由で早く復帰する必要があるが	9 (42.9)
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	9 (42.9)
希望する保育所に入るため	0 (0.0)
配偶者や家族の希望があったため	0 (0.0)
その他	8 (38.1)
無回答	0 (0.0)

図 父親の希望より早く復帰した理由（複数回答）



1-10-8 希望より遅く復帰した理由（問28-7）

問28-7 「希望」より遅く復帰した理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親の理由

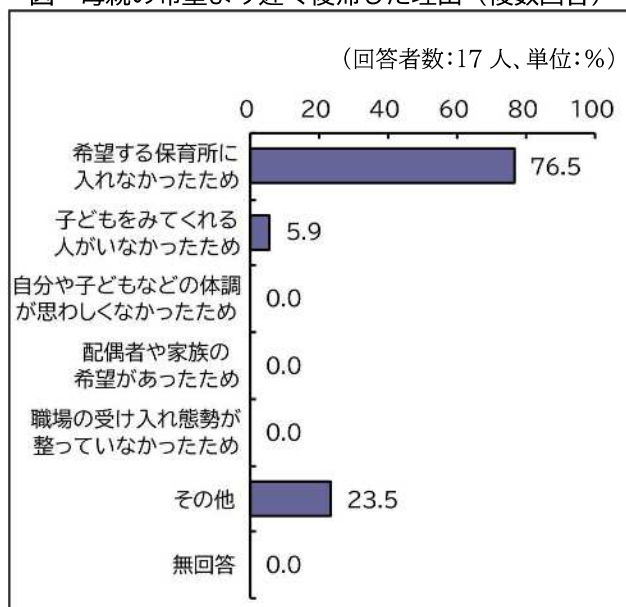
「希望する保育所に入れなかったため」が最も多い

母親の職場復帰の状況において「希望より遅く復帰した」と回答した17人に対し、その理由について聞いたところ、「希望する保育所に入れなかったため」が76.5%で最も多く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」が5.9%で続いています。

表 母親の希望より遅く復帰した理由（複数回答）

区 分	人（％）
回答者数	17（100.0）
希望する保育所に入れなかったため	13（76.5）
子どもをみてくれる人がいなかったため	1（5.9）
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	0（0.0）
配偶者や家族の希望があったため	0（0.0）
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0（0.0）
その他	4（23.5）
無回答	0（0.0）

図 母親の希望より遅く復帰した理由（複数回答）



②父親の理由

※該当者数が1人と少人数であるため、掲載は省略します。

1-10-9 1歳になるまでの育児休業取得の意向（問28-8）

問28-3で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問28-8 宛名のお子様が生誕したときに必ず預けられるサービス等があれば、1歳になるまで育児休業を取得したいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

なお、お子様がすでに1歳を超えている場合、お子様が1歳未満の頃の状況でお答えください。

①母親の取得意向

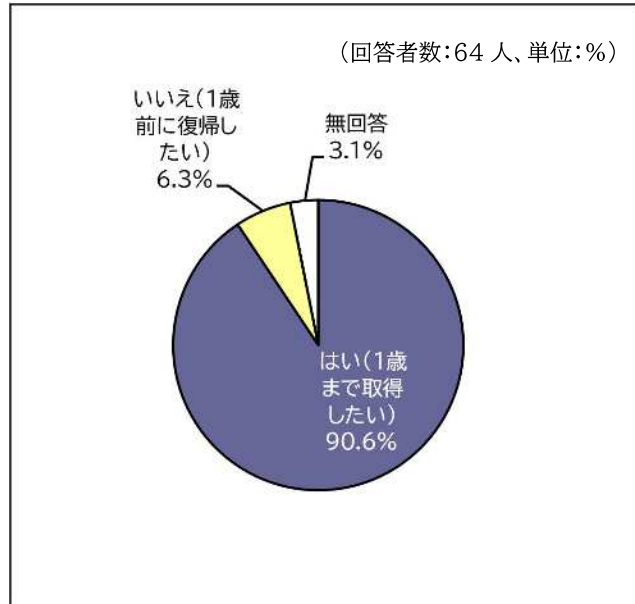
「はい」が90.6%

母親の育児休業取得後の職場復帰の状況（問28-3）において「現在も育児休業中である」と回答した64人に対し、1歳になるまでの育児休業の取得意向について聞いたところ、「はい（1歳まで取得したい）」が90.6%、「いいえ（1歳前に復帰したい）」が6.3%となっています。

表 母親の1歳になるまでの育児休業の取得意向

区 分	人 (%)
回答者数	64 (100.0)
はい(1歳まで取得したい)	58 (90.6)
いいえ(1歳前に復帰したい)	4 (6.3)
無回答	2 (3.1)

図 母親の1歳になるまでの育児休業の取得意向



②父親の取得意向

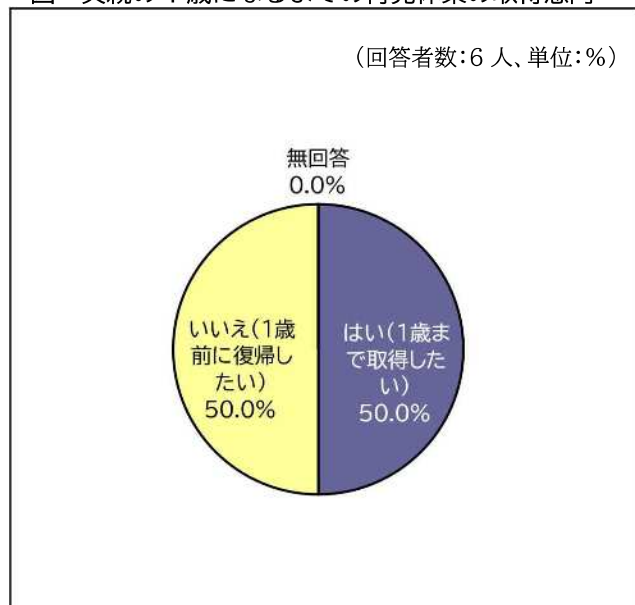
「はい」及び「いいえ」が50.0%

父親の育児休業取得後の職場復帰の状況（問28-3）において「現在も育児休業中である」と回答した6人に対し、1歳になるまでの育児休業の取得意向について聞いたところ、「はい（1歳まで取得したい）」及び「いいえ（1歳前に復帰したい）」がともに50.0%となっています。

表 父親の1歳になるまでの育児休業の取得意向

区 分	人 (%)
回答者数	6 (100.0)
はい(1歳まで取得したい)	3 (50.0)
いいえ(1歳前に復帰したい)	3 (50.0)
無回答	0 (0.0)

図 父親の1歳になるまでの育児休業の取得意向



第11節 子育てしやすいまちづくりについて

1-11-1 子育て環境の満足度（問29）

問29 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

“満足している”が52.9%

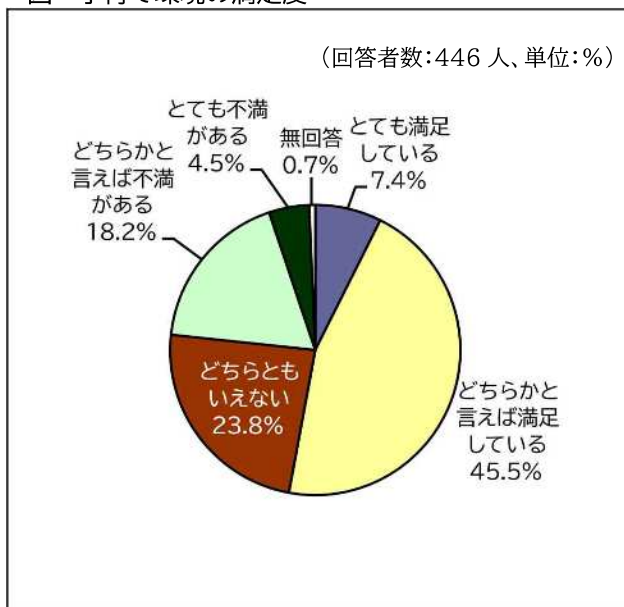
子育て環境の満足度については、「とても満足している」が7.4%、「どちらかと言えば満足している」が45.5%であり、これらを合わせると52.9%が“満足している”と回答しています。

一方、「どちらかと言えば不満がある」が18.2%、「とても不満がある」が4.5%であり、これらを合わせると22.7%が“不満である”と回答しています。

表 子育て環境の満足度

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
とても満足している	33 (7.4)
どちらかと言えば満足している	203 (45.5)
どちらともいえない	106 (23.8)
どちらかと言えば不満がある	81 (18.2)
とても不満がある	20 (4.5)
無回答	3 (0.7)

図 子育て環境の満足度



1-11-2 子育てに関する孤立感の有無（問30）

問30 あなたは子育てに関して孤立感を感じることはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

“ある・ときどきある”は49.1%

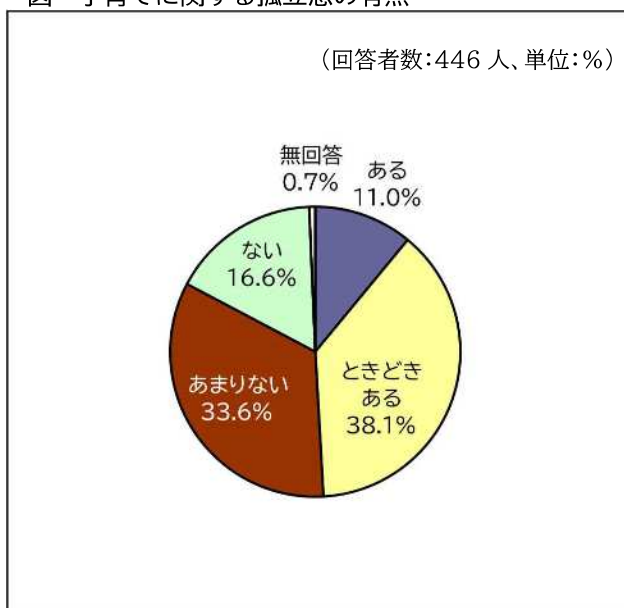
子育てに関する孤立感の有無については、「ある」が11.0%、「ときどきある」が38.1%であり、これらを合わせると49.1%が“ある・ときどきある”と回答しています。

一方、「あまりない」が33.6%、「ない」が16.6%であり、これらを合わせると50.2%が“ない・あまりない”と回答しています。

表 子育てに関する孤立感の有無

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
ある	49 (11.0)
ときどきある	170 (38.1)
あまりない	150 (33.6)
ない	74 (16.6)
無回答	3 (0.7)

図 子育てに関する孤立感の有無



1-11-3 子育ての楽しさの有無（問 31）

問 31 自分にとって子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

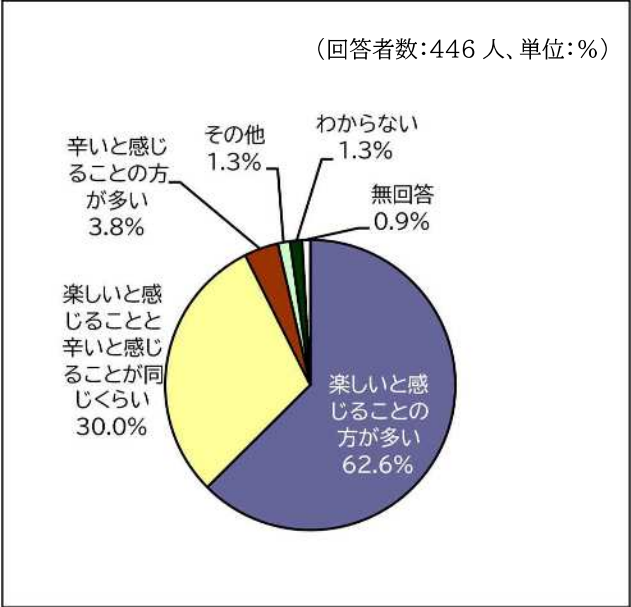
「楽しいと感じることの方が多い」が62.6%

子育ての楽しさの有無については、「楽しいと感じることの方が多い」が62.6%、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が30.0%、「辛いと感じることの方が多い」が3.8%となっています。

表 子育ての楽しさの有無

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
楽しいと感じることの方が多い	279 (62.6)
楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい	134 (30.0)
辛いと感じることの方が多い	17 (3.8)
その他	6 (1.3)
わからない	6 (1.3)
無回答	4 (0.9)

図 子育ての楽しさの有無



1-11-4 子育てに関する情報の入手先（問32）

問32 あなたは、子育てに関する情報を主としてどこから（または、誰から）入手していますか。主なもの3つまで○をつけてください。

「隣近所の人、知人、友人」、「インターネット（市以外のHP）」、「親族」が多くみられる

子育てに関する情報の入手先については、「隣近所の人、知人、友人」が60.8%で最も多く、次いで「インターネット（市以外のHP）」が56.5%、「親族」が54.0%が続いています。

図 子育てに関する情報の入手先（複数回答）

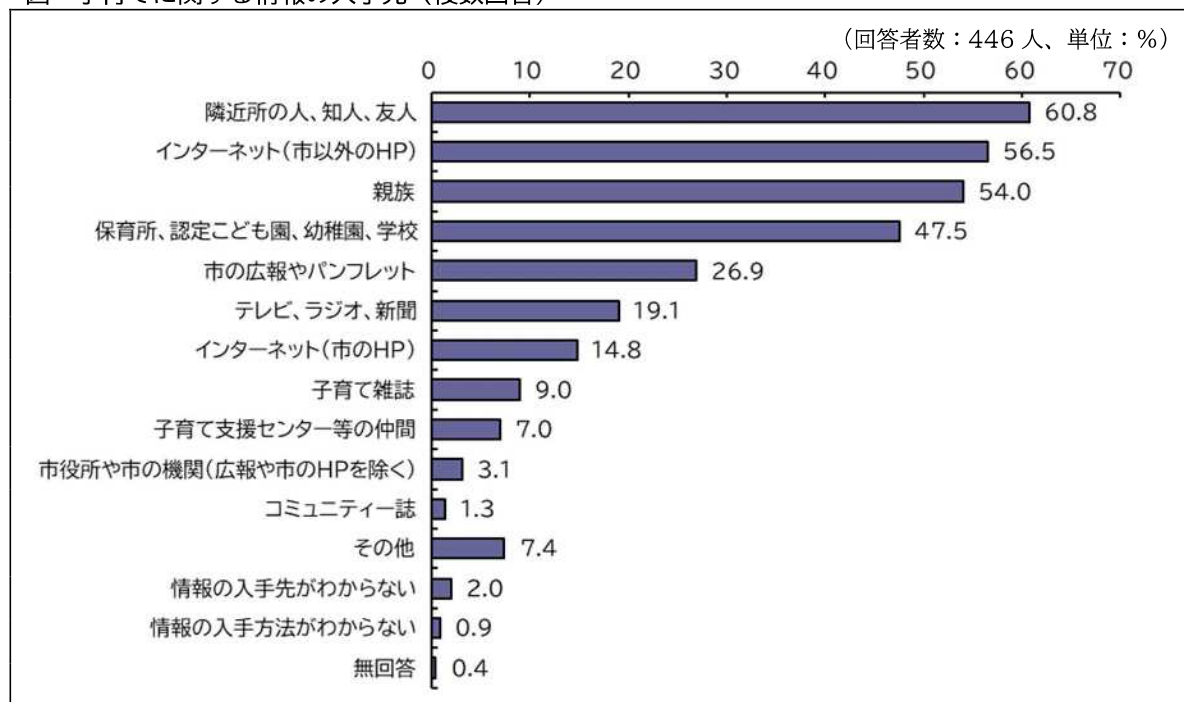


表 子育てに関する情報の入手先（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)
隣近所の人、知人、友人	271 (60.8)
インターネット(市以外のHP)	252 (56.5)
親族	241 (54.0)
保育所、認定こども園、幼稚園、学校	212 (47.5)
市の広報やパンフレット	120 (26.9)
テレビ、ラジオ、新聞	85 (19.1)
インターネット(市のHP)	66 (14.8)
子育て雑誌	40 (9.0)
子育て支援センター等の仲間	31 (7.0)
市役所や市の機関(広報や市のHPを除く)	14 (3.1)
コミュニティー誌	6 (1.3)
その他	33 (7.4)
情報の入手先がわからない	9 (2.0)
情報の入手方法がわからない	4 (0.9)
無回答	2 (0.4)

1-11-5 行事や組織への参加状況及び参加意向（問 33）

問 33 下記の行事や組織に参加していますか。また、参加していないが、今後参加したいとお考えですか。
はい・いいえのどちらか1つに○をつけてください。

（1）行事や組織への現在の参加状況

母親、父親ともに「保護者会・PTA」は現在の参加状況よりも今後の参加意向が高い

行事や組織への参加状況及び参加意向について「はい」の割合をみると、現在の参加状況のうち母親は「自治会活動」が38.8%で最も多く、次いで「保護者会・PTA」が37.7%で続いています。これに対し父親は「自治会活動」が38.1%で最も多く、次いで「保護者会・PTA」が10.8%で続いています。

今後の参加意向については、母親は「保護者会・PTA」が45.3%で最も多く、次いで「自治会活動」が36.3%で続いています。これに対し父親は「自治会活動」が31.6%で最も多く、次いで「保護者会・PTA」が24.7%で続いています。

図 行事や組織への参加状況及び参加意向

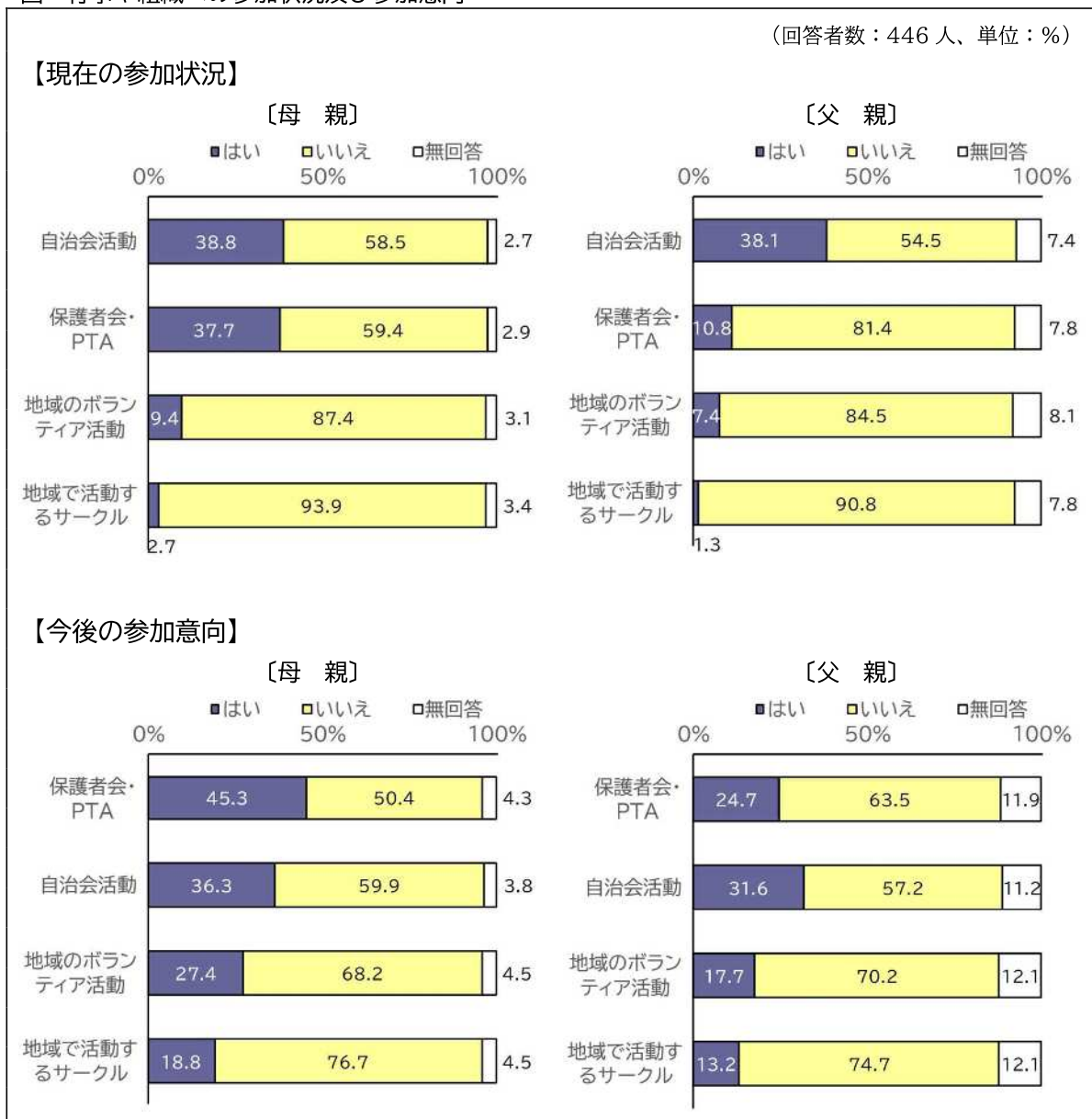


表 行事や組織への参加状況及び参加意向

【現在の参加状況】

回答者数：446人、単位：人（％）

区 分	母 親			父 親		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
自治会活動	173 (38.8)	261 (58.5)	12 (2.7)	170 (38.1)	243 (54.5)	33 (7.4)
保護者会・PTA	168 (37.7)	265 (59.4)	13 (2.9)	48 (10.8)	363 (81.4)	35 (7.8)
地域のボランティア活動	42 (9.4)	390 (87.4)	14 (3.1)	33 (7.4)	377 (84.5)	36 (8.1)
地域で活動するサークル	12 (2.7)	419 (93.9)	15 (3.4)	6 (1.3)	405 (90.8)	35 (7.8)

【今後の参加意向】

回答者数：446人、単位：人（％）

区 分	母 親			父 親		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
保護者会・PTA	202 (45.3)	225 (50.4)	19 (4.3)	141 (31.6)	255 (57.2)	50 (11.2)
自治会活動	162 (36.3)	267 (59.9)	17 (3.8)	110 (24.7)	283 (63.5)	53 (11.9)
地域のボランティア活動	122 (27.4)	304 (68.2)	20 (4.5)	79 (17.7)	313 (70.2)	54 (12.1)
地域で活動するサークル	84 (18.8)	342 (76.7)	20 (4.5)	59 (13.2)	333 (74.7)	54 (12.1)

1-11-6 子どもの食生活で気をつけていること（問34）

問34 お子さんの食生活で、普段、あなたが気をつけていることはどんなことですか。
（ア～ケのそれぞれについて、1から3までのあてはまるもの1つに○印）

「朝食をきちんと食べる」が最も多い

子どもの食生活で気をつけていることについて「いつも」の割合をみると、「朝食をきちんと食べる」が87.2%で最も多く、次いで「食事時間はほぼ決まっている」が76.7%、「親子で楽しみながら食べる」が60.3%で続いています。

図 子どもの食生活で気をつけていること

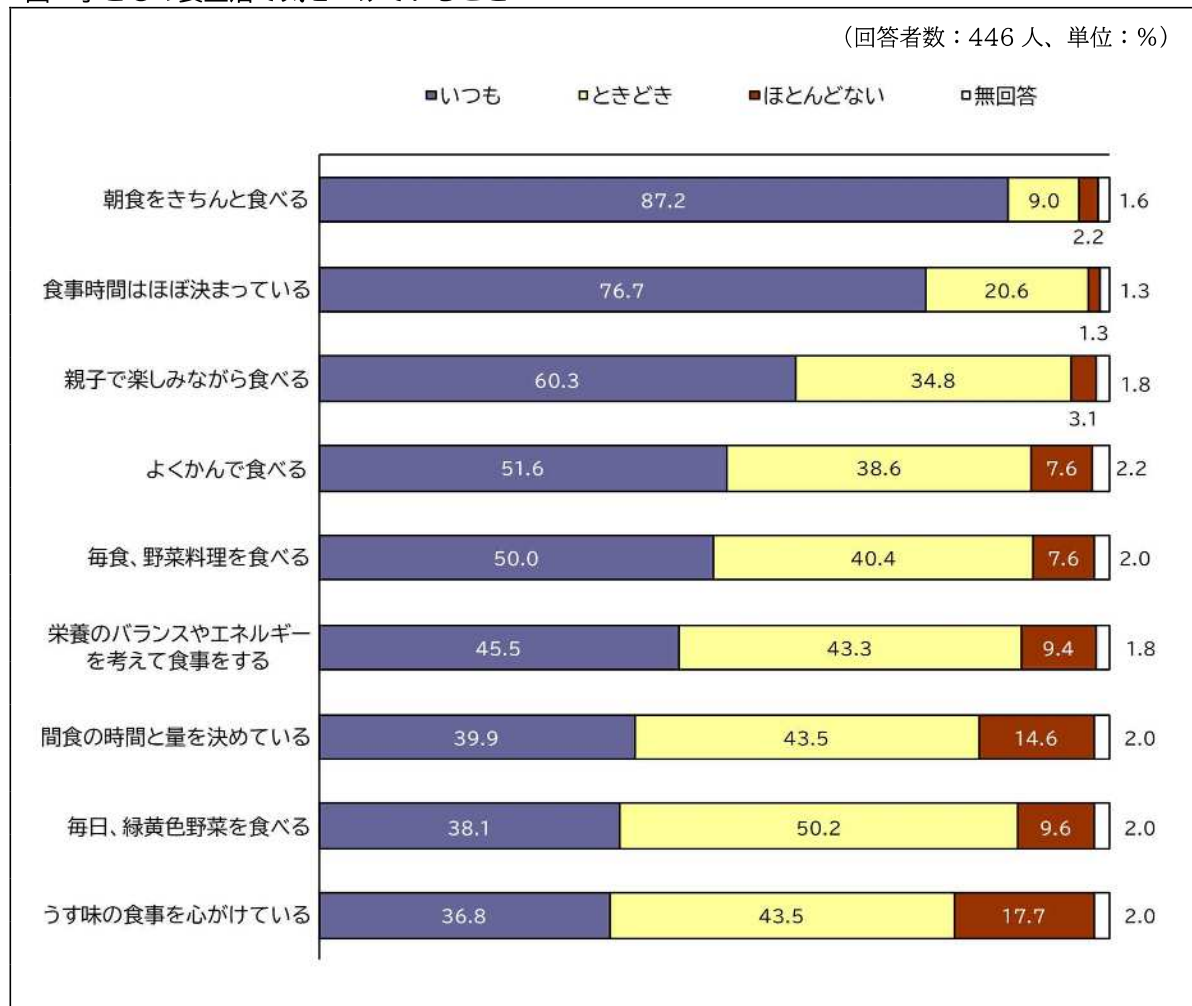


表 子どもの食生活で気をつけていること

回答者数：446人、単位：人 (%)

区 分	いつも	ときどき	ほとんどない	無回答
朝食をきちんと食べる	389 (87.2)	40 (9.0)	10 (2.2)	7 (1.6)
食事時間はほぼ決まっている	342 (76.7)	92 (20.6)	6 (1.3)	6 (1.3)
親子で楽しみながら食べる	269 (60.3)	155 (34.8)	14 (3.1)	8 (1.8)
よくかんで食べる	230 (51.6)	172 (38.6)	34 (7.6)	10 (2.2)
毎食、野菜料理を食べる	223 (50.0)	180 (40.4)	34 (7.6)	9 (2.0)
栄養のバランスやエネルギーを考えて食事をする	203 (45.5)	193 (43.3)	42 (9.4)	8 (1.8)
間食の時間と量を決めている	178 (39.9)	194 (43.5)	65 (14.6)	9 (2.0)
毎日、緑黄色野菜を食べる	170 (38.1)	224 (50.2)	43 (9.6)	9 (2.0)
うす味の食事を心がけている	164 (36.8)	194 (43.5)	79 (17.7)	9 (2.0)

1-11-7 今後の重点施策（問35）

問35 北本市が、今よりもっと子育てしやすいまちとなるためにはどのようなことが重要だと思いますか。
主なものを5つまでに○をつけてください。

「保育所や認定こども園、幼稚園等の費用や教育費の負担軽減」が最も多い

今後の重点施策については、「保育所や認定こども園、幼稚園等の費用や教育費の負担軽減」が65.5%で最も多く、次いで「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」が54.9%、「小児救急医療体制の充実」が54.5%が続いています。

図 今後の重点施策（複数回答）

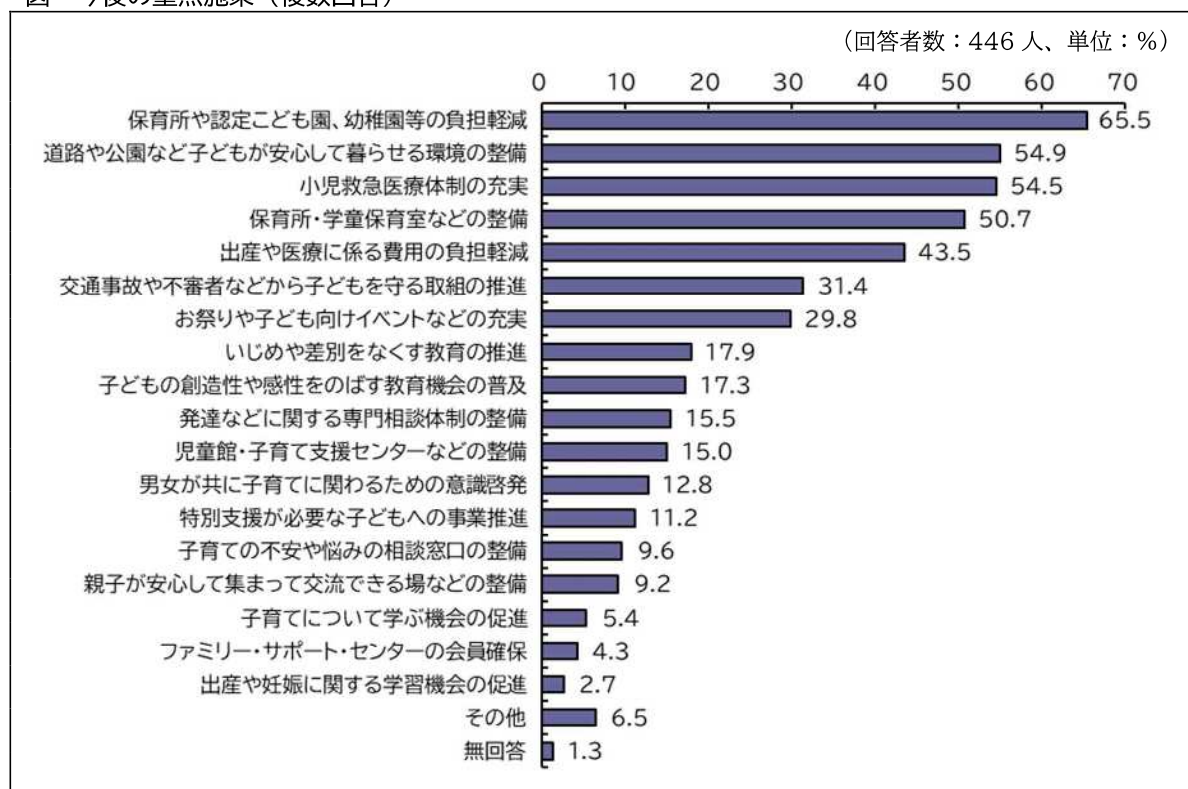


表 今後の重点施策（複数回答）

区 分	人 (%)	区 分	人 (%)
回答者数	446 (100.0)	発達などに関する専門相談体制の整備	69 (15.5)
保育所や認定こども園、幼稚園等の負担軽減	292 (65.5)	児童館・子育て支援センターなどの整備	67 (15.0)
道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備	245 (54.9)	男女が共に子育てに関わるための意識啓発	57 (12.8)
小児救急医療体制の充実	243 (54.5)	特別支援が必要な子どもへの事業推進	50 (11.2)
保育所・学童保育室などの整備	226 (50.7)	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	43 (9.6)
出産や医療に係る費用の負担軽減	194 (43.5)	親子が安心して集まって交流できる場などの整備	41 (9.2)
交通事故や不審者などから子どもを守る取組の推進	140 (31.4)	子育てについて学ぶ機会の促進	24 (5.4)
お祭りや子ども向けイベントなどの充実	133 (29.8)	ファミリー・サポート・センターの会員確保	19 (4.3)
いじめや差別をなくす教育の推進	80 (17.9)	出産や妊娠に関する学習機会の促進	12 (2.7)
子どもの創造性や感性をのばす教育機会の普及	77 (17.3)	その他	29 (6.5)
		無回答	6 (1.3)

第 2 章

小学生保護者調査

第1節 回答者自身の状況

2-1-1 小学校区（問1）

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

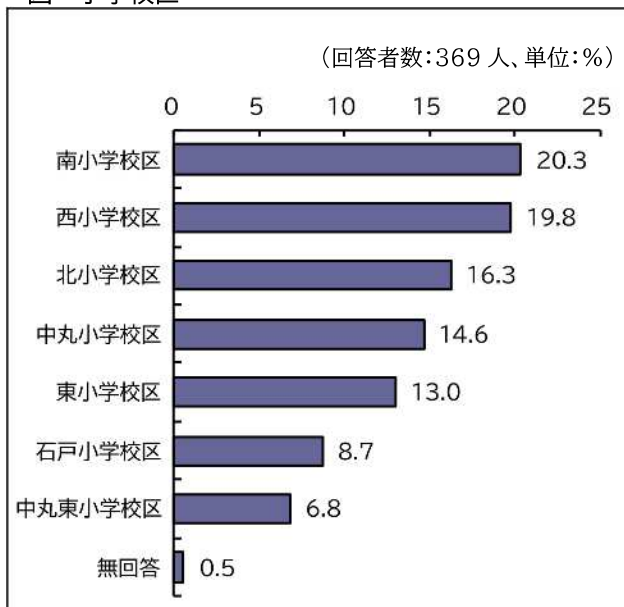
「南小学校区」が最も多い

小学校区については、「南小学校区」が20.3%で最も多く、次いで「西小学校区」が19.8%、「北小学校区」が16.3%が続いています。

表 小学校区

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
南小学校区	75 (20.3)
西小学校区	73 (19.8)
北小学校区	60 (16.3)
中丸小学校区	54 (14.6)
東小学校区	48 (13.0)
石戸小学校区	32 (8.7)
中丸東小学校区	25 (6.8)
無回答	2 (0.5)

図 小学校区



2-1-2 学年（問2）

問2 宛名のお子さんは小学校の何年生ですか。

「6年生」が最も多い

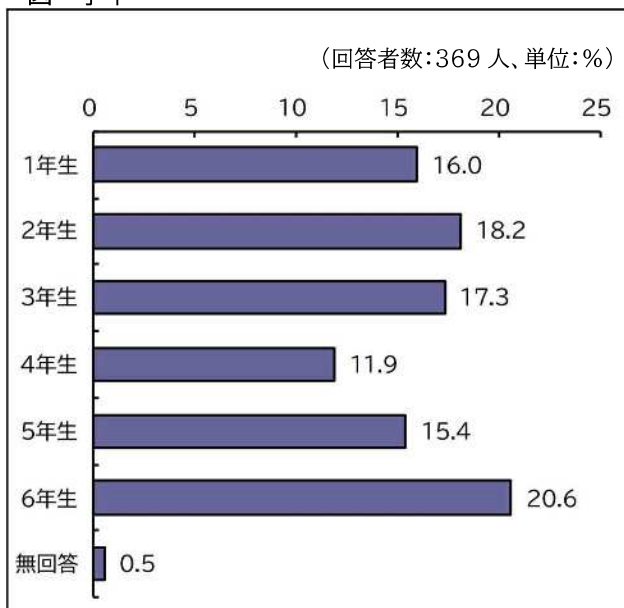
学年については、「6年生」が20.6%で最も多く、次いで「2年生」が18.2%、「3年生」が17.3%が続いています。

一方、「4年生」(11.9%)や「5年生」(15.4%)はやや少なくなっています。

表 学年

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
1年生	59 (16.0)
2年生	67 (18.2)
3年生	64 (17.3)
4年生	44 (11.9)
5年生	57 (15.4)
6年生	76 (20.6)
無回答	2 (0.5)

図 学年



2-1-3 子どもの人数及び末子の年齢（問3）

問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。お子さんが2人以上いらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

（1）子どもの人数

「2人」が最も多い

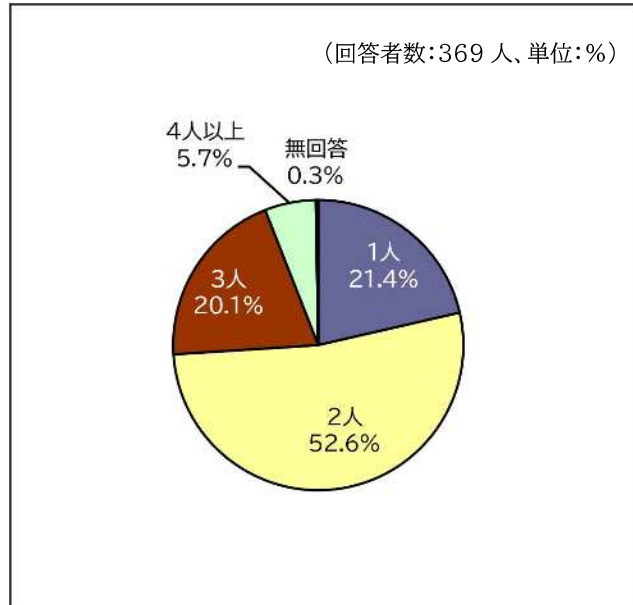
子どもの人数については、「1人」が21.4%、「2人」が52.6%、「3人」が20.1%、「4人以上」が5.7%となっています。

また、子どもの人数が2人以上の回答者は合わせて78.4%（289人）となっています。

表 子どもの人数

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
1人	79 (21.4)
2人	194 (52.6)
3人	74 (20.1)
4人以上	21 (5.7)
無回答	1 (0.3)

図 子どもの人数



（2）末子の年齢

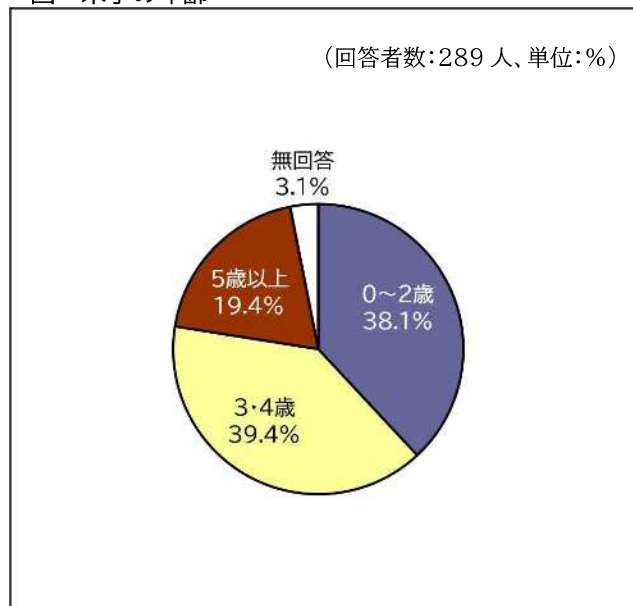
「3・4歳」が39.4%

子どもの人数において“2人以上”と回答した289人に対し、末子の年齢について聞いたところ、「0～2歳」が38.1%、「3・4歳」が39.4%、「5歳以上」が19.4%となっています。

表 末子の年齢

区 分	人 (%)
回答者総数	289 (100.0)
0～2歳	110 (38.1)
3・4歳	114 (39.4)
5歳以上	56 (19.4)
無回答	9 (3.1)

図 末子の年齢



2-1-4 調査の回答者（問4）

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」が77.8%

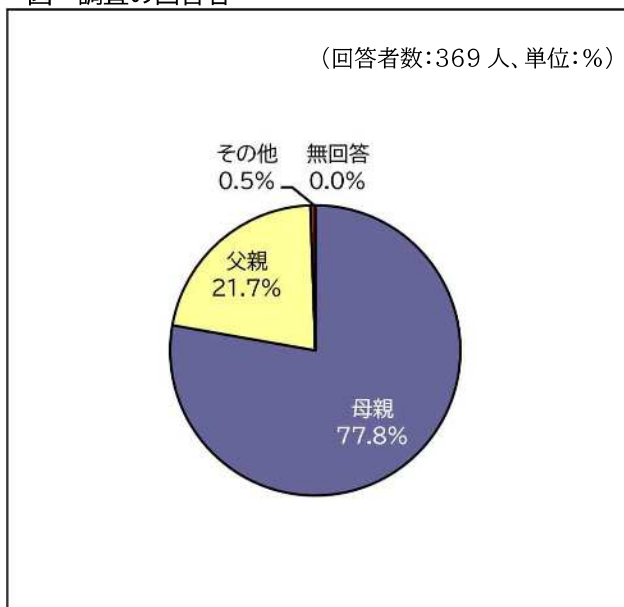
調査の回答者については、「母親」が77.8%、「父親」が21.7%となっています。

また、「母親」または「父親」と回答した人は合わせて99.5%（367人）となっています。

表 調査の回答者

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
母親	287 (77.8)
父親	80 (21.7)
その他	2 (0.5)
無回答	0 (0.0)

図 調査の回答者



2-1-5 回答者の配偶関係（問5）

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。（問4で「3.その他」と回答した方は回答不要です）

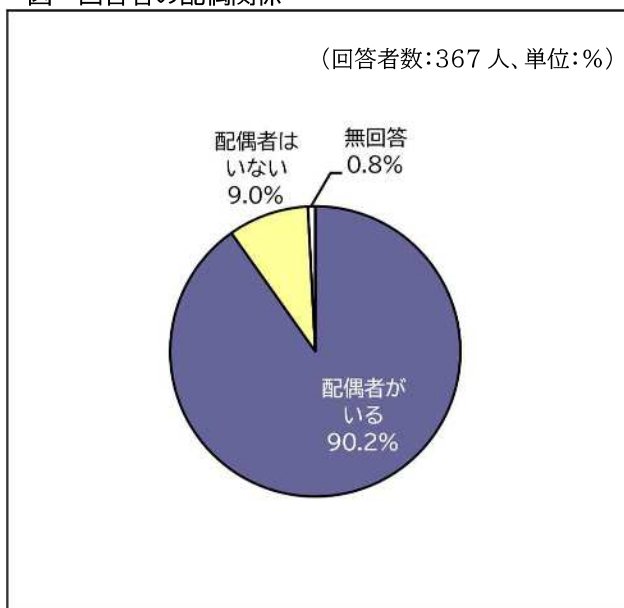
「配偶者がいる」が90.2%

調査の回答者において「母親」または「父親」と回答した367人に対し、配偶関係について聞いたところ、「配偶者がいる」が90.2%、「配偶者はいない」が9.0%となっています。

表 回答者の配偶関係

区 分	人 (%)
回答者総数	367 (100.0)
配偶者がいる	331 (90.2)
配偶者はいない	33 (9.0)
無回答	3 (0.8)

図 回答者の配偶関係



2-1-6 子育てを主に行っている人（問6）

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

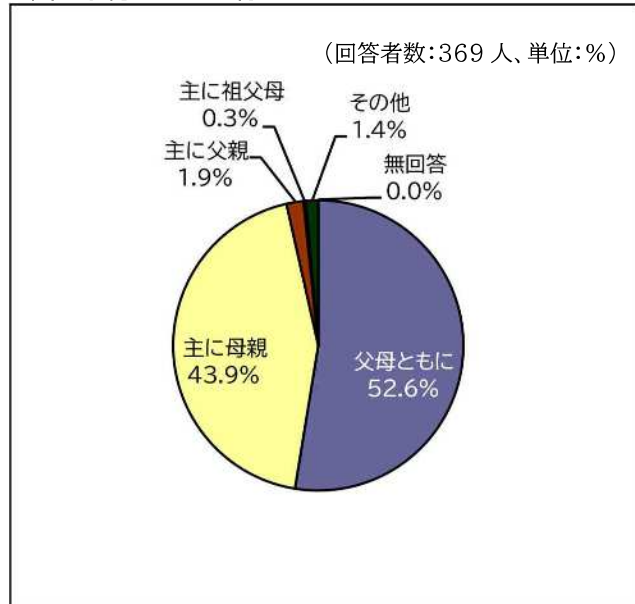
「父母ともに」が52.6%

子育てを主に行っている人については、「父母ともに」が52.6%で最も多く、次いで「主に母親」が43.9%、「主に父親」が1.9%となっています。

表 子育てを主に行っている人

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
父母ともに	194 (52.6)
主に母親	162 (43.9)
主に父親	7 (1.9)
主に祖父母	1 (0.3)
その他	5 (1.4)
無回答	0 (0.0)

図 子育てを主に行っている人



2-1-7 子育て以外の介護の有無（問7）

問7 子育てを主に行っている方で、家族等(同居・別居に関わらず)の介護にも携わっている方はいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

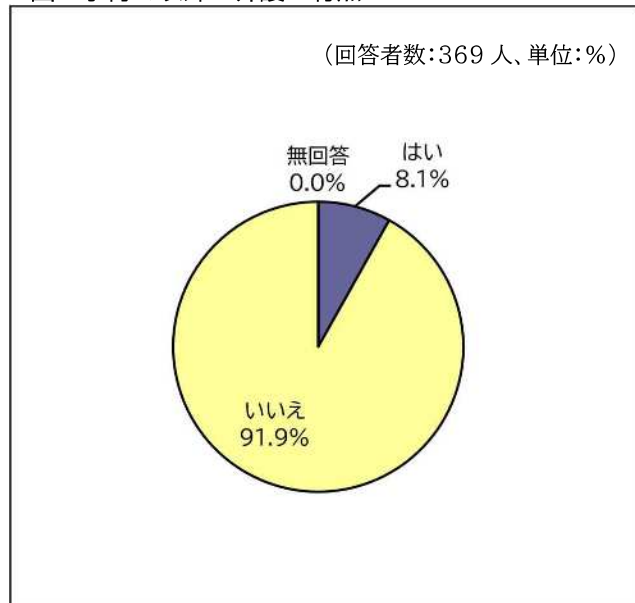
「はい」は8.1%

子育て以外の介護の有無については、「はい」が8.1% (30人)、「いいえ」が91.9%となっています。

表 子育て以外の介護の有無

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
はい	30 (8.1)
いいえ	339 (91.9)
無回答	0 (0.0)

図 子育て以外の介護の有無



2-1-8 介護に携わっている人（問 7-1）

【問 7-1 及び問 7-2 は、問 7 で「1.はい」と回答した方にうかがいます。】

問 7-1 家族等の介護に携わっているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

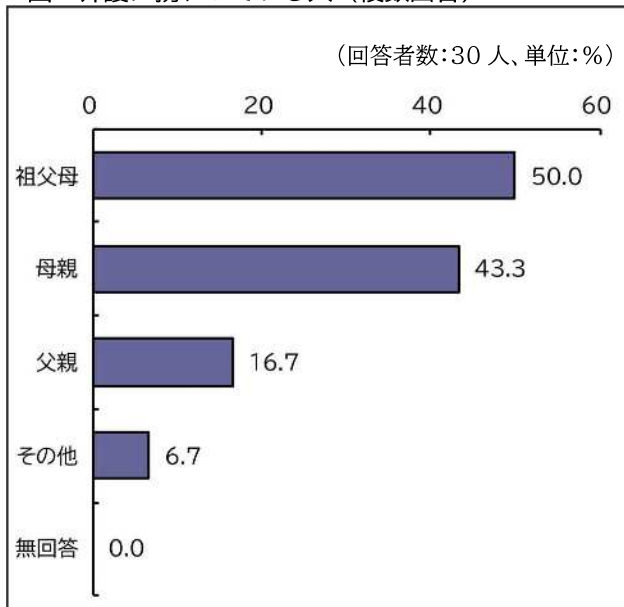
「祖父母」が最も多い

子育て以外の介護の有無において「はい」と回答した 30 人に対し、子育て以外の介護に携わっている人は誰かについて聞いたところ、「祖父母」が 50.0%で最も多く、次いで「母親」が 43.3%、「父親」が 16.7%で続いています。

表 介護に携わっている人（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	30 (100.0)
祖父母	15 (50.0)
母親	13 (43.3)
父親	5 (16.7)
その他	2 (6.7)
無回答	0 (0.0)

図 介護に携わっている人（複数回答）



2-1-9 子育て以外の介護をしている相手（問 7-2）

問 7-2 どなたを介護していますか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

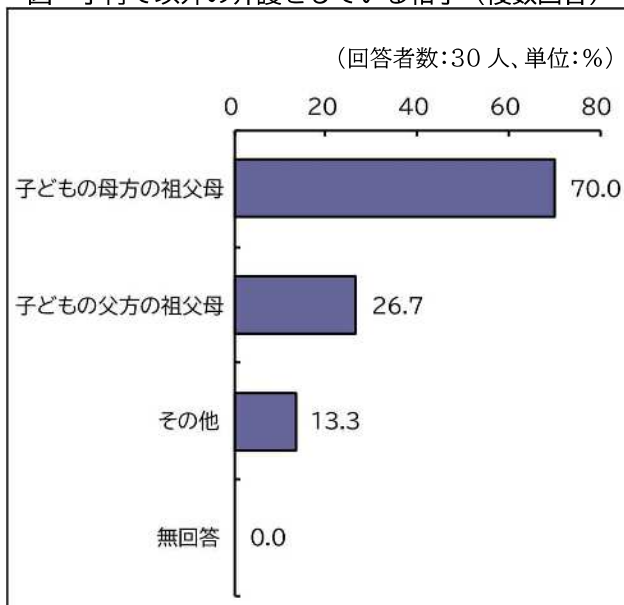
「子どもの母方の祖父母」が最も多い

子育て以外の介護をしている相手については、「子どもの母方の祖父母」が 70.0%で最も多く、次いで「子どもの父方の祖父母」が 26.7%で続いています。

表 子育て以外の介護をしている相手（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	30 (100.0)
子どもの母方の祖父母	21 (70.0)
子どもの父方の祖父母	8 (26.7)
その他	4 (13.3)
無回答	0 (0.0)

図 子育て以外の介護をしている相手（複数回答）



2-1-10 子育てに関する相談相手の有無（問8）

問8 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

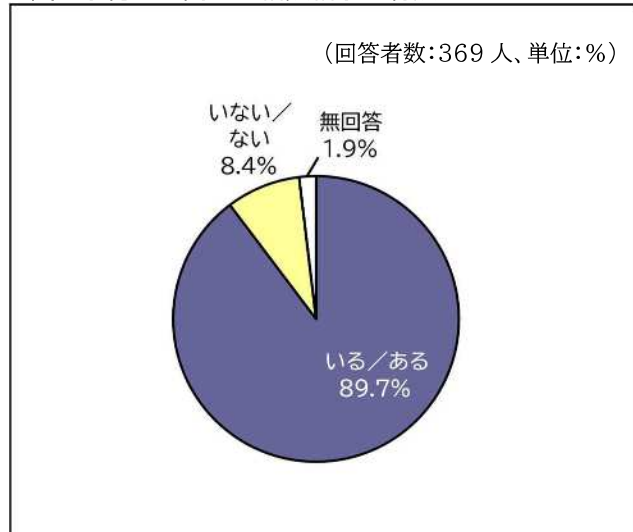
「いる／ある」が89.7%

子育てに関する相談相手の有無については、「いる／ある」が89.7%（331人）、「いない／ない」が8.4%となっています。

表 子育てに関する相談相手の有無

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
いる／ある	331 (89.7)
いない／ない	31 (8.4)
無回答	7 (1.9)

図 子育てに関する相談相手の有無



2-1-11 子育てに関する相談相手（問8-1）

問8で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

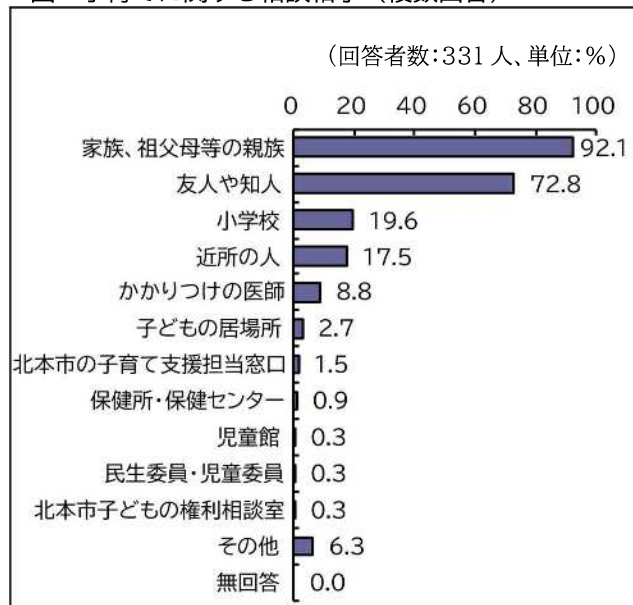
「家族、祖父母等の親族」が最も多い

子育てに関する相談相手が「いる／ある」と回答した331人に対し、それは誰かについて聞いたところ、「家族、祖父母等の親族」が92.1%で最も多く、次いで「友人や知人」が72.8%で続いています。

表 子育てに関する相談相手（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	331 (100.0)
家族、祖父母等の親族	305 (92.1)
友人や知人	241 (72.8)
小学校	65 (19.6)
近所の人	58 (17.5)
かかりつけの医師	29 (8.8)
子どもの居場所	9 (2.7)
北本市の子育て支援担当窓口	5 (1.5)
保健所・保健センター	3 (0.9)
児童館	1 (0.3)
民生委員・児童委員	1 (0.3)
北本市子どもの権利相談室	1 (0.3)
その他	21 (6.3)
無回答	0 (0.0)

図 子育てに関する相談相手（複数回答）



第2節 保護者の就労状況について

2-2-1 保護者の就労状況（問9）

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業含む)をうかがいます。

(1) 母親の就労状況

“就労している”は73.1%

母親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が32.5%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が2.7%であり、これらを合わせると35.2%が“フルタイムで就労している”と回答しています。

また、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が37.9%、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が0.0%であり、これらを合わせると37.9%（140人）が“パート・アルバイト等で就労している”と回答しています。

なお、上記を合わせ、就労している回答者は73.1%（270人）となっています。

一方、現在就労していない回答者は合わせて24.7%（91人）となっています。

図 母親の就労状況

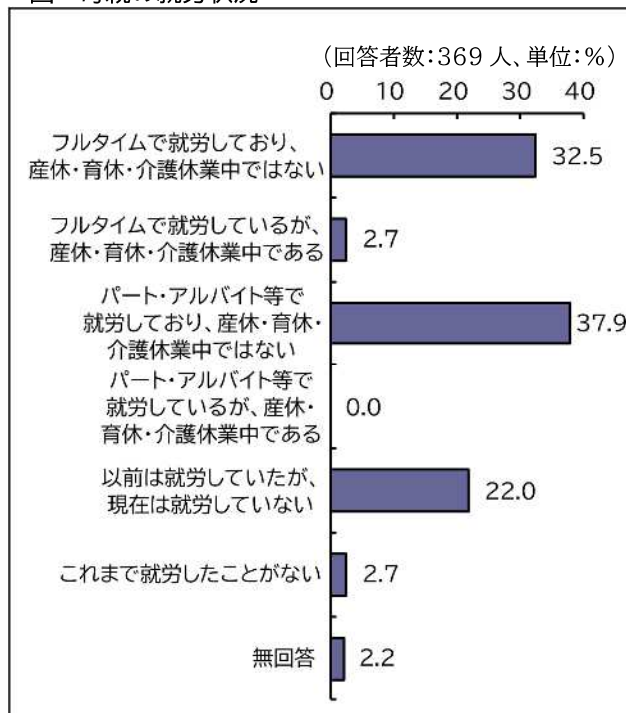


表 母親の就労状況

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	120 (32.5)
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10 (2.7)
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	140 (37.9)
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0 (0.0)
以前は就労していたが、現在は就労していない	81 (22.0)
これまで就労したことがない	10 (2.7)
無回答	8 (2.2)

(2) 父親の就労状況

“就労している”は89.8%

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が89.2%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が0.3%であり、これらを合わせると89.5%が“フルタイムで就労している”と回答しています。

また、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が0.3%（1人）であることから、就労している回答者は合わせて89.8%（332人）となっています。

図 父親の就労状況

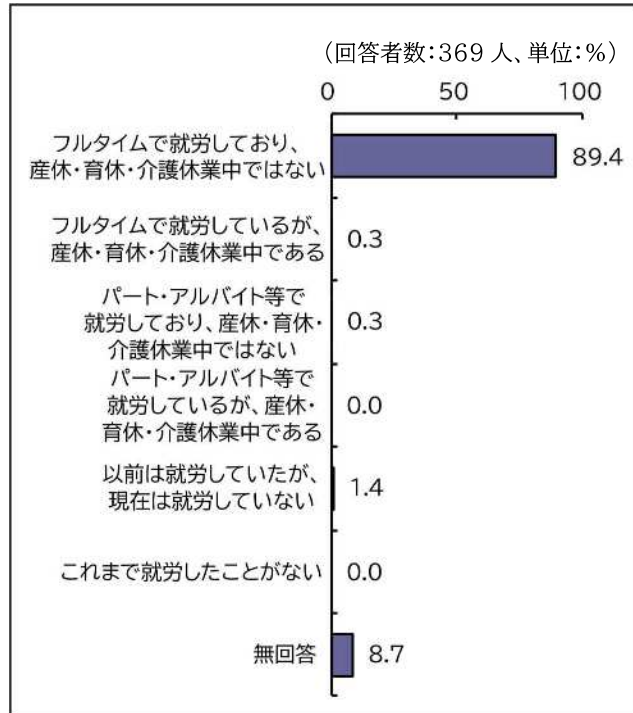


表 父親の就労状況

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	330 (89.4)
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1 (0.3)
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1 (0.3)
パート・アルバイト等 5 で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	0 (0.0)
以前は就労していたが、現在は就労していない	5 (1.4)
これまで就労したことがない	0 (0.0)
無回答	32 (8.7)

2-2-2 フルタイムへの転換希望（問10）

9の(1)または(2)で「3」「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。
問10 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

①母親のフルタイムへの転換希望

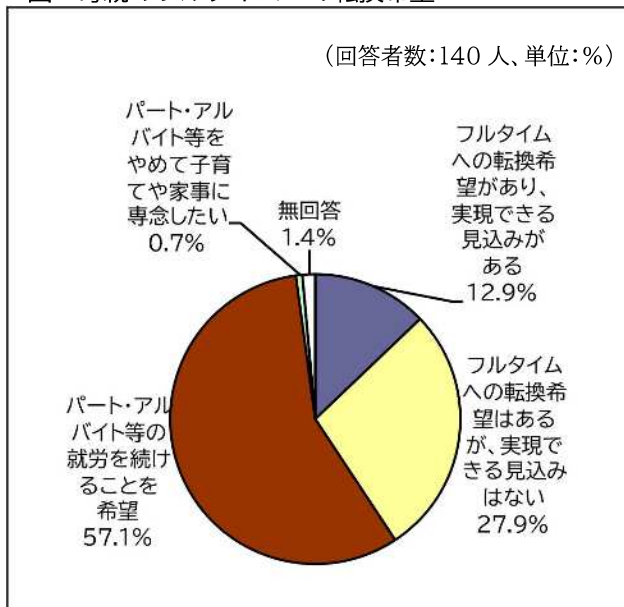
“転換希望がある”は40.9%

母親の就労状況において“パート・アルバイト等で就労している”と回答した140人に対し、フルタイムへの転換希望について聞いたところ、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が12.9%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が27.9%であり、これらを合わせると40.8%が“転換希望がある”と回答しています。

表 母親のフルタイムへの転換希望

区 分	人 (%)
回答者数	140 (100.0)
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	18 (12.9)
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	39 (27.9)
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	80 (57.1)
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	1 (0.7)
無回答	2 (1.4)

図 母親のフルタイムへの転換希望



②父親のフルタイムへの転換希望

※該当者が1人と少人数であるため、掲載を省略します。

2-2-3 就労していない人の就労希望（問11）

問9の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。

問11 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。（数字は一桁に一字）

(1) 母親の就労希望の有無

①就労希望の有無

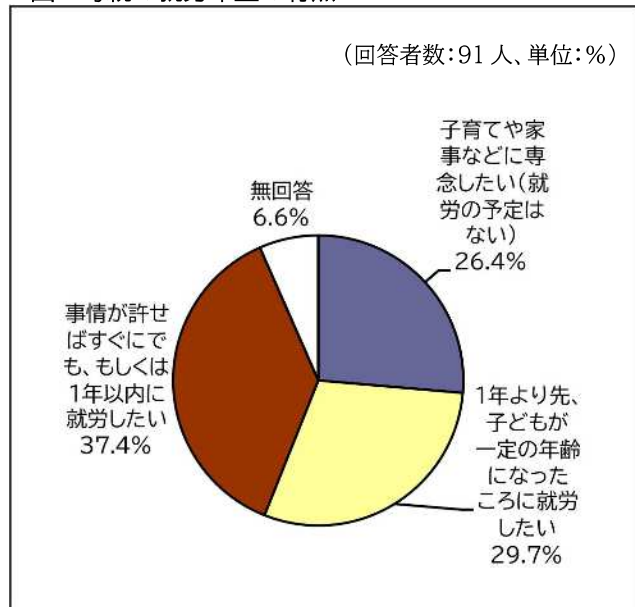
“就労したい”が67.1%

母親の就労状況において“現在働いていない”と回答した91人に対し、今後の就労希望の有無について聞いたところ、「1年より先、子どもが一定の年齢になったところに就労したい」が29.7%（27人）、「事情が許せばすぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が37.4%（34人）であり、これらを合わせると67.1%が“就労したい”と回答しています。

表 母親の就労希望の有無

区 分	人 (%)
回答者数	91 (100.0)
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	24 (26.4)
1年より先、子どもが一定の年齢になったところに就労したい	27 (29.7)
事情が許せばすぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	34 (37.4)
無回答	6 (6.6)

図 母親の就労希望の有無



②就労を希望する子どもの年齢

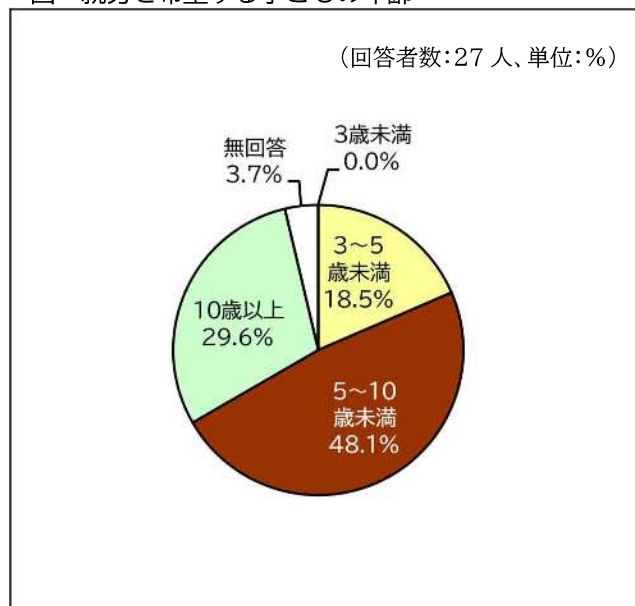
「5～10歳未満」が最も多い

就労していない母親の就労希望において「1年より先、子どもが一定の年齢になった頃に就労したい」と回答した27人に対し、就労を希望する子どもの年齢について聞いたところ、「5～10歳未満」が48.1%で最も多くなっています。

表 就労を希望する子どもの年齢

区 分	人 (%)
回答者数	27 (100.0)
3歳未満	0 (0.0)
3～5歳未満	5 (18.5)
5～10歳未満	13 (48.1)
10歳以上	8 (29.6)
無回答	1 (3.7)

図 就労を希望する子どもの年齢



③希望する就労形態

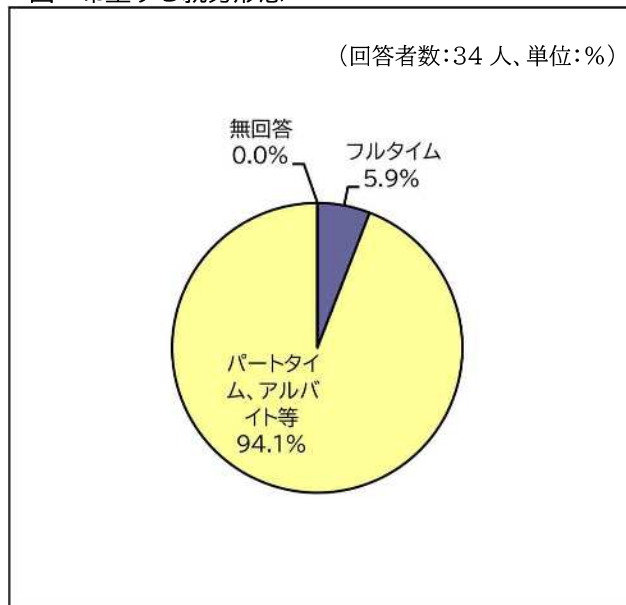
「パートタイム、アルバイト等」が
94.1%

就労していない母親が希望する就労形態については、「フルタイム」が5.9%、「パートタイム、アルバイト等」が94.1%となっています。

表 希望する就労形態

区 分	人 (%)
回答者数	34 (100.0)
フルタイム	2 (5.9)
パートタイム、アルバイト等	32 (94.1)
無回答	0 (0.0)

図 希望する就労形態



④希望する週当たり就労日数

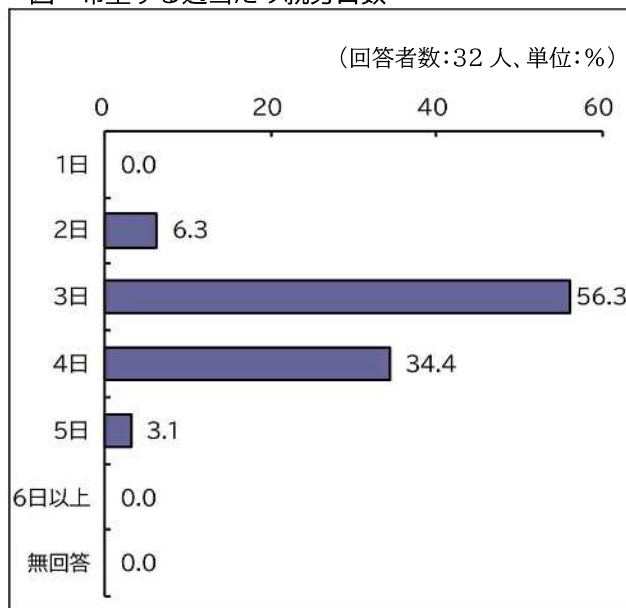
「3日」が最も多い

就労していない母親が希望する就労携帯については、「3日」が56.3%で最も多く、次いで「4日」が34.4%、「2日」が6.3%となっています。

表 希望する週当たり就労日数

区 分	人 (%)
回答者数	32 (100.0)
1日	0 (0.0)
2日	2 (6.3)
3日	18 (56.3)
4日	11 (34.4)
5日	1 (3.1)
6日以上	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

図 希望する週当たり就労日数



⑤希望する一日当たり就労時間

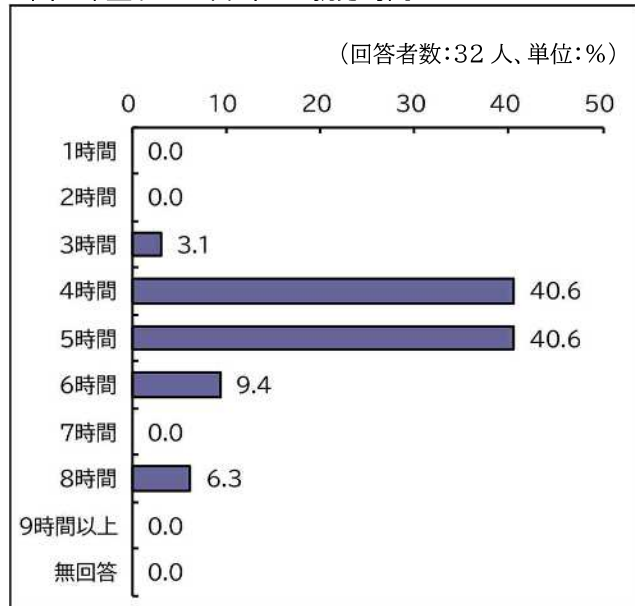
「4 時間」及び「5 時間」が最も多い

働いていない母親の希望する就労時間については、「4 時間」及び「5 時間」がともに 40.6%で最も多く、次いで「6 時間」が 9.4%となっています。

表 希望する一日当たり就労時間

区 分	人 (%)
回答者数	32 (100.0)
1 時間	0 (0.0)
2 時間	0 (0.0)
3 時間	1 (3.1)
4 時間	13 (40.6)
5 時間	13 (40.6)
6 時間	3 (9.4)
7 時間	0 (0.0)
8 時間	2 (6.3)
9 時間以上	0 (0.0)
無回答	0 (0.0)

図 希望する一日当たり就労時間



(2) 父親の就労希望の有無

※該当者が 5 人と少人数であるため、掲載を省略します。

第3節 放課後の過ごし方について

2-3-1 放課後の過ごし方（問12）

問12 お子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのように過ごしていますか。また、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。（「現在の状況」と「希望」それぞれについて、当てはまる番号すべてに○をつけ、週当たりの日数と時間を口内に数字でご記入ください。）

現在の状況、希望ともに「自宅」が最も多い

放課後の過ごし方のうち、現在の状況は「自宅」が72.4%で最も多く、次いで「習い事」が64.0%、「学童保育室または放課後児童クラブ」が27.4%が続いています。一方、希望は「自宅」が60.2%で最も多く、次いで「習い事」が59.9%、「学童保育室または放課後児童クラブ」が24.9%が続いています。

図 放課後の過ごし方（複数回答）

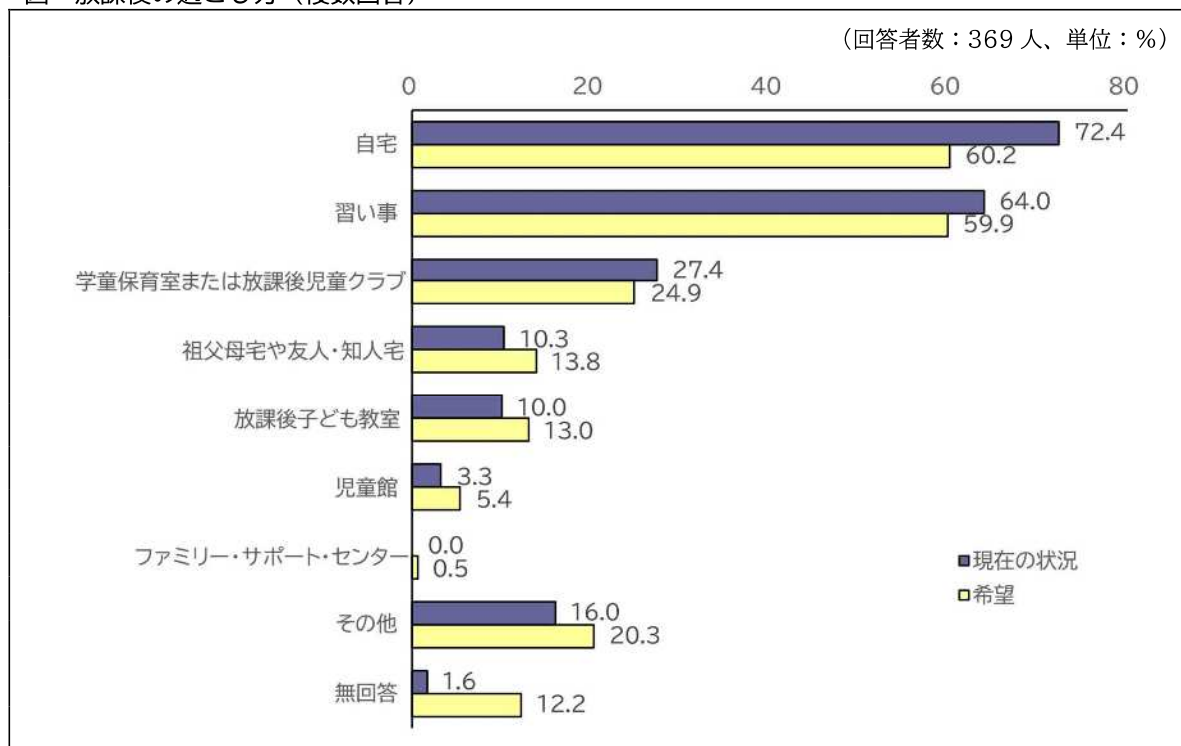


表 放課後の過ごし方（複数回答）

単位：人 (%)

区 分	現在の状況		希望	
	人 (%)	年間平均日数 (日/年)	人 (%)	年間平均日数 (日/年)
回答者数	369 (100.0)	—	369 (100.0)	—
自宅	267 (72.4)	3.9	222 (60.2)	3.5
習い事	236 (64.0)	2.1	236 (59.9)	2.2
学童保育室または放課後児童クラブ	101 (27.4)	4.4	101 (24.9)	3.8
祖父母宅や友人・知人宅	38 (10.3)	1.9	38 (13.8)	1.7
放課後子ども教室	37 (10.0)	2.0	37 (13.0)	2.1
児童館	12 (3.3)	1.1	12 (5.4)	1.4
ファミリー・サポート・センター	0 (0.0)	0.0	0 (0.5)	1.5
その他	59 (16.0)	2.1	59 (20.3)	2.1
無回答	6 (1.6)	—	6 (12.2)	—

2-3-2 土日等の学童保育室の利用希望（問13）

問12で「3.学童保育室または放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問13 土曜日、日曜・祝日、長期の休み(春・夏・冬休み)について、それぞれの期間における学童保育室の利用希望と利用したい時間帯をお答えください。(午前7時から午後7時まで運営)

(1) 土曜日の学童保育室の利用希望

①利用希望の有無

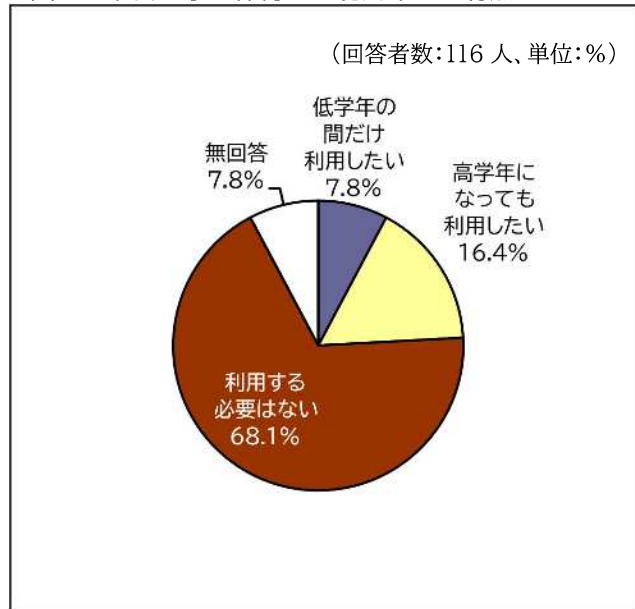
“利用したい”が24.2%

放課後の過ごし方のうち、現在または希望のいずれかで「学童保育室または放課後児童クラブ」と回答した116人に対し、土曜日の学童保育室の利用希望について聞いたところ、「低学年の間だけ利用したい」が7.8%、「高学年になっても利用したい」が16.4%であり、これらを合わせると24.2%（28人）が“利用したい”と回答しています。

表 土曜日の学童保育室の利用希望の有無

区 分	人 (%)
回答者数	116 (100.0)
低学年の間だけ利用したい	9 (7.8)
高学年になっても利用したい	19 (16.4)
利用する必要はない	79 (68.1)
無回答	9 (7.8)

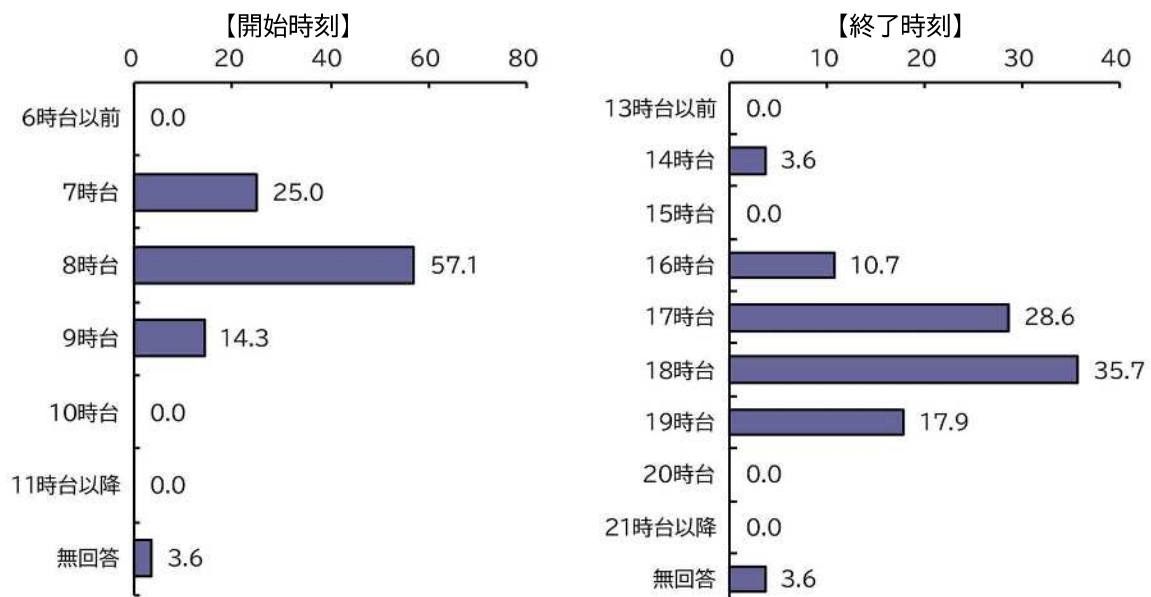
図 土曜日の学童保育室の利用希望の有無



土曜日の学童保育室の利用希望において“利用したい”と回答した28人に対し、利用したい時間帯を聞いたところ、開始時刻は「8時台」が57.1%で最も多く、次いで「7時台」が25.0%で続いています。また、終了時刻については「18時台」が35.7%で最も多く、次いで「17時台」が28.6%、「19時台」が17.9%で続いています。

図 土曜日の学童保育室の利用したい時間帯

(回答者数:28人、単位:%)



(2) 日曜日・祝日の学童保育室の利用希望

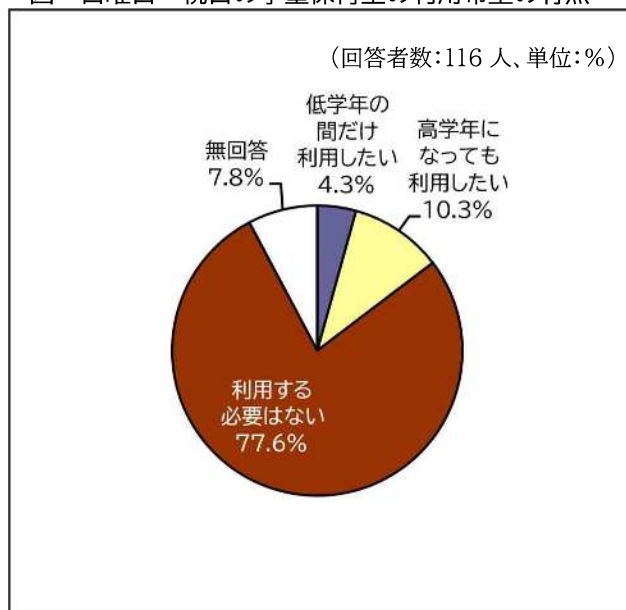
“利用したい”は14.6%

日曜日・祝日の学童保育室の利用希望については、「低学年の間だけ利用したい」が4.3%、「高学年になっても利用したい」が10.3%であり、これらを合わせると14.6%（17人）が“利用したい”と回答しています。

表 日曜日・祝日の学童保育室の利用希望の有無

区 分	人 (%)
回答者数	116 (100.0)
低学年の間だけ利用したい	5 (4.3)
高学年になっても利用したい	12 (10.3)
利用する必要はない	90 (77.6)
無回答	9 (7.8)

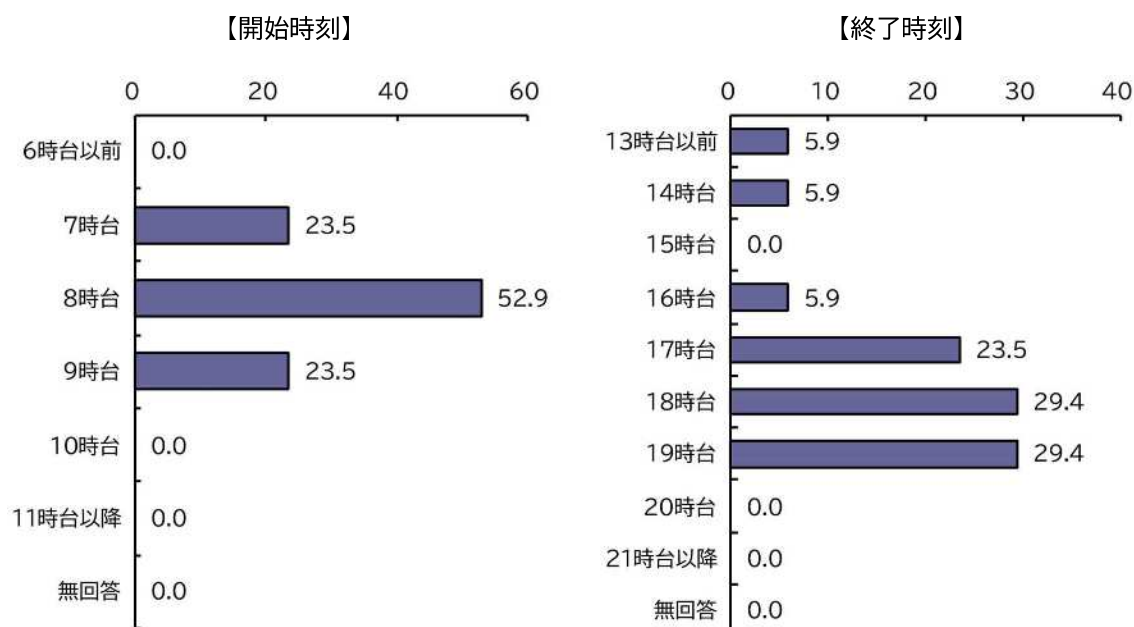
図 日曜日・祝日の学童保育室の利用希望の有無



日曜日・祝日の学童保育室の利用希望において“利用したい”と回答した17人に対し、利用したい時間帯を聞いたところ、開始時刻は「8時台」が52.9%で最も多く、次いで「7時台」及び「9時台」がともに23.5%で続いています。また、終了時刻については「18時台」及び「19時台」が29.4%で最も多く、次いで「17時台」が23.5%で続いています。

図 日曜日・祝日の学童保育室の利用したい時間帯

(回答者数:17人、単位:%)



(3) 長期休業期間中の学童保育室の利用希望

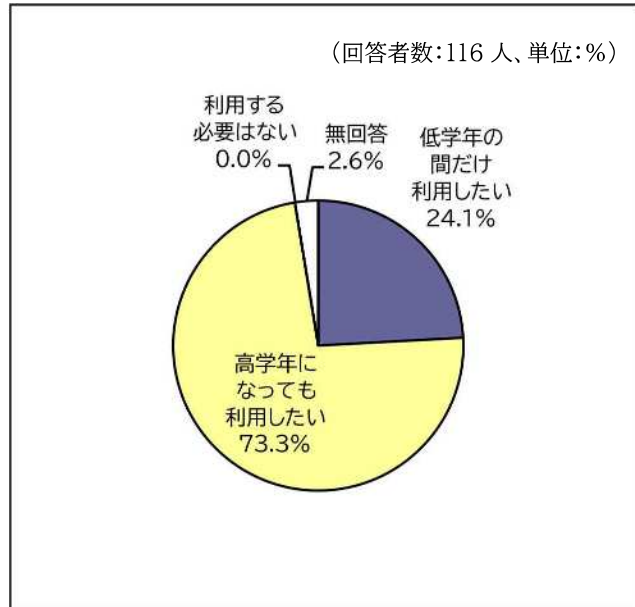
“利用したい”が97.4%

長期休業期間中の学童保育室の利用希望については、「低学年の間だけ利用したい」が24.1%、「高学年になっても利用したい」が73.3%であり、これらを合わせると97.4%（113人）が“利用したい”と回答しています。

表 長期休業期間中の学童保育室の利用希望の有無

区 分	人 (%)
回答者数	116 (100.0)
低学年の間だけ利用したい	28 (24.1)
高学年になっても利用したい	85 (73.3)
利用する必要はない	0 (0.0)
無回答	3 (2.6)

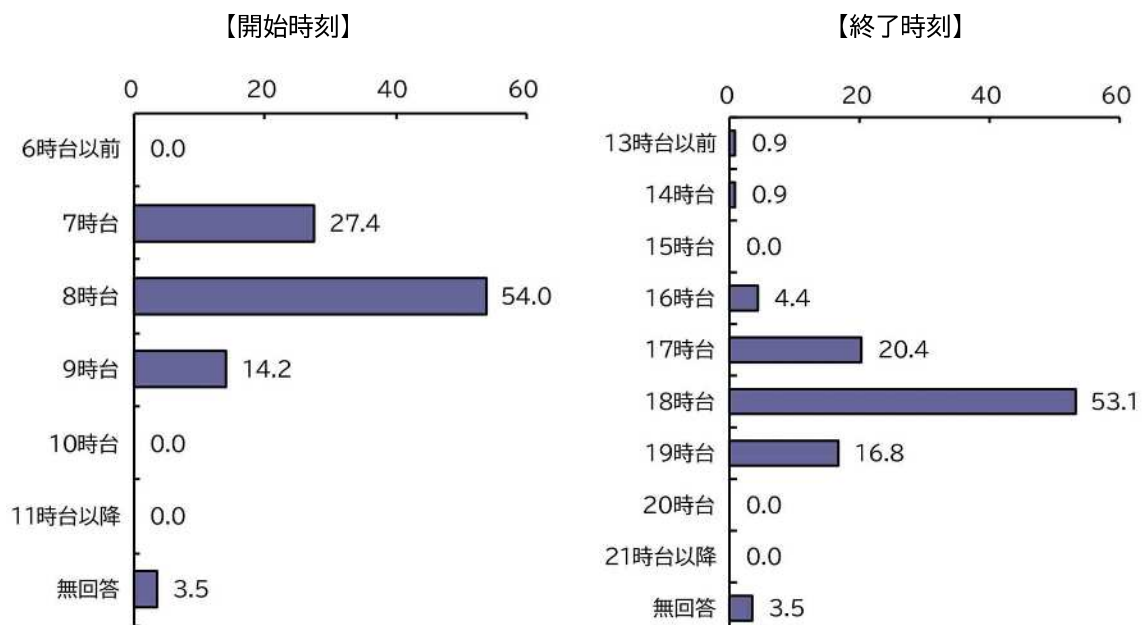
図 長期休業期間中の学童保育室の利用希望の有無



長期休業期間中の学童保育室の利用希望において“利用したい”と回答した113人に対し、利用したい時間帯を聞いたところ、開始時刻は「8時台」が54.0%で最も多く、次いで「7時台」が27.4%、「9時台」が14.2%で続いています。また、終了時刻については「18時台」が53.1%で最も多く、次いで「17時台」が20.4%で続いています。

図 長期休業期間中の学童保育室の利用したい時間帯

(回答者数:113人、単位:%)



第4節 子育てしやすいまちづくりについて

2-4-1 子育て環境の満足度（問14）

問14 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

“満足している”が55.6%

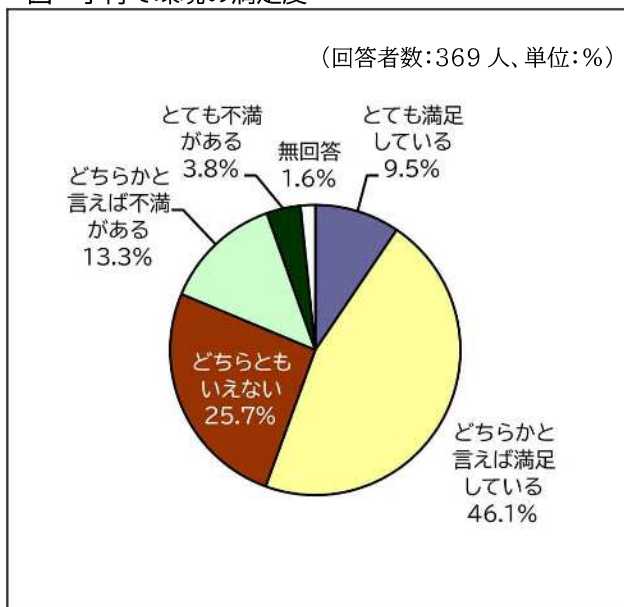
子育て環境の満足度については、「とても満足している」が9.5%、「どちらかと言えば満足している」が46.1%であり、これらを合わせると55.6%が“満足している”と回答しています。

一方、「どちらかと言えば不満がある」が13.3%、「とても不満がある」が3.8%であり、これらを合わせると17.1%が“不満がある”と回答しています。

表 子育て環境の満足度

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
とても満足している	35 (9.5)
どちらかと言えば満足している	170 (46.1)
どちらともいえない	95 (25.7)
どちらかと言えば不満がある	49 (13.3)
とても不満がある	14 (3.8)
無回答	6 (1.6)

図 子育て環境の満足度



2-4-2 子育てに関する孤立感の有無（問15）

問15 あなたは子育てに関して孤立感を感じることはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

“ある・ときどきある”が35.5%

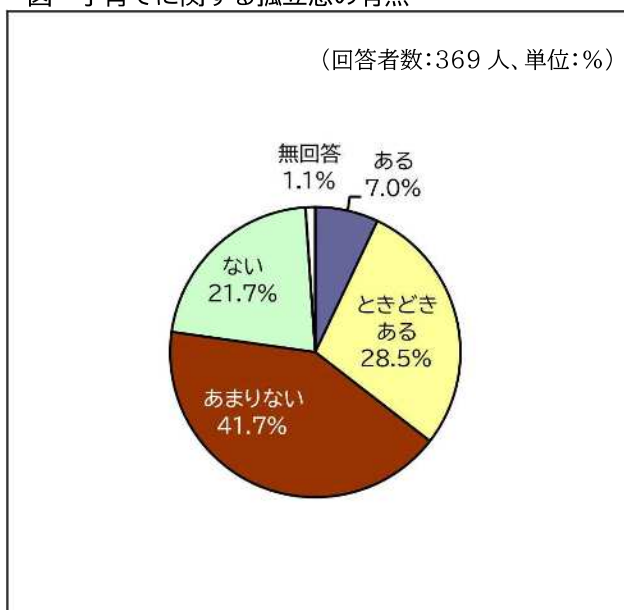
子育てに関する孤立感の有無については、「ある」が7.0%、「ときどきある」が28.5%であり、これらを合わせると35.5%が“ある・ときどきある”と回答しています。

一方、「あまりない」が41.7%、「ない」が21.7%であり、これらを合わせると63.4%が“ない・あまりない”と回答しています。

表 子育てに関する孤立感の有無

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
ある	26 (7.0)
ときどきある	105 (28.5)
あまりない	154 (41.7)
ない	80 (21.7)
無回答	4 (1.1)

図 子育てに関する孤立感の有無



2-4-3 子育ての楽しさの有無（問16）

問16 自分にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それとも辛いと感じることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

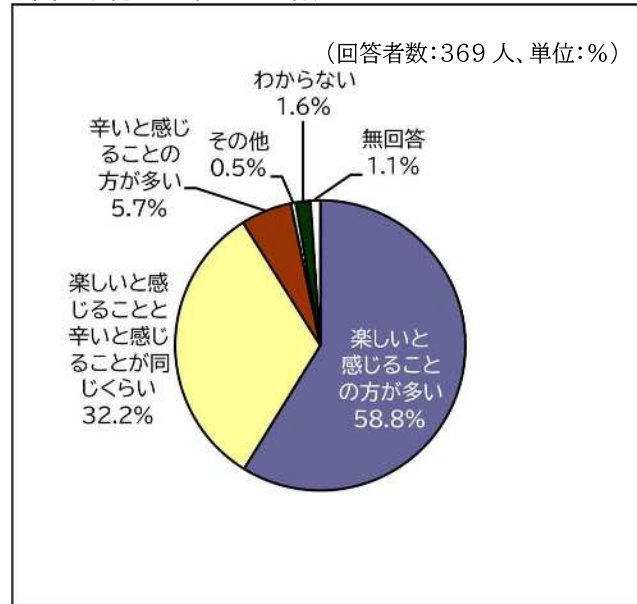
「楽しいと感じることの方が多い」が58.8%

子育ての楽しさの有無については、「楽しいと感じることの方が多い」が58.8%、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が32.2%、「辛いと感じることの方が多い」が5.7%となっています。

表 子育ての楽しさの有無

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
楽しいと感じることの方が多い	217 (58.8)
楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい	119 (32.2)
辛いと感じることの方が多い	21 (5.7)
その他	2 (0.5)
わからない	6 (1.6)
無回答	4 (1.1)

図 子育ての楽しさの有無



2-4-4 子育てに関する情報の入手先（問17）

問17 あなたは、子育てに関する情報を主としてどこから(または、誰から)入手していますか。主なもの3つまで○をつけてください。

「隣近所の人、知人、友人」、「親族」、「インターネット」が多くみられる

子育てに関する情報の入手先については、「隣近所の人、知人、友人」が69.9%で最も多く、次いで「親族」が46.9%、「インターネット（市以外のHP）」が43.1%となっています。

図 子育てに関する情報の入手先（複数回答）

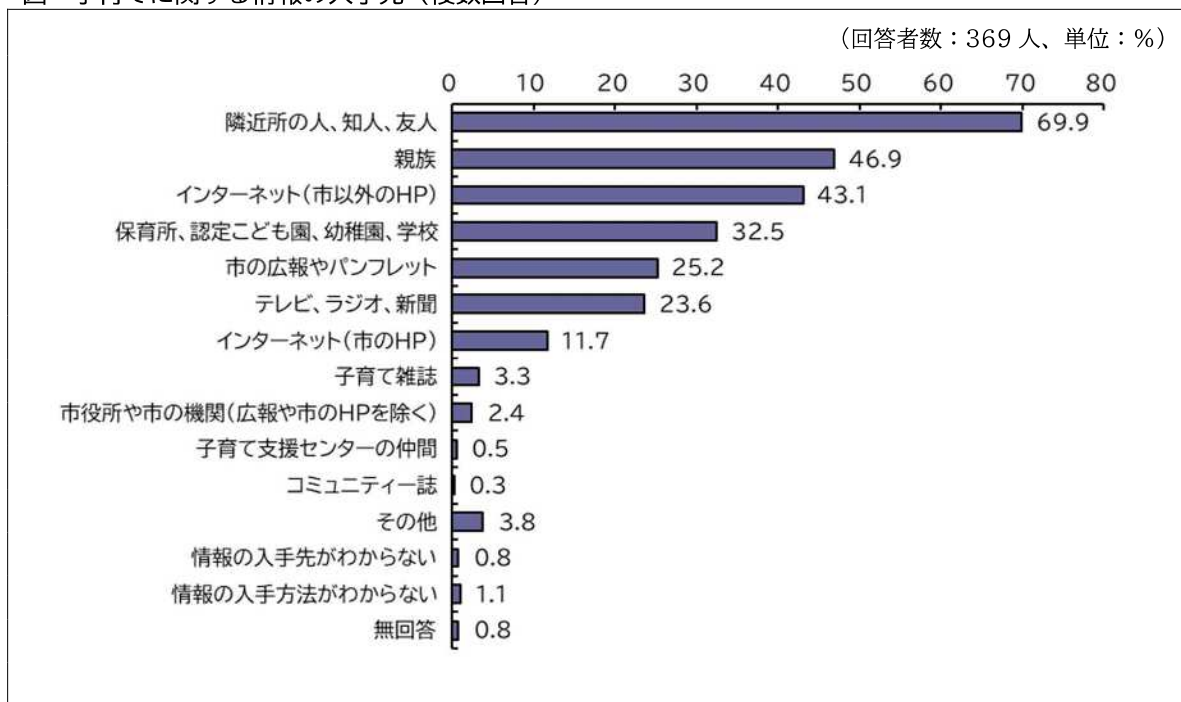


表 子育てに関する情報の入手先（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
隣近所の人、知人、友人	258 (69.9)
親族	173 (46.9)
インターネット(市以外のHP)	159 (43.1)
保育所、認定こども園、幼稚園、学校	120 (32.5)
市の広報やパンフレット	93 (25.2)
テレビ、ラジオ、新聞	87 (23.6)
インターネット(市のHP)	43 (11.7)
子育て雑誌	12 (3.3)
市役所や市の機関(広報や市のHPを除く)	9 (2.4)
子育て支援センターの仲間	2 (0.5)
コミュニティー誌	1 (0.3)
その他	14 (3.8)
情報の入手先がわからない	3 (0.8)
情報の入手方法がわからない	4 (1.1)
無回答	3 (0.8)

2-4-5 子どもの食生活で気をつけていること（問18）

問18 お子さんの食生活で、普段、あなたが気をつけていることはどんなことですか。（ア～ケのそれぞれについて、1から3までのあてはまるもの1つに○印）

「朝食をきちんと食べる」が最も多い

子どもの食生活で気をつけていることについて、「いつも」の割合をみると、「朝食をきちんと食べる」が87.3%で最も多く、次いで「食事時間はほぼきまっている」が79.7%、「親子で楽しみながら食べる」が62.9%で続いています。

図 子どもの食生活で気をつけていること

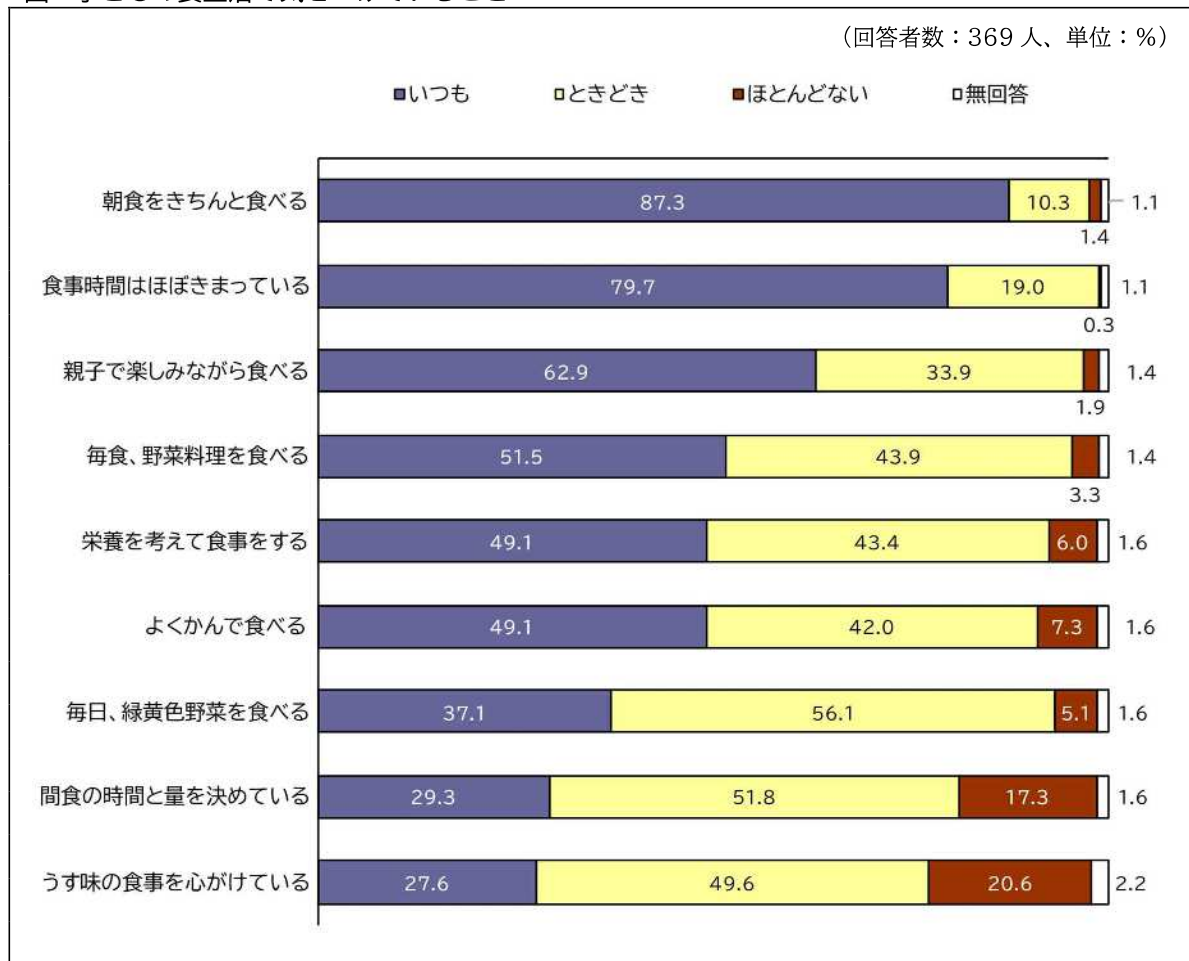


表 食生活で気をつけていること

回答者数：人、単位：人（%）

区 分	いつも	ときどき	ほとんどない	無回答
朝食をきちんと食べる	322 (87.3)	38 (10.3)	5 (1.4)	4 (1.1)
食事時間はほぼきまっている	294 (79.7)	70 (19.0)	1 (0.3)	4 (1.1)
親子で楽しみながら食べる	232 (62.9)	125 (33.9)	7 (1.9)	5 (1.4)
毎食、野菜料理を食べる	190 (51.5)	162 (43.9)	12 (3.3)	5 (1.4)
栄養を考えて食事をする	181 (49.1)	160 (43.4)	22 (6.0)	6 (1.6)
よくかんで食べる	181 (49.1)	155 (42.0)	27 (7.3)	6 (1.6)
毎日、緑黄色野菜を食べる	137 (37.1)	207 (56.1)	19 (5.1)	6 (1.6)
間食の時間と量を決めている	108 (29.3)	191 (51.8)	64 (17.3)	6 (1.6)
うす味の食事を心がけている	102 (27.6)	183 (49.6)	76 (20.6)	8 (2.2)

2-4-6 今後の重点施策（問19）

問19 北本市が、今よりもっと子育てしやすいまちとなるためにはどのようなことが重要だと思いますか。
主なものを5つまでに○をつけてください。

「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」、「小児救急医療体制の充実」が多くみられる

今後の重点施策については、「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」が59.1%で最も多く、次いで「小児救急医療体制の充実」が54.2%、「保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減」が42.8%で続いています。

図 今後の重点施策（複数回答）



表 今後の重点施策（複数回答）

区 分	人 (%)
回答者数	369 (100.0)
道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備	218 (59.1)
小児救急医療体制の充実	200 (54.2)
保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減	158 (42.8)
交通事故や不審者などから子どもを守る取組の推進	153 (41.5)
保育所・学童保育室などの整備	140 (37.9)
いじめや差別をなくす教育の推進	97 (26.3)
お祭りや子ども向けイベントなどの充実	96 (26.0)
出産や医療に係る費用の負担軽減	86 (23.3)
子どもの創造性や感性をのばす教育機会の普及	84 (22.8)

区 分	人 (%)
発達などに関する専門相談体制の整備	64 (17.3)
特別支援が必要な子どもへの事業推進	54 (14.6)
児童館などの整備	41 (11.1)
男女が共に子育てに関わるための意識啓発	33 (8.9)
子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	33 (8.9)
親子が安心して集まって交流できる場などの整備	24 (6.5)
子育てについて学ぶ機会の促進	14 (3.8)
ファミリー・サポート・センターの会員確保	8 (2.2)
出産や妊娠に関する学習機会の促進	4 (1.1)
その他	23 (6.2)
無回答	5 (1.4)

2-4-7 行事や組織への参加状況及び参加意向（問 20）

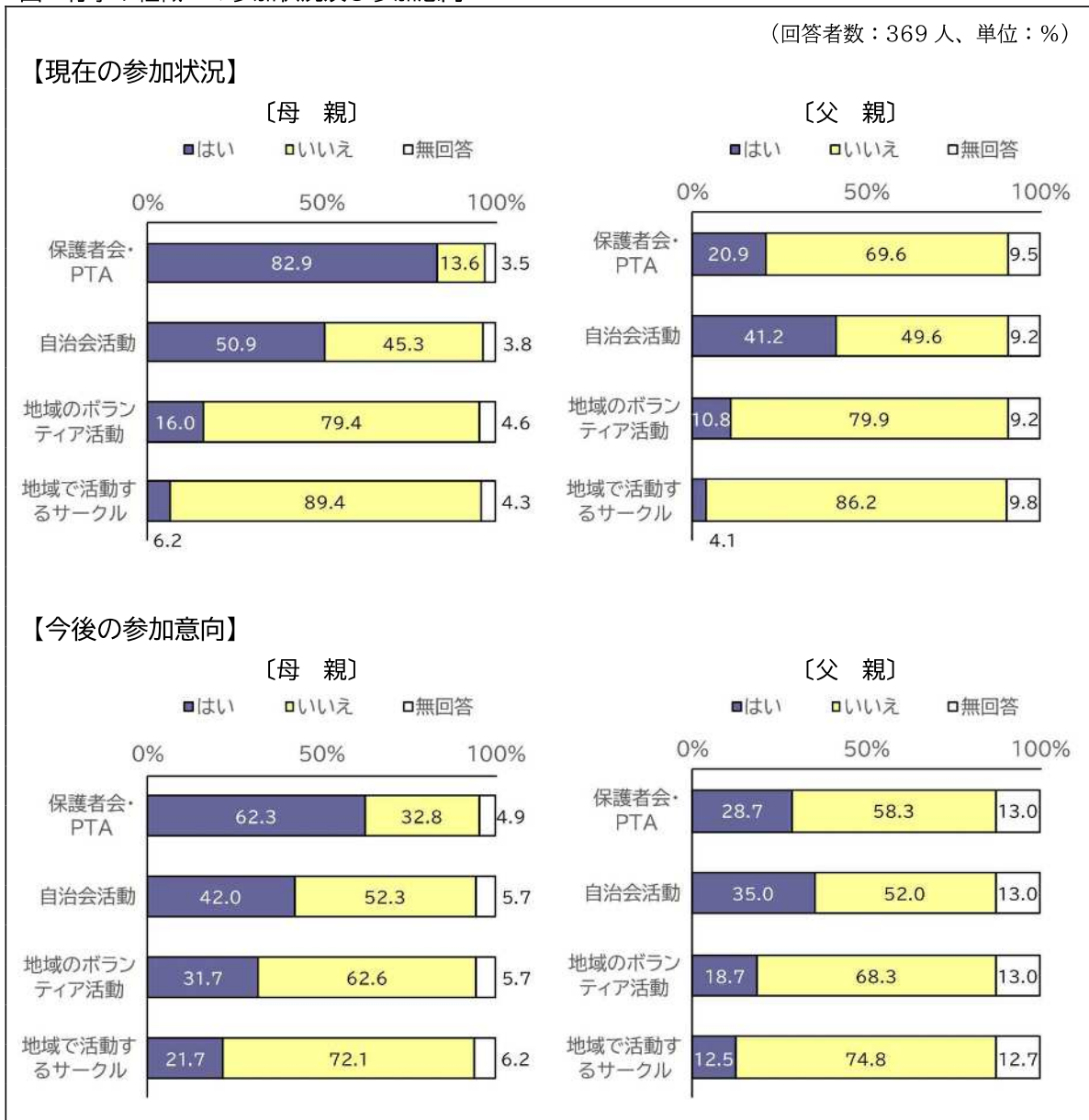
問 20 下記の行事や組織に参加していますか。また、参加していないが、今後参加したいとお考えですか。はい・いいえのどちらか1つに○をつけてください。

現在の参加状況では、「保護者会・PTA」に参加している母親が82.9%

行事や組織への参加状況及び参加意向について「はい」の割合をみると、現在の参加状況のうち母親は「保護者会・PTA」が82.9%で最も多く、次いで「自治会活動」が50.9%で続いています。これに対し父親は「自治会活動」が41.2%で最も多く、次いで「保護者会・PTA」が20.9%で続いています。

今後の参加意向については、母親は「保護者会・PTA」が62.3%で最も多く、次いで「自治会活動」が42.0%で続いています。これに対し父親は「自治会活動」が35.0%で最も多く、次いで「保護者会・PTA」が28.7%で続いています。

図 行事や組織への参加状況及び参加意向



第2章 小学生保護者調査

表 行事や組織への参加状況及び参加意向

【現在の参加状況】

回答者数：369人、単位：人（％）

区 分	母 親			父 親		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
保護者会・PTA	306 (82.9)	50 (13.6)	13 (3.5)	77 (20.9)	257 (69.6)	35 (9.5)
自治会活動	188 (50.9)	167 (45.3)	14 (3.8)	152 (41.2)	183 (49.6)	34 (9.2)
地域のボランティア活動	59 (16.0)	293 (79.4)	17 (4.6)	40 (10.8)	295 (79.9)	34 (9.2)
地域で活動するサークル	23 (6.2)	330 (89.4)	16 (4.3)	15 (4.1)	318 (86.2)	36 (9.8)

【今後の参加意向】

回答者数：369人、単位：人（％）

区 分	母 親			父 親		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
保護者会・PTA	230 (62.3)	121 (32.8)	18 (4.9)	106 (28.7)	215 (58.3)	48 (13.0)
自治会活動	155 (42.0)	193 (52.3)	21 (5.7)	129 (35.0)	192 (52.0)	48 (13.0)
地域のボランティア活動	117 (31.7)	231 (62.6)	21 (5.7)	69 (18.7)	252 (68.3)	48 (13.0)
地域で活動するサークル	80 (21.7)	266 (72.1)	23 (6.2)	46 (12.5)	276 (74.8)	47 (12.7)

北本市
子ども・子育て支援ニーズ調査
結果報告書

— 令和 6 年 7 月発行 —

発 行：北本市
編 集：北本市 こども健康部 保育課
〒364-8633 埼玉県北本市本町 1 丁目 111 番地
電 話 048-594-5538（直通）
F a x 048-592-5997
